

2 単純集計及びひきこもり群別の集計（年齢階層別）

※ 集計表はP213～P230に記載

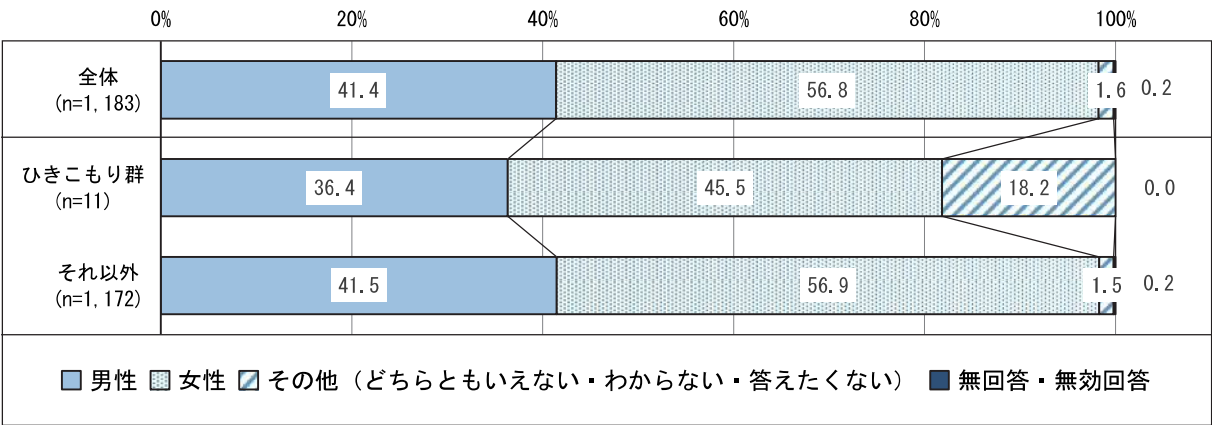
（1）ご自身や家族のことについて

ア 性別

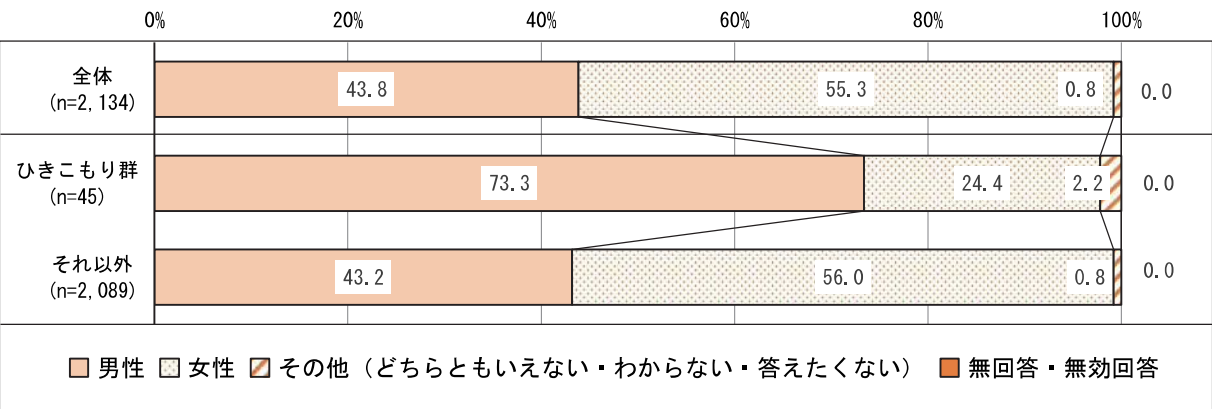
■ 15～39 歳について	
・ 15～39 歳全体では、「女性」が 56.8%、「男性」が 41.4%。	
・ ひきこもり群では、「女性」が 45.5%、「男性」が 36.4%、その他（どちらともいえない・わからない・答えたくない）が 18.2%。	
■ 40～64 歳について	
・ 40～64 歳全体では、「女性」が 55.3%、「男性」が 43.8%。	
・ ひきこもり群では、「男性」が 73.3%、「女性」が 24.4%。	

問1 あなたの性別をお答えください。（単一回答）

図表 問1 【15～39歳】



図表 問1 【40～64歳】



イ 年齢

■ 15～39 歳について

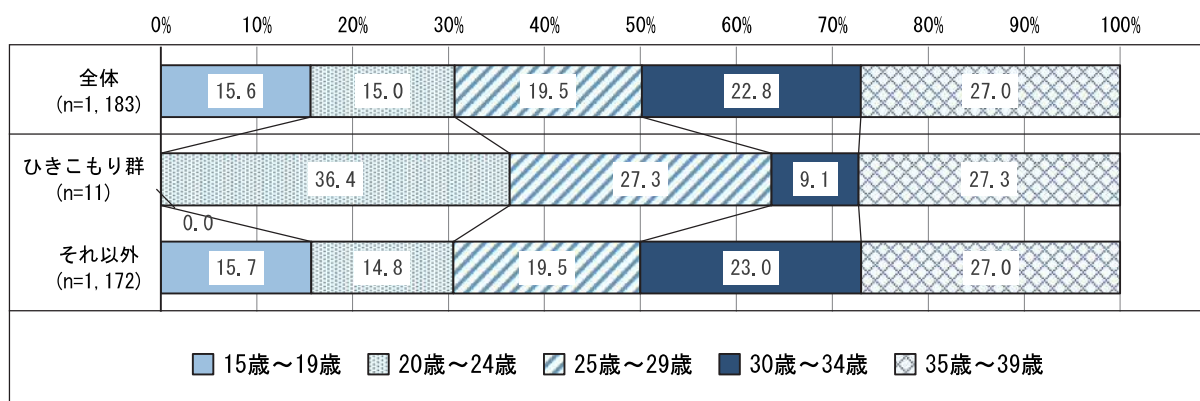
- ・15～39 歳全体では、「35～39 歳」が最も多く 27.0%、次いで「30～34 歳」が 22.8%、「25～29 歳」が 19.5%となっている。
- ・ひきこもり群では、「20～24 歳」が 36.4%で最も多く、次いで「25～29 歳」、「35～39 歳」が 27.3%となっている。

■ 40～64 歳について

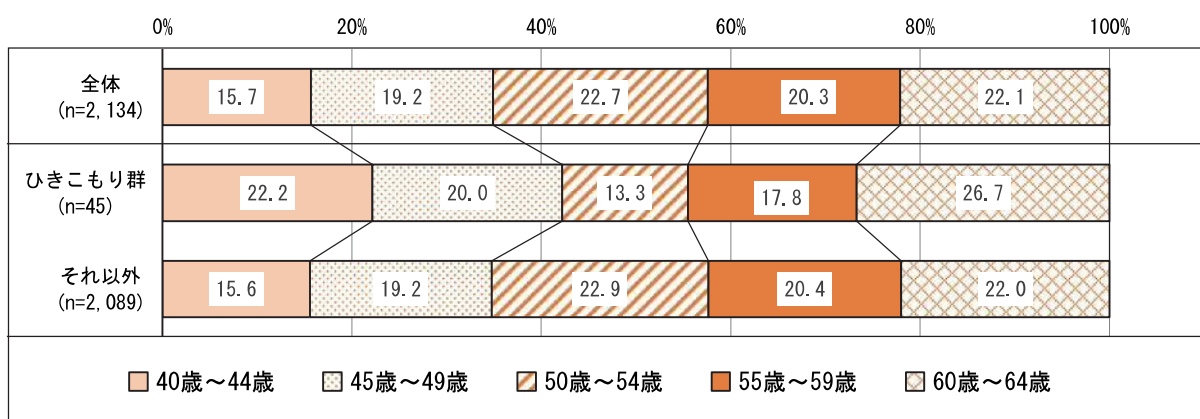
- ・40～64 歳全体では、「50～54 歳」が 22.7%と最も多く、次いで「60～64 歳」が 22.1%、「55～59 歳」が 20.3%となっている。
- ・ひきこもり群では、「60～64 歳」が最も多く 26.7%、次いで「40～44 歳」が 22.2%、「45～49 歳」が 20.0%となっている。

問2 あなたの年齢をお答えください。（単一回答）

図表 問2 【15～39歳】



図表 問2 【40～64歳】



ウ 同居者

■ 15～39 歳について

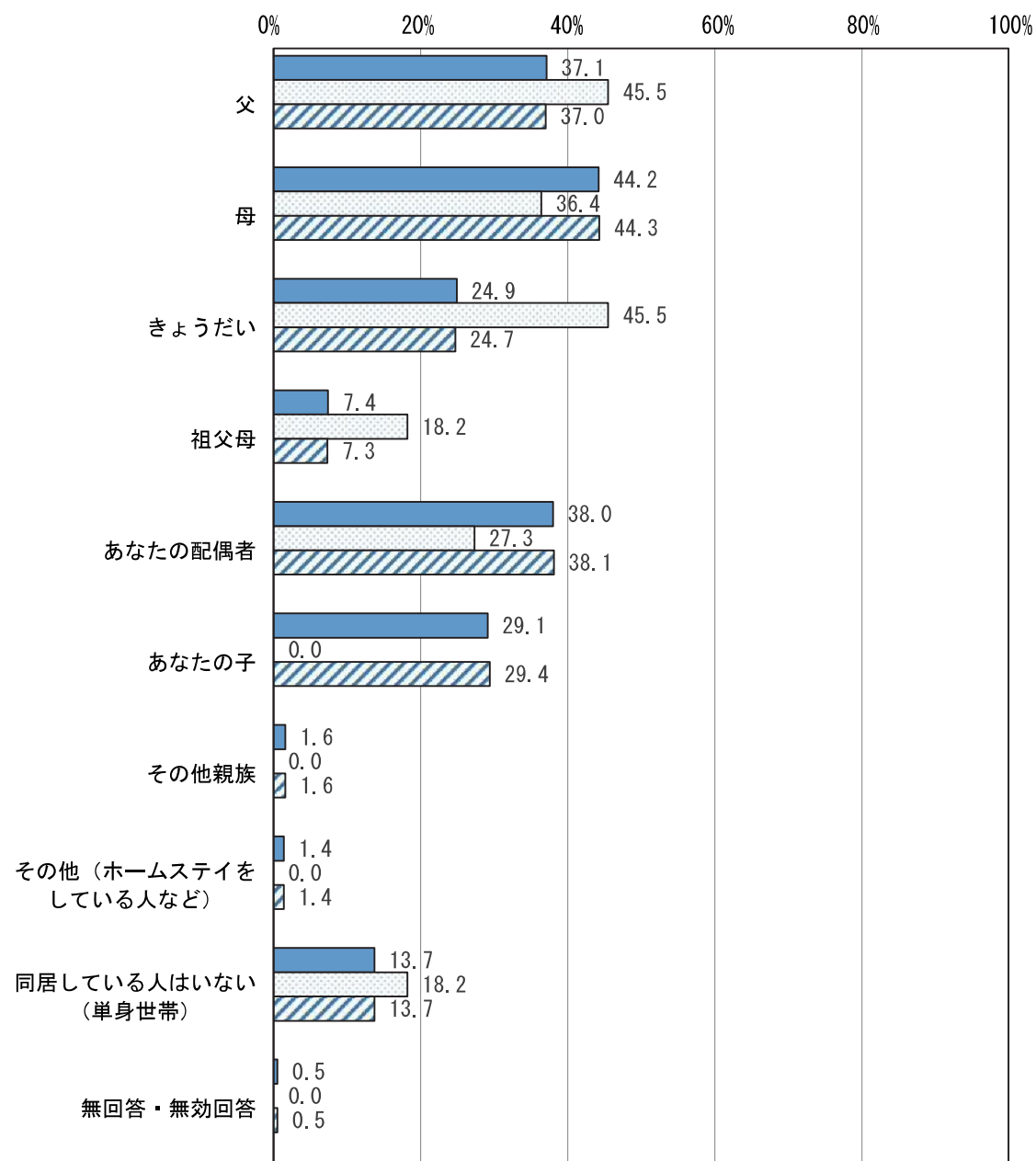
- ・ 15～39 歳全体では、「母」が 44.2%と最も多く、次いで「あなたの配偶者」が 38.0%、「父」が 37.1%となっている。また、「同居している人はいない（単身世帯）」は 13.7%である。
- ・ ひきこもり群では、「父」、「きょうだい」が 45.5%と最も多く、次いで「母」が 36.4%となっている。また、「同居している人はいない（単身世帯）」は 18.2%である。

■ 40～64 歳について

- ・ 40～64 歳全体では、「あなたの配偶者」が 66.4%と最も多く、次いで「あなたの子」が 47.6%となっている。また、「同居している人はいない（単身世帯）」は 15.4%である。
- ・ ひきこもり群では、「同居している人はいない（単身世帯）」が 37.8%と最も多く、次いで「母」、「あなたの配偶者」が 28.9%となっている。
- ・ ひきこもり群では、それ以外と比較して、「あなたの配偶者」の割合が低い。

問3 現在、あなたと同居している方をお答えください。なお、「配偶者」には、婚姻の届出をしていないが、事実上婚姻と同様の状態にある方を含めます。（複数回答）

図表 問3 【15～39歳】

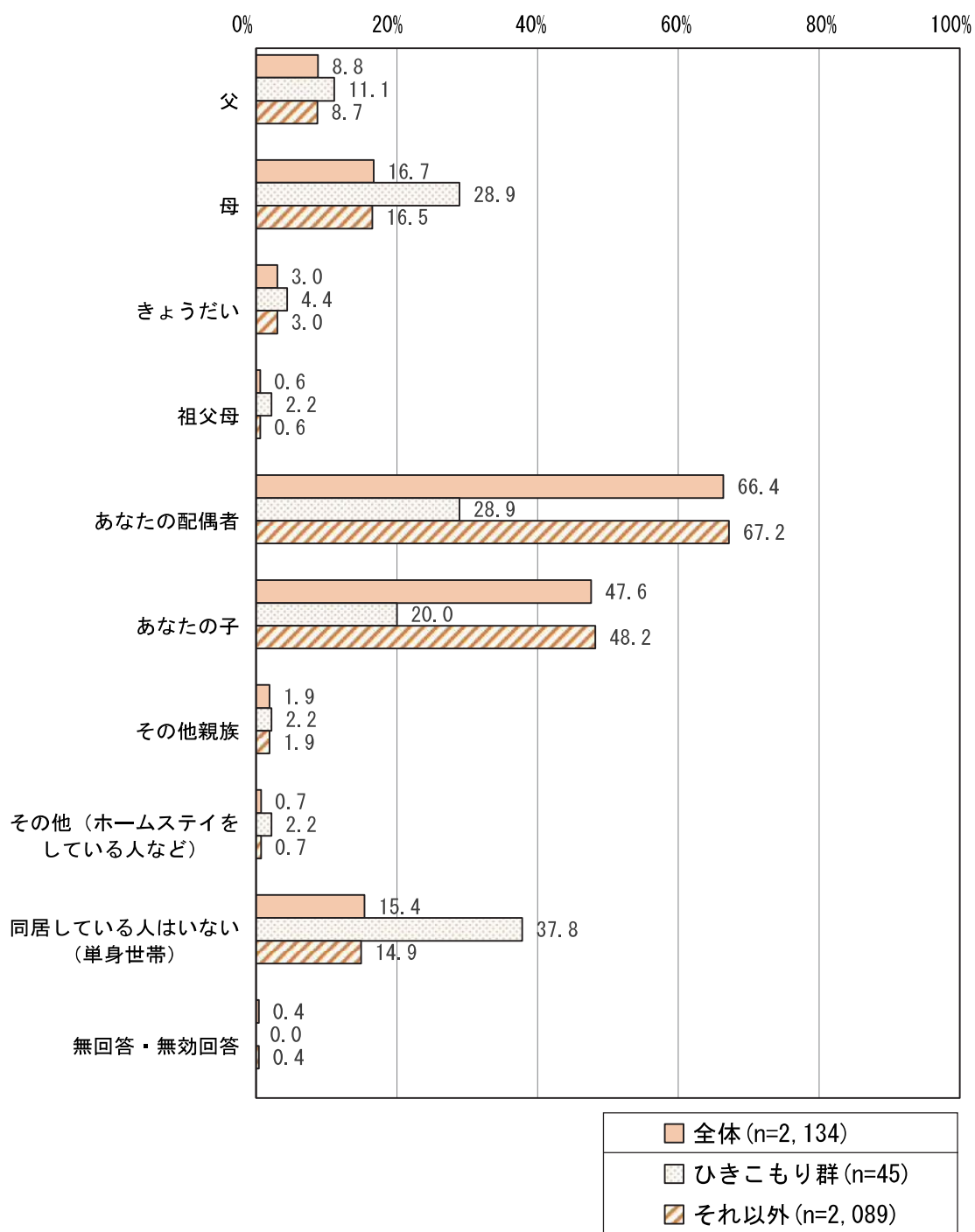


■ 全体 (n=1, 183)

■ ひきこもり群 (n=11)

■ それ以外 (n=1, 172)

図表 問3 【40～64歳】



※その他の主な回答（全年齢）

【ひきこもり群】

・子のパートナー

【それ以外】

・施設居住
 ・友人、知人、ルームシェア
 ・子の配偶者
 ・恋人、パートナー
 ・配偶者の親

エ 主に生計を支えている人

■ 15～39 歳について

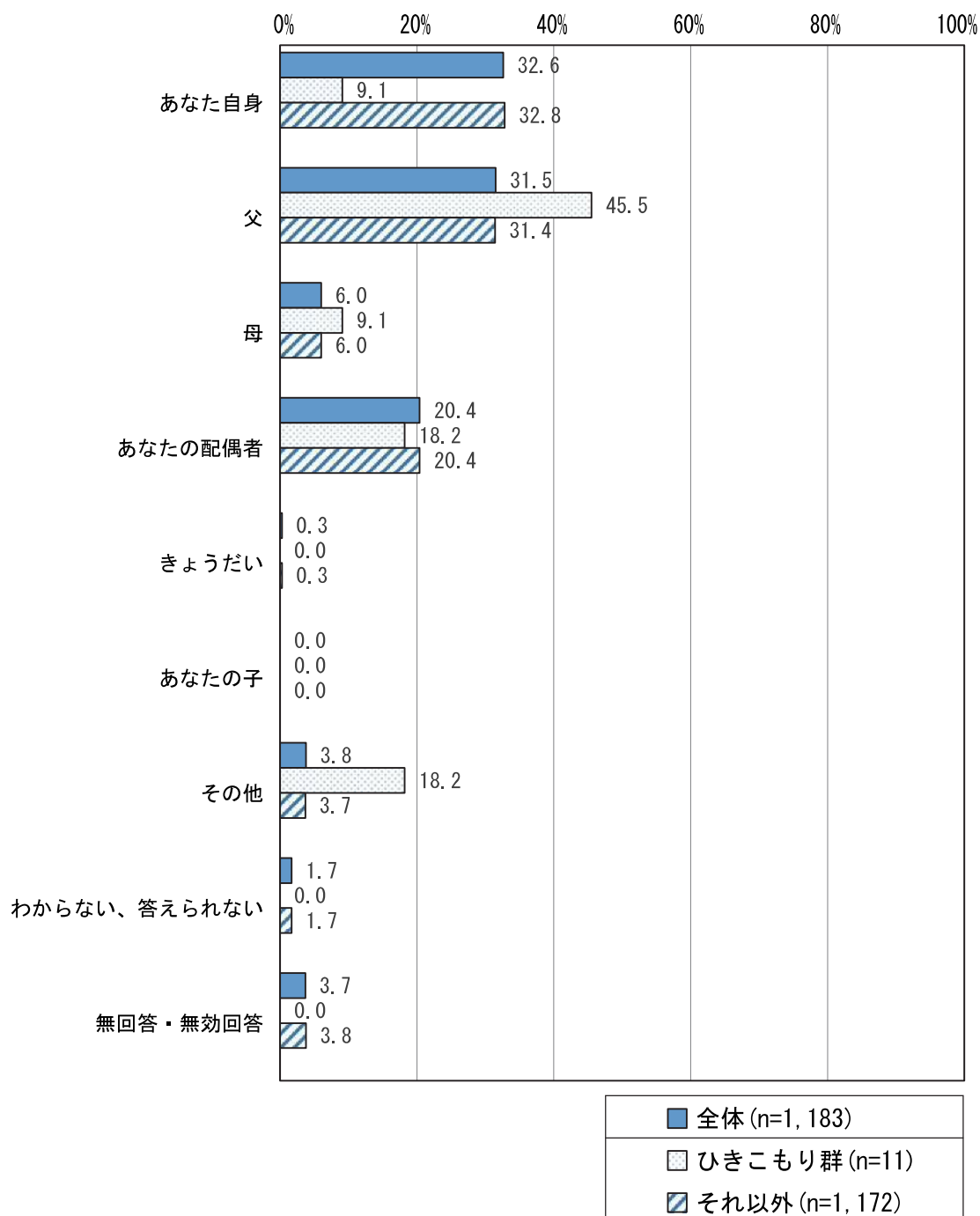
- ・15～39 歳全体では、「あなた自身」が 32.6%と最も多く、次いで「父」が 31.5%、「あなたの配偶者」が 20.4%となっている。
- ・ひきこもり群では、「父」が 45.5%と最も多く、次いで「あなたの配偶者」が 18.2%となっている。
- ・ひきこもり群では、それ以外と比較して、「あなた自身」の割合が低い。

■ 40～64 歳について

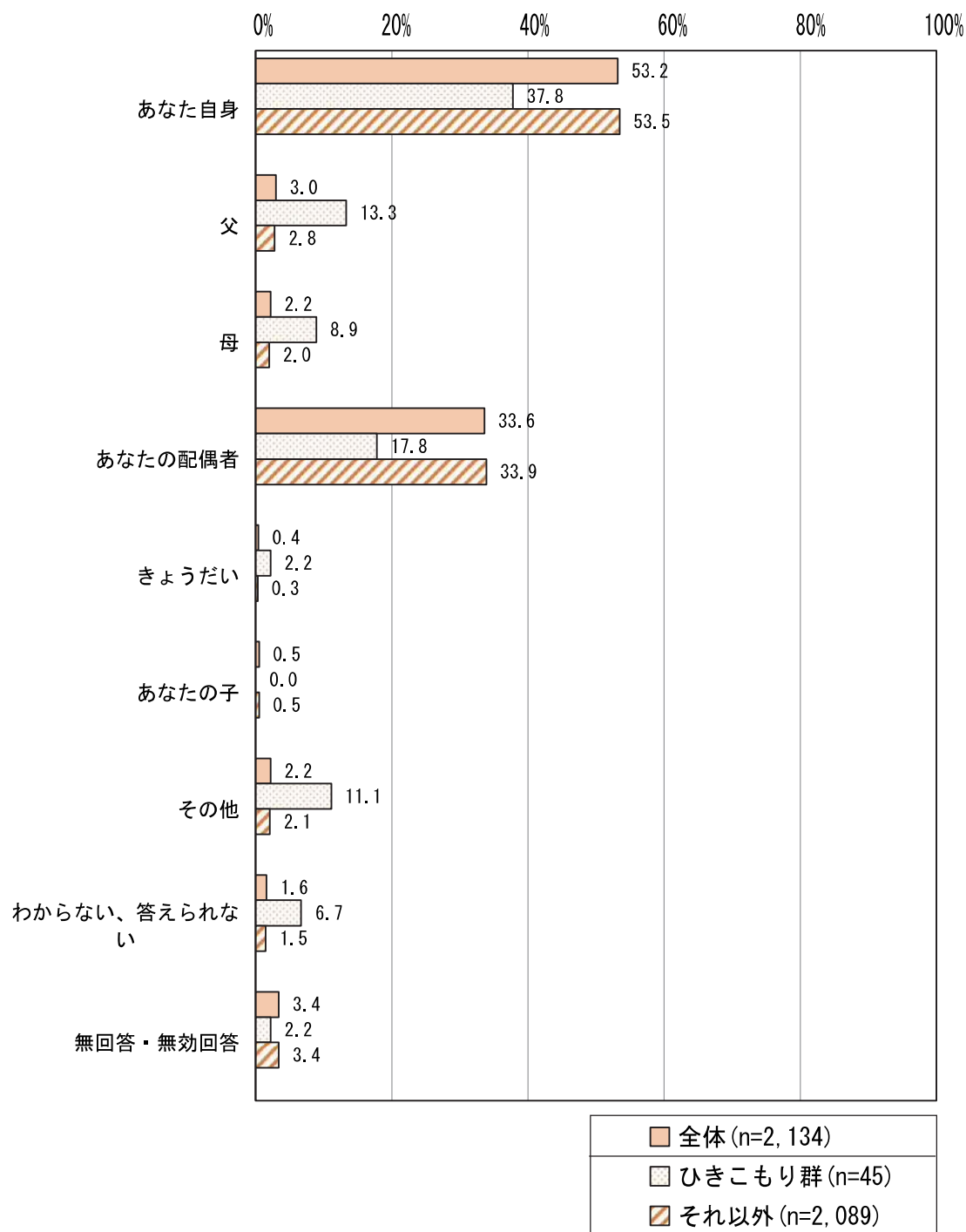
- ・40～64 歳全体では、「あなた自身」が 53.2%と最も多く、次いで「あなたの配偶者」が 33.6%となっている。
- ・ひきこもり群では、「あなた自身」が 37.8%と最も多く、次いで「あなたの配偶者」が 17.8%となっている。
- ・ひきこもり群では、それ以外と比較して、「父」、「母」の割合が高い。

問4 生計を支えている方は主にどなたですか。また、仕送りで生計を立てている方は、その仕送りを主にしてくれている人をお答えください。（単一回答）

図表 問4 【15～39歳】



図表 問4 【40～64歳】



※その他の主な回答（全年齢）

【ひきこもり群】

・生活保護

・年金

【それ以外】

・同居人と折半

・共働き

オ 暮らし向き

■ 15～39 歳について

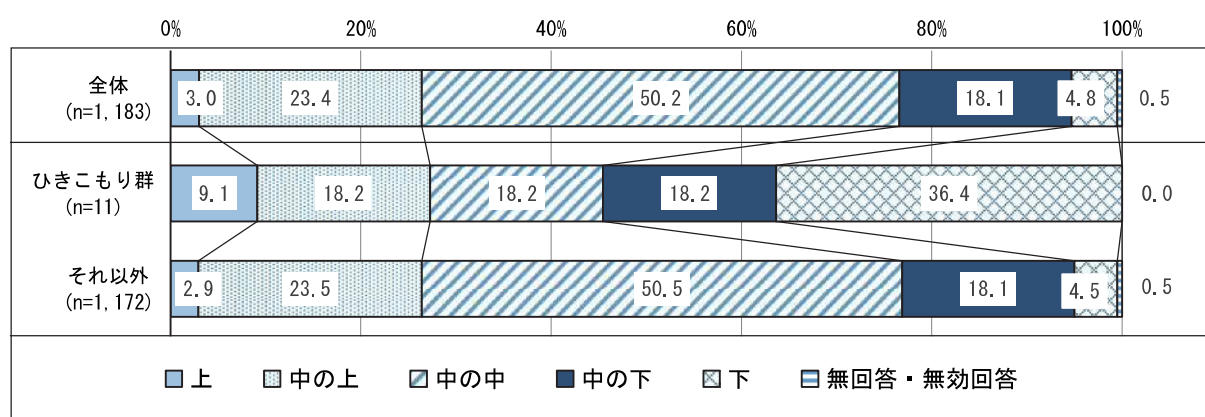
- ・15～39 歳全体では、「中の中」が 50.2%と最も多く、次いで「中の上」が 23.4%となっている。
- ・ひきこもり群では、「下」が 36.4%と最も多く、次いで「中の上」、「中の中」、「中の下」が 18.2%となっている。

■ 40～64 歳について

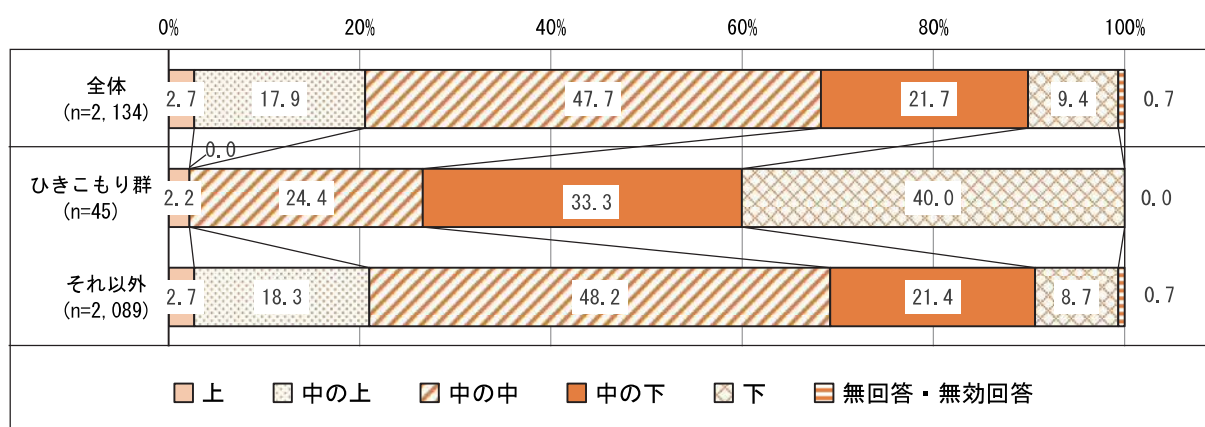
- ・40～64 歳全体では、「中の中」が 47.7%と最も多く、次いで「中の下」が 21.7%となっている。
- ・ひきこもり群では、「下」が 40.0%と最も多く、次いで「中の下」が 33.3%となっている。

問5 あなたの暮らし向き（衣・食・住・レジャーなどの物質的な生活水準）は、世間一般と比べてみて、上から下までのどれにあたるとお考えですか。
あなたの実感でお答えください。（単一回答）

図表 問5 【15～39歳】



図表 問5 【40～64歳】



カ お住まいの区

■ 15～39 歳について

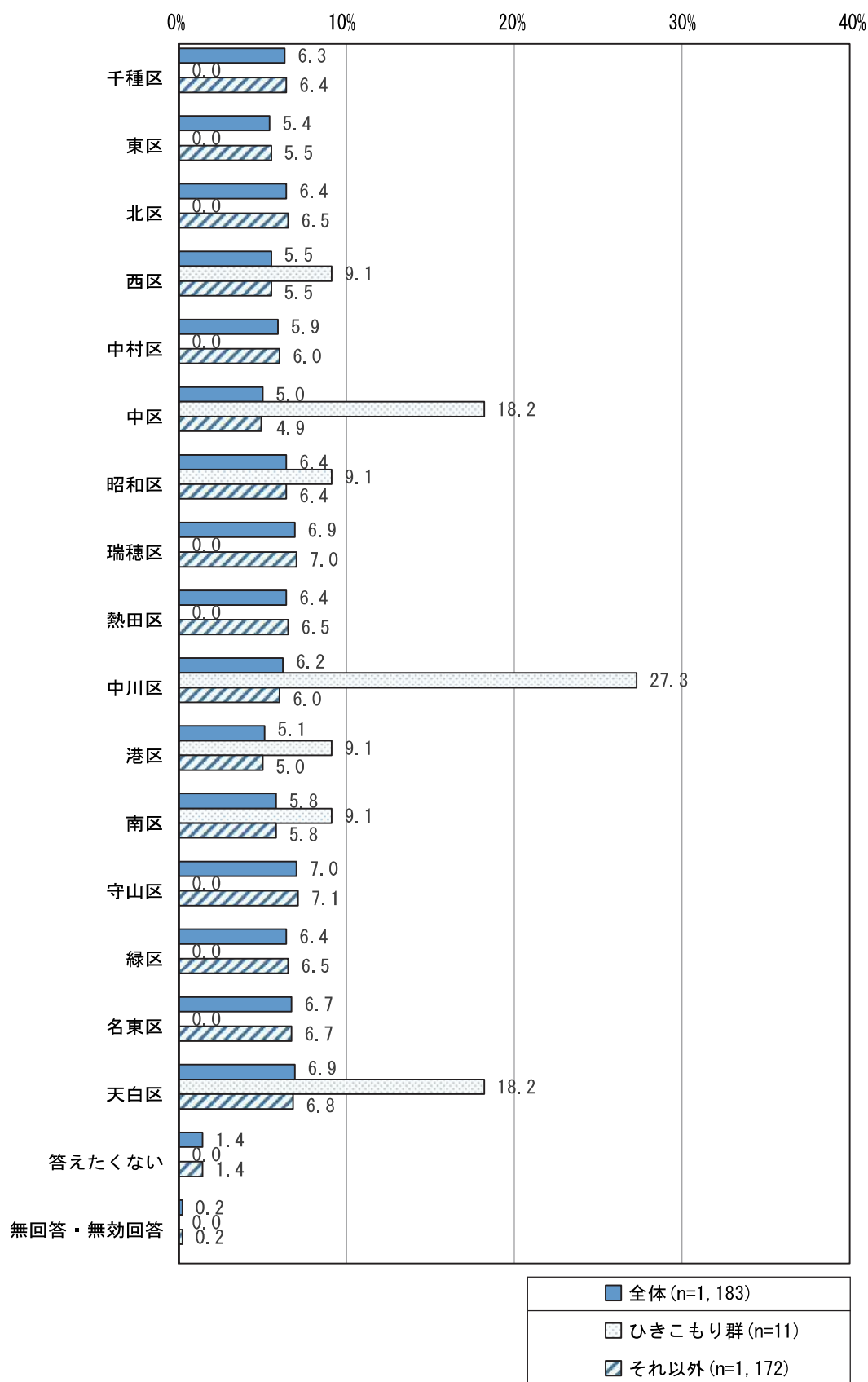
- ・ 15～39 歳全体では、平均して一律となっている。
- ・ ひきこもり群では、「中川区」が 27.3%と最も多く、次いで「中区」、「天白区」が 18.2%となっている。

■ 40～64 歳について

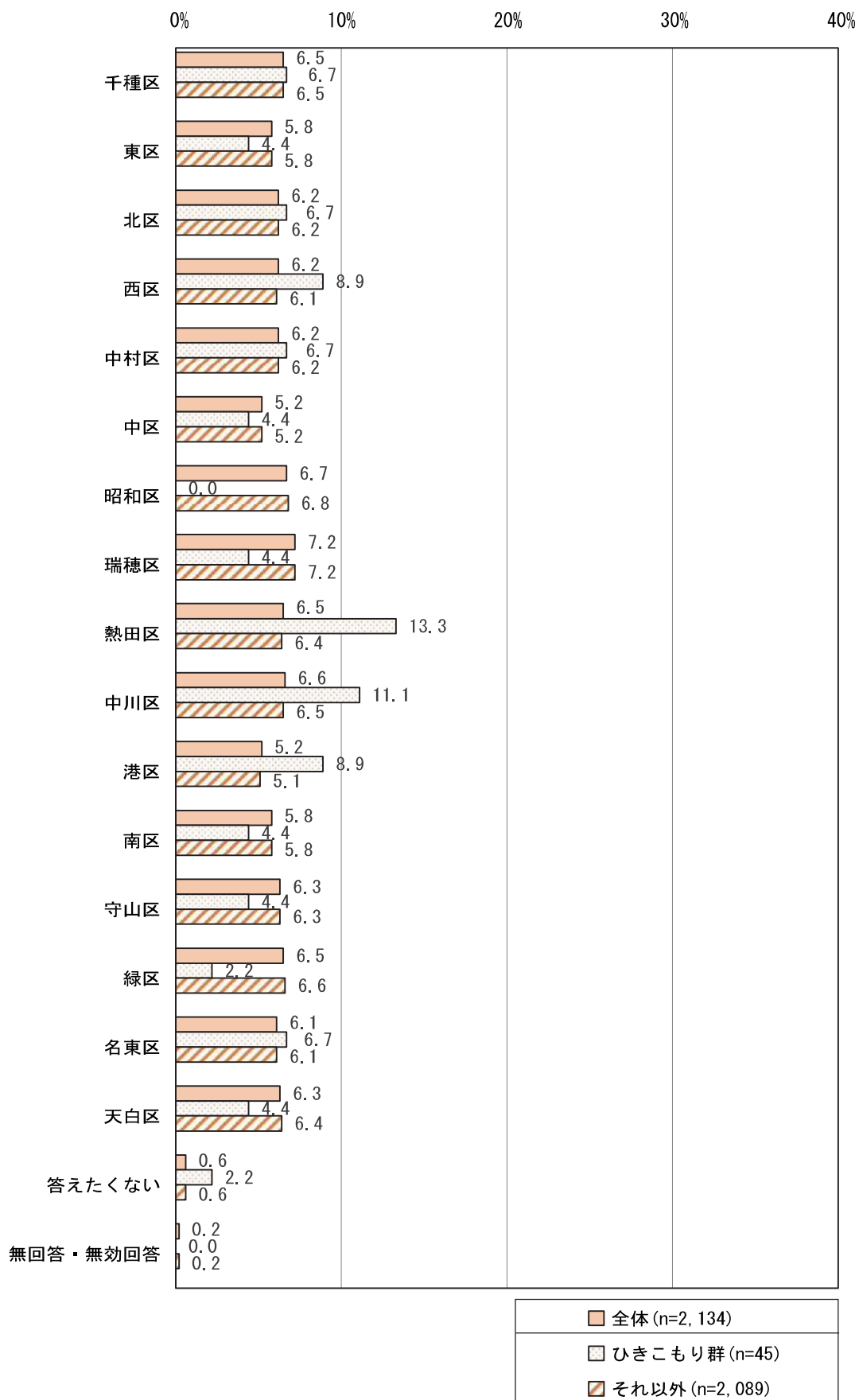
- ・ 40～64 歳全体では、平均して一律となっている。
- ・ ひきこもり群では、「熱田区」が 13.3%と最も多く、次いで「中川区」が 11.1%となっている。

問6 あなたがお住まいの区はどちらですか。（単一回答）

図表 問6 【15～39歳】



図表 問6 【40～64歳】



キ 通院・入院経験のある病気

■ 15～39 歳について

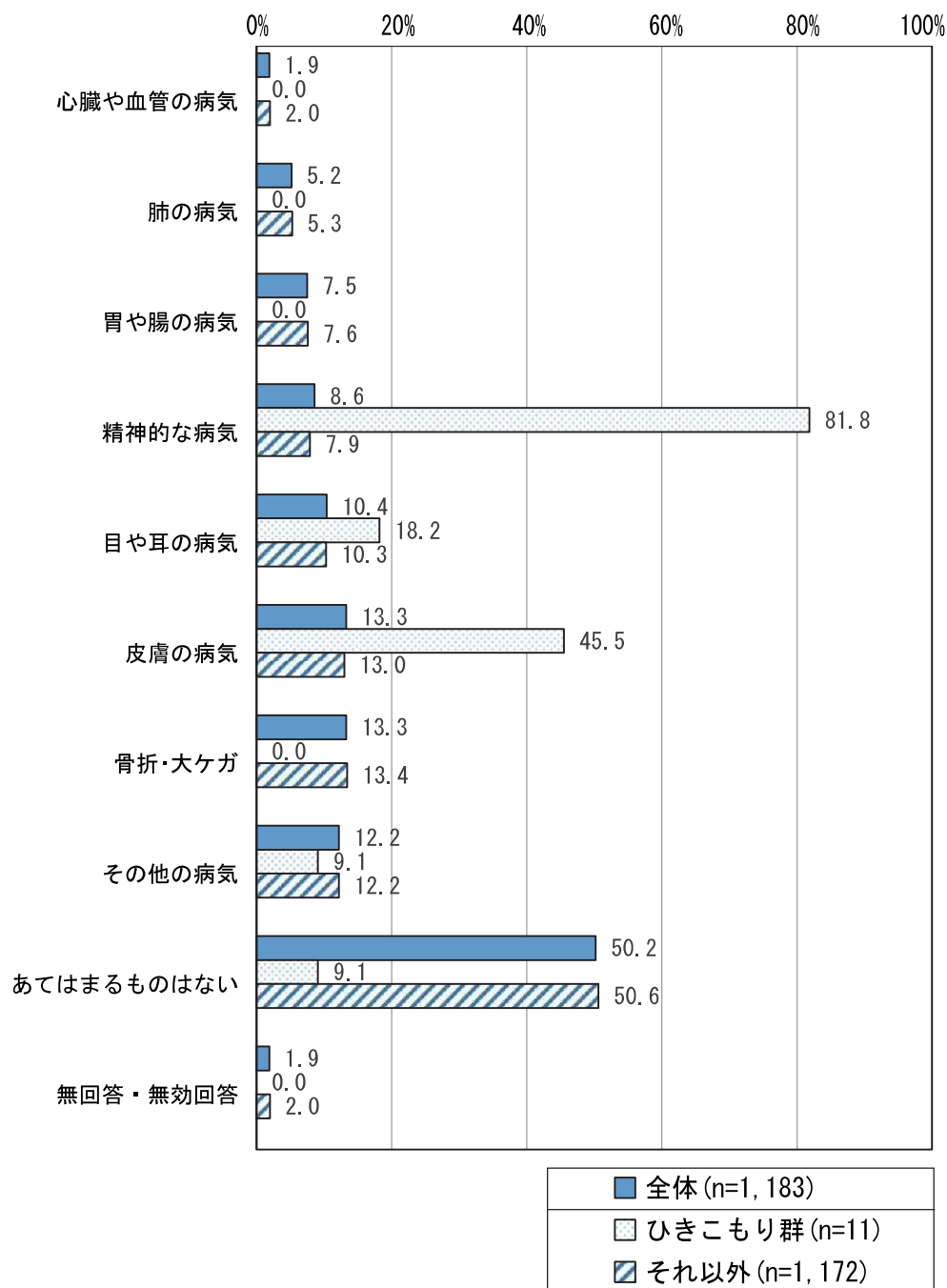
- ・ 15～39 歳全体では、「あてはまるものはない」が 50.2%と最も多くなっている。
- ・ ひきこもり群では、「精神的な病気」が 81.8%と最も多く、次いで「皮膚の病気」が 45.5%となっている。

■ 40～64 歳について

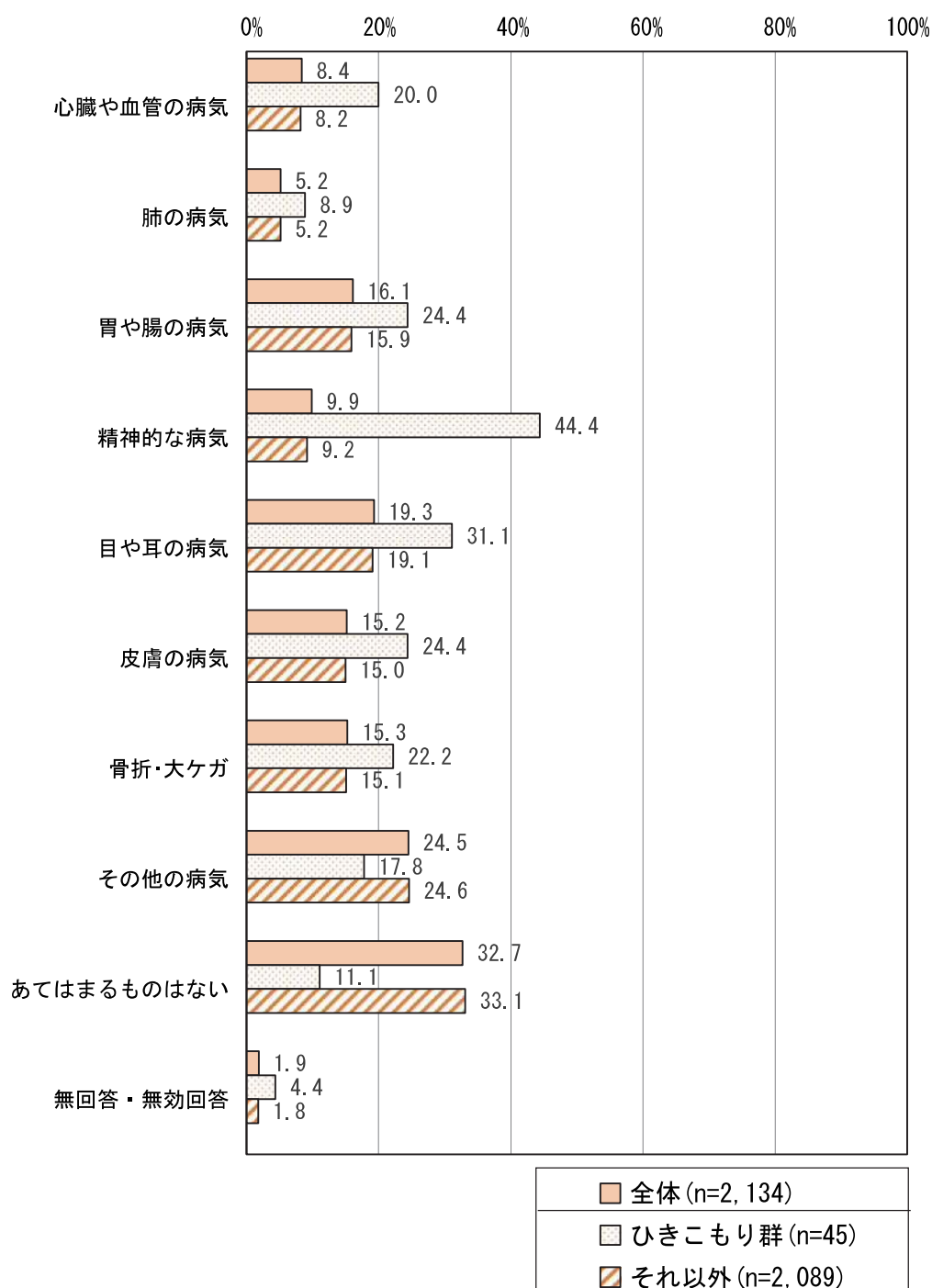
- ・ 40～64 歳全体では、「あてはまるものはない」が 32.7%と最も多く、次いで「その他の病気」が 24.5%となっている。
- ・ ひきこもり群では、「精神的な病気」が 44.4%と最も多く、次いで「目や耳の病気」が 31.1%となっている。

問7 これまでに以下の病気やけがで通院や入院をしたことはありますか。通院・入院したことがある病気をお答えください。（複数回答）

図表 問7 【15～39歳】



図表 問7 【40～64歳】



※その他の主な回答（全年齢）

【ひきこもり群】

- ・高血圧
- ・痔
- ・関節
- ・泌尿器疾患

【それ以外】

- ・がん
- ・内臓疾患
- ・糖尿病
- ・高血圧

(2) 就労・就学等の状況について

ア 最終学歴

■ 15～39 歳について

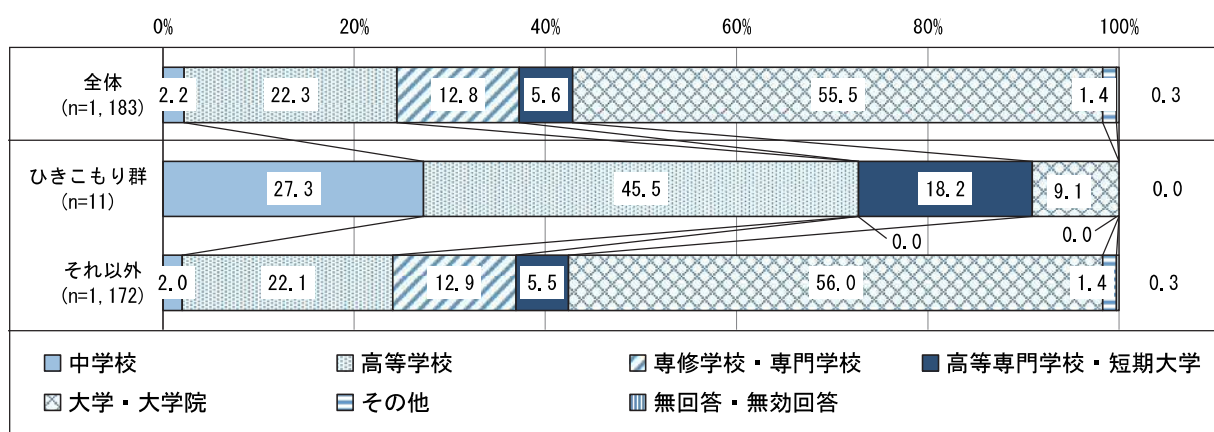
- ・ 15～39 歳全体では、「大学・大学院」が 55.5%と最も多く、次いで「高等学校」が 22.3%、「専修学校・専門学校」が 12.8%となっている。
- ・ ひきこもり群では、「高等学校」が 45.5%と最も多く、次いで「中学校」が 27.3%、「高等専門学校・短期大学」が 18.2%となっている。

■ 40～64 歳について

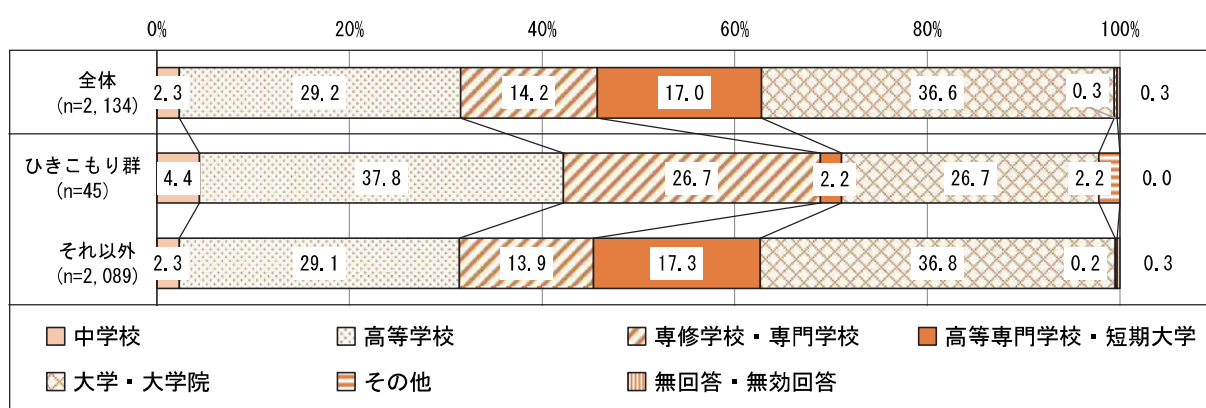
- ・ 40～64 歳全体では、「大学・大学院」が 36.6%と最も多く、次いで「高等学校」が 29.2%、「高等専門学校・短期大学」が 17.0%となっている。
- ・ ひきこもり群では、「高等学校」が 37.8%と最も多く、次いで「専修学校・専門学校」、「大学・大学院」が 26.7%となっている。

問8 あなたが最後に卒業（中退を含む）した学校はどれですか。
在学中の方は、現在在学している学校をお答えください。（単一回答）

図表 問8 【15～39歳】



図表 問8 【40～64歳】



※その他の主な回答（全年齢）

【ひきこもり群】

- ・ 高等学校卒業程度認定試験

【それ以外】

- ・ 特別支援学校
- ・ 通信制高校
- ・ 養成学校
- ・ 専門学校
- ・ 通信制大学

イ 現在の仕事

■ 15～39 歳について

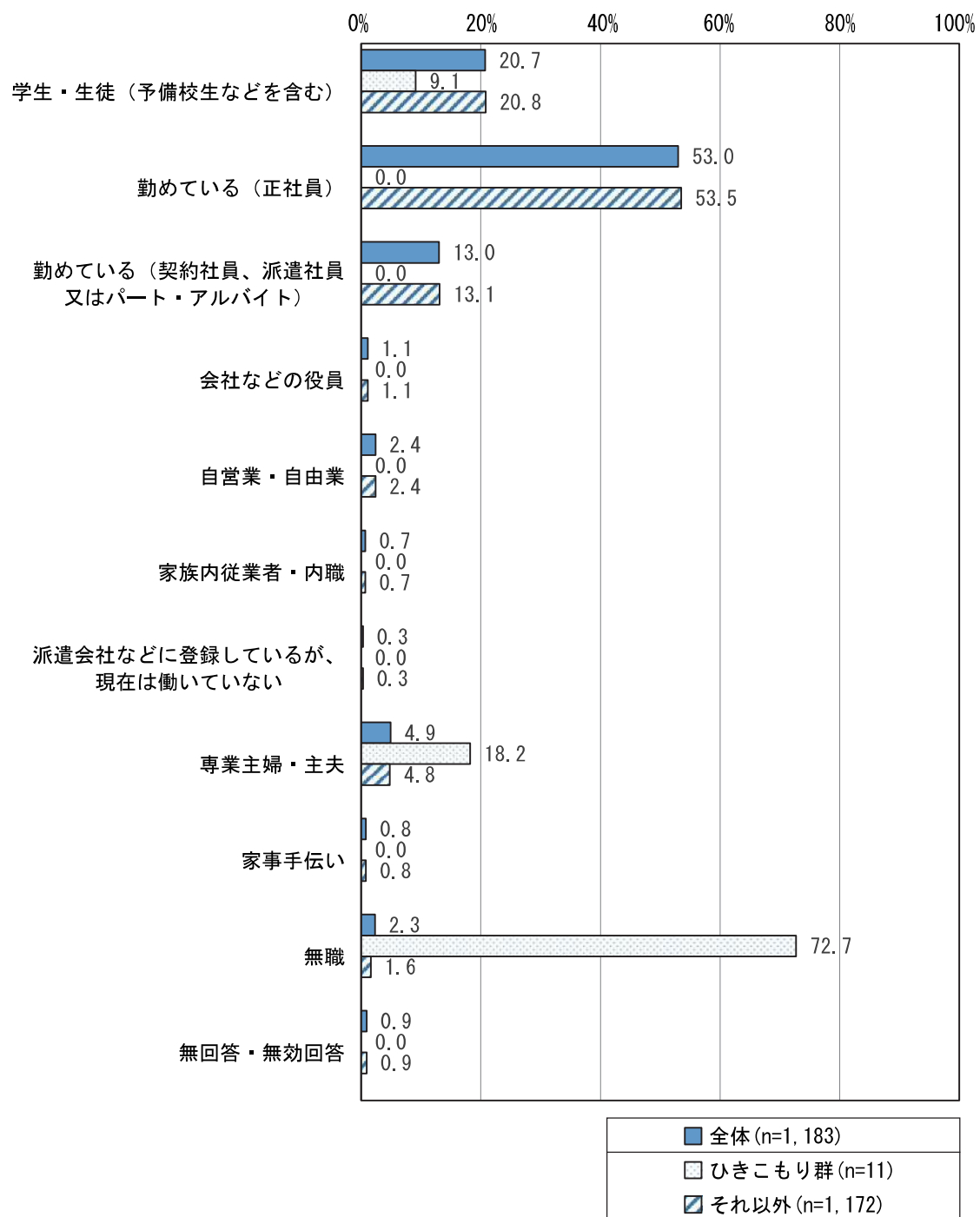
- ・ 15～39 歳全体では、「勤めている（正社員）」が 53.0%と最も多く、次いで「学生・生徒（予備校生などを含む）」が 20.7%となっている。
- ・ ひきこもり群では、「無職」が 72.7%と最も多く、次いで「専業主婦・主夫」が 18.2%となっている。

■ 40～64 歳について

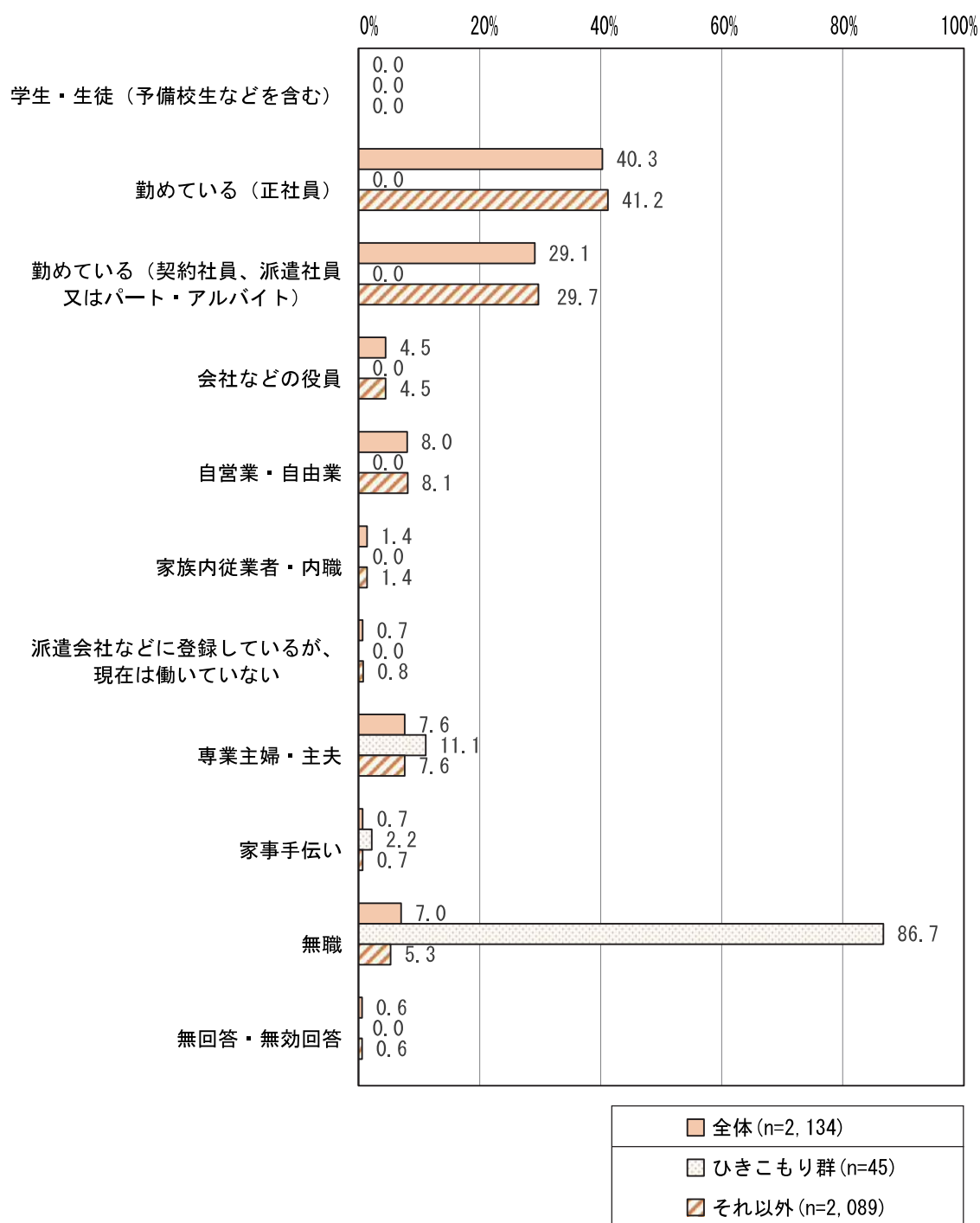
- ・ 40～64 歳全体では、「勤めている（正社員）」が 40.3%と最も多く、次いで「勤めている（契約社員、派遣社員又はパート・アルバイト）」が 29.1%となっている。
- ・ ひきこもり群では、「無職」が 86.7%と最も多くなっている。

問9 あなたの現在の仕事をお答えください。（単一回答）

図表 問9 【15～39歳】



図表 問9 【40～64歳】



ウ 就業経験

■ 15～39 歳について

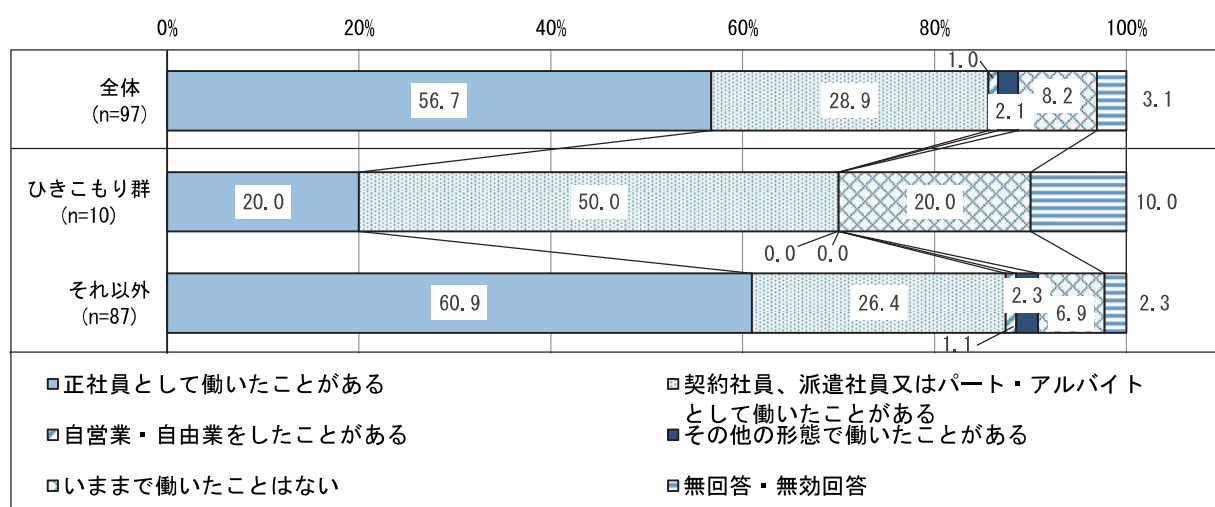
- ・ 15～39 歳全体では、「正社員として働いたことがある」が 56.7%と最も多い。
- ・ ひきこもり群では、「契約社員、派遣社員又はパート・アルバイトとして働いたことがある」が 50.0%と最も多い。
- ・ ひきこもり群では、それ以外と比較して、「いままで働いたことはない」の割合が高い。

■ 40～64 歳について

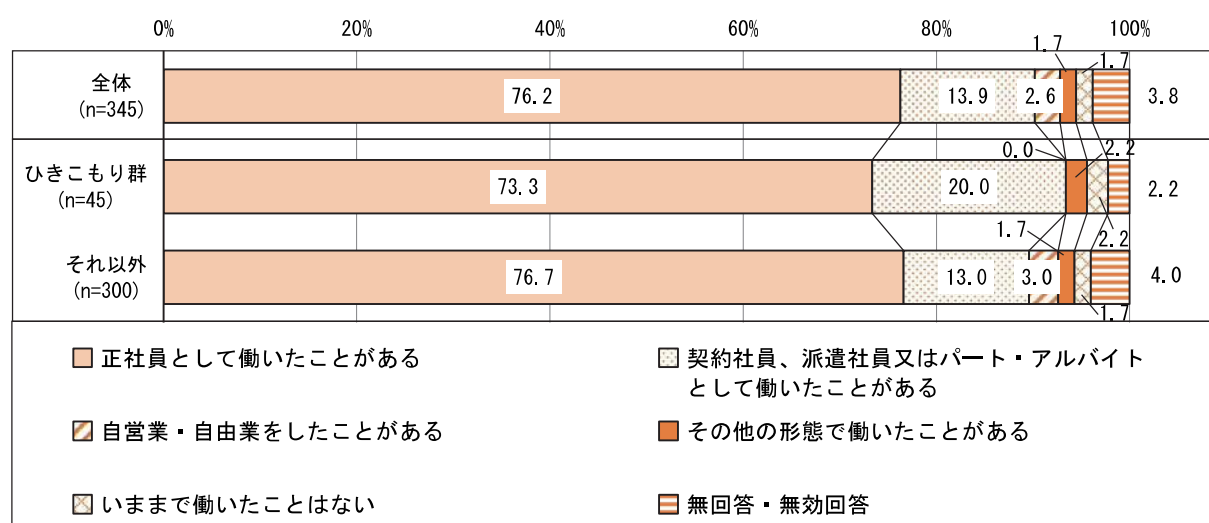
- ・ 40～64 歳全体では、「正社員として働いたことがある」が 76.2%と最も多い。
- ・ ひきこもり群では、「正社員として働いたことがある」が 73.3%と最も多い。

問 1 0 あなたの就業経験についてお答えください。（単一回答）

図表 問 1 0 【15～39歳】



図表 問 1 0 【40～64歳】



※その他の主な回答（全年齢）

【ひきこもり群】

- ・ 会社役員

【それ以外】

- ・ 就労継続支援B型事業所
- ・ 音楽講師
- ・ 看護師

- ・ 会社経営
- ・ 民間新聞配達

工 就職又は進学希望

■ 15～39 歳について

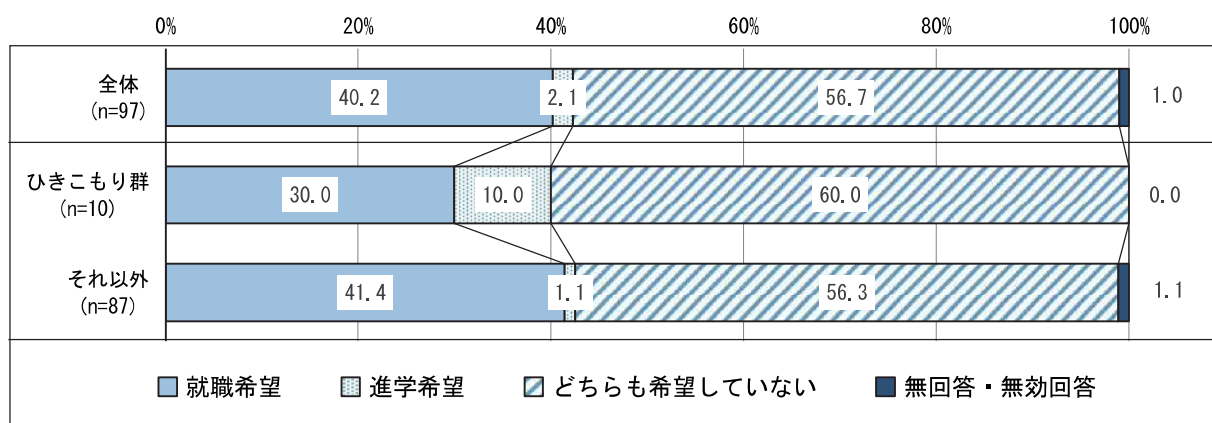
- ・ 15～39 歳全体では、「どちらも希望していない」が 56.7%と最も多く、次いで「就職希望」が 40.2%となっている。
- ・ ひきこもり群では、「どちらも希望していない」が 60.0%と最も多く、次いで「就職希望」が 30.0%となっている。
- ・ ひきこもり群では、それ以外と比較して、「進学希望」の割合が高い。

■ 40～64 歳について

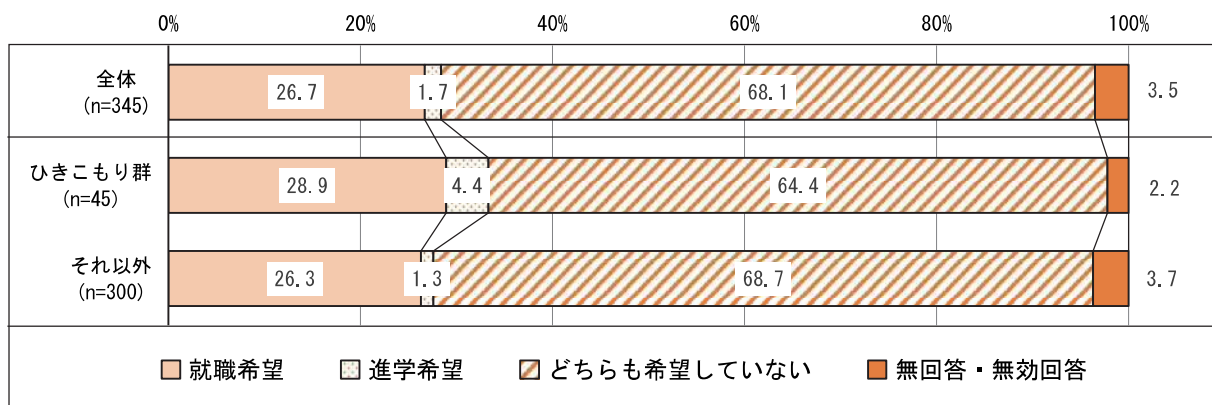
- ・ 40～64 歳全体では、「どちらも希望していない」が 68.1%と最も多く、次いで「就職希望」が 26.7%となっている。
- ・ ひきこもり群では、「どちらも希望していない」が 64.4%と最も多く、次いで「就職希望」が 28.9%となっている。

問 1 1 現在、就職または進学を希望していますか。（単一回答）

図表 問 1 1 【15～39歳】



図表 問 1 1 【40～64歳】



オ 就職活動

■ 15～39 歳について

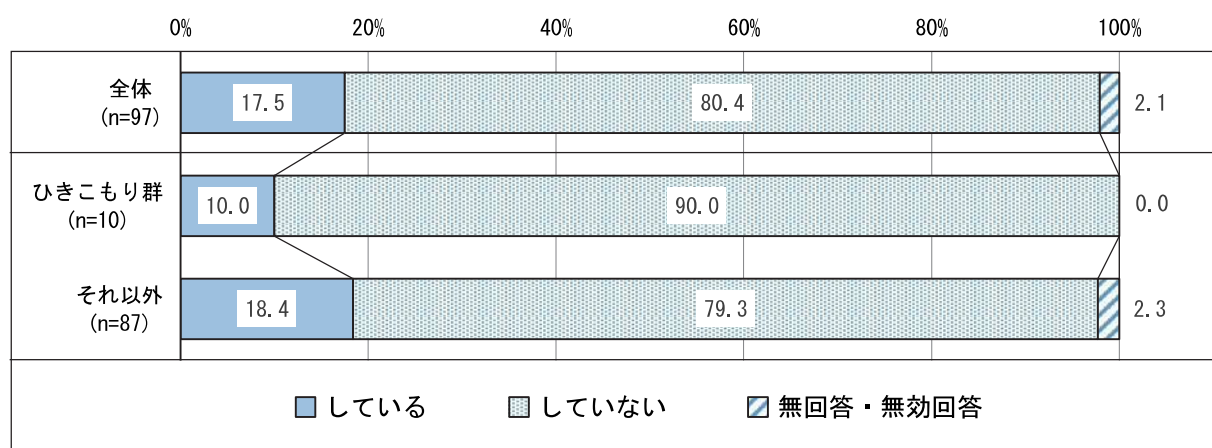
- ・15～39 歳全体では、「していない」が80.4%と最も多く、「している」は17.5%となっている。
- ・ひきこもり群では、「していない」が90.0%と最も多く、「している」は10.0%となっている。

■ 40～64 歳について

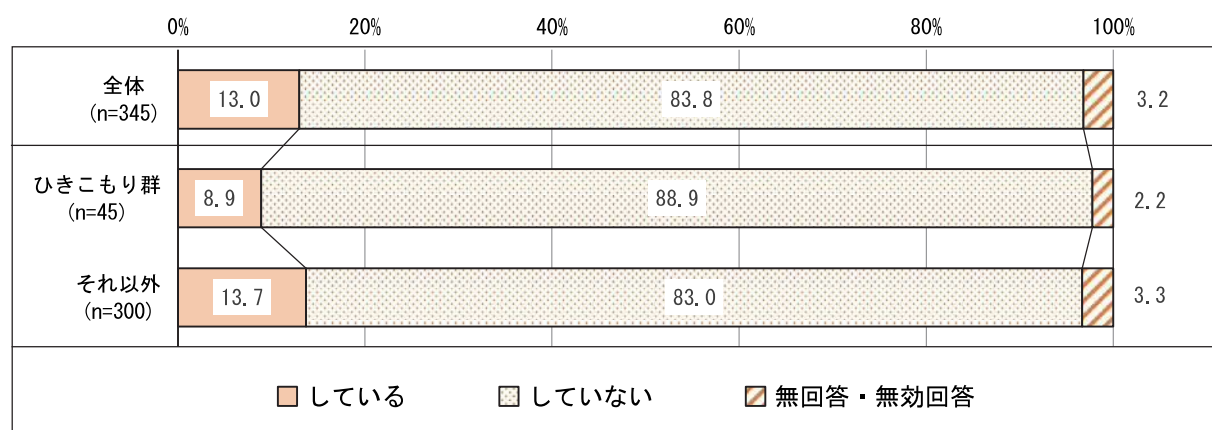
- ・40～64 歳全体では、「していない」が83.8%と最も多く、「している」は13.0%となっている。
- ・ひきこもり群では、「していない」が88.9%と最も多く、「している」は8.9%となっている。

問12 現在、就職活動をしていますか。（単一回答）

図表 問12 【15～39歳】



図表 問12 【40～64歳】



力 就職、進学、就職活動をしなかった理由

■ 15～39 歳について

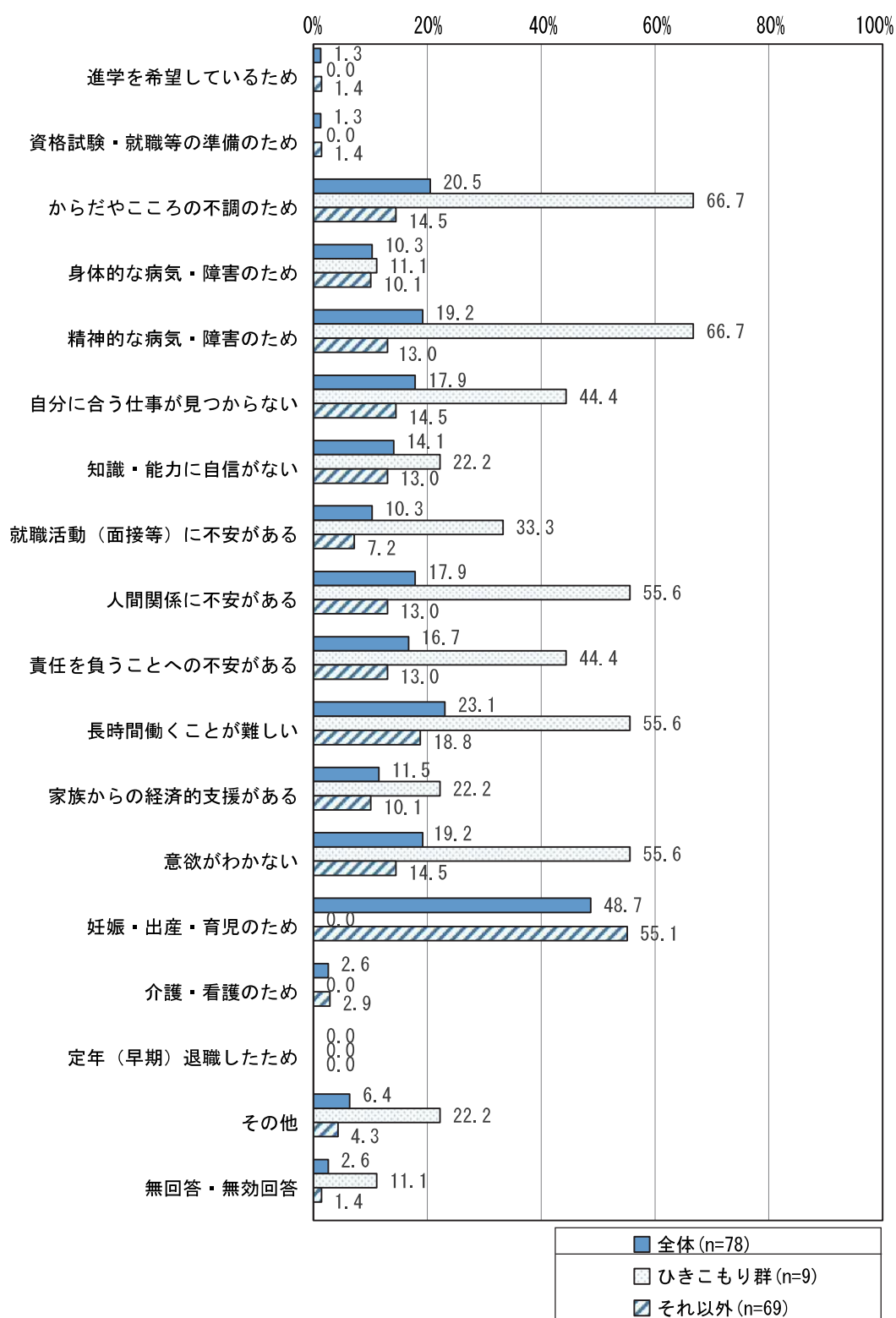
- ・15～39 歳全体では、「妊娠・出産・育児のため」が48.7%と最も多く、次いで「長時間働くことが難しい」が23.1%、「からだやこころの不調のため」が20.5%となっている。
- ・ひきこもり群では、「からだやこころの不調のため」、「精神的な病気・障害のため」が66.7%と最も多く、次いで「人間関係に不安がある」、「長時間働くことが難しい」、「意欲がわからない」が55.6%となっている。
- ・ひきこもり群では、それ以外と比較して、「からだやこころの不調のため」、「精神的な病気・障害のため」の割合が高い。

■ 40～64 歳について

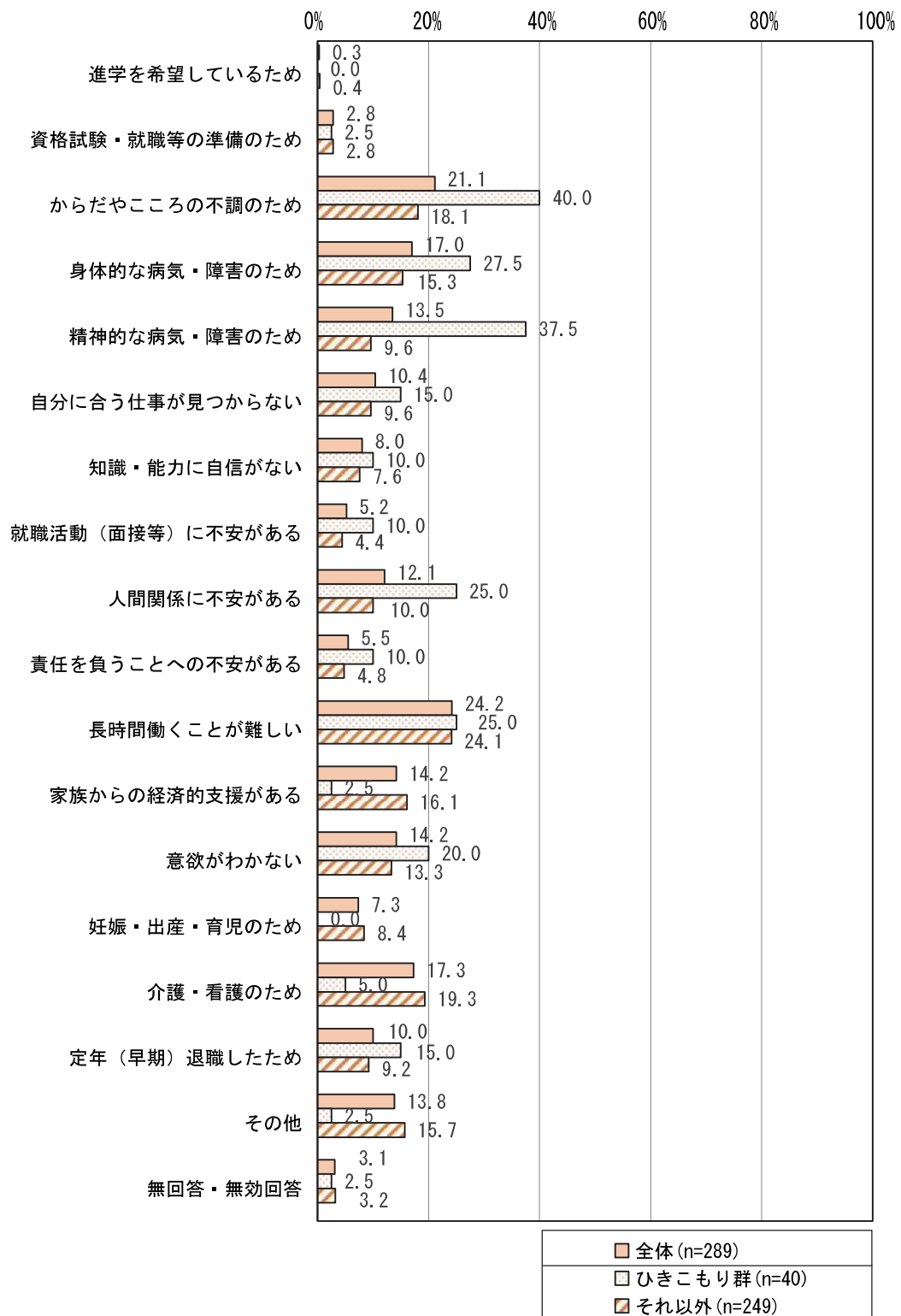
- ・40～64 歳全体では、「長時間働くことが難しい」が24.2%と最も多く、次いで「からだやこころの不調のため」が21.1%、「介護・看護のため」が17.3%となっている。
- ・ひきこもり群では、「からだやこころの不調のため」が40.0%と最も多く、次いで「精神的な病気・障害のため」が37.5%、「身体的な病気・障害のため」が27.5%となっている。
- ・ひきこもり群では、それ以外と比較して、「介護・看護のため」、「家族からの経済的支援がある」の割合が低く、「精神的な病気・障害のため」、「からだやこころの不調のため」の割合が高い。

問13 あなたが就職・進学を希望しなかった、または就職活動をしなかった理由はなんですか。（複数回答）

図表 問13 【15～39歳】



図表 問 1 3 【40～64歳】



※その他の主な回答（全年齢）

【ひきこもり群】

【それ以外】

- ・興味が無い
- ・家族の世話
- ・家事がある為
- ・高齢の為
- ・就職が決まった為
- ・体力に不安がある
- ・療養中、虚弱体質の為
- ・収入があり働く必要がない

(3) 生活状況について

ア 自宅でしていること

■ 15～39 歳について

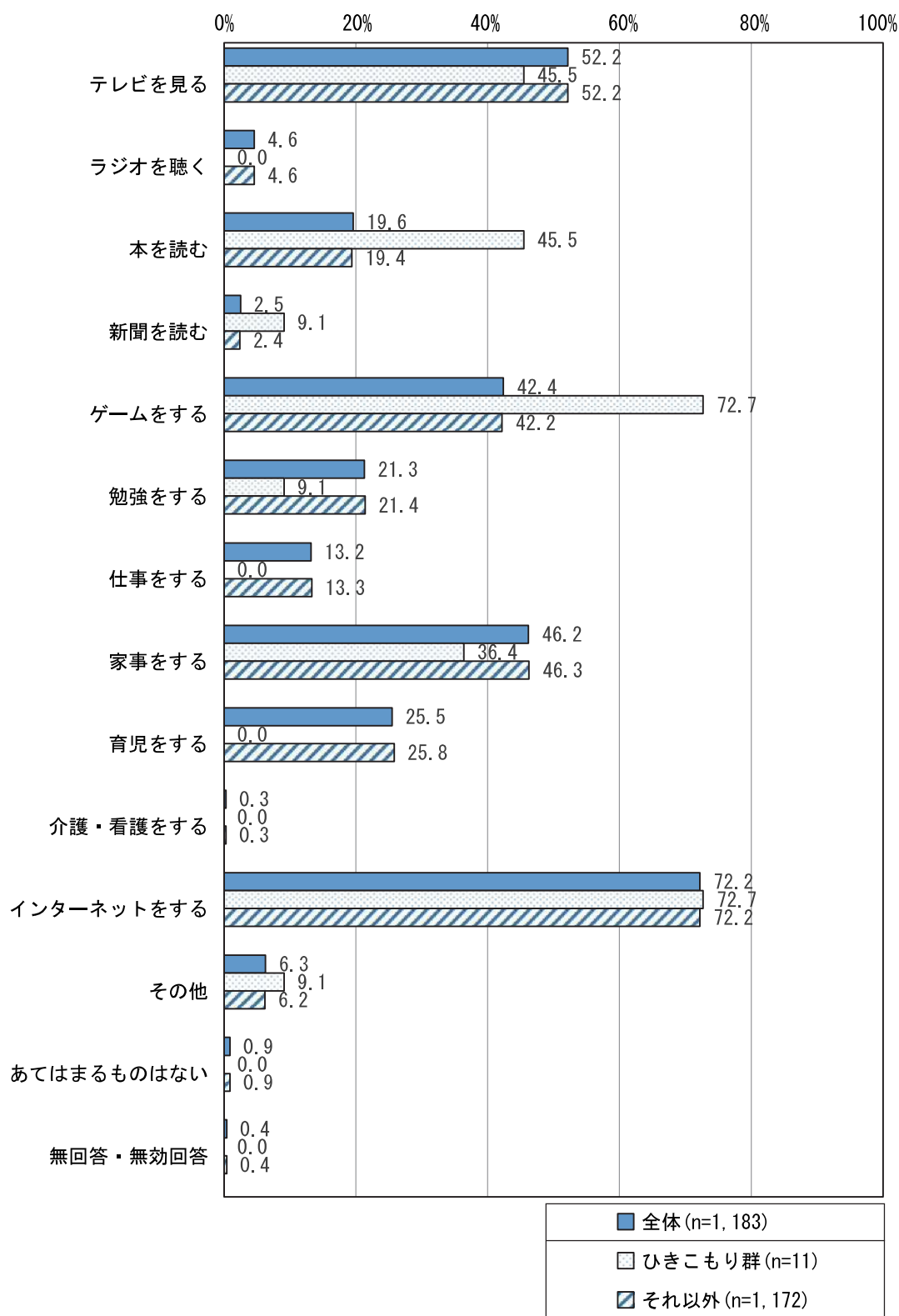
- ・ 15～39 歳全体では、「インターネットをする」が72.2%と最も多く、次いで「テレビを見る」が52.2%「家事をする」が46.2%となっている。
- ・ ひきこもり群では、「インターネットをする」、「ゲームをする」が72.7%と最も多く、次いで「テレビを見る」、「本を読む」が45.5%となっている。

■ 40～64 歳について

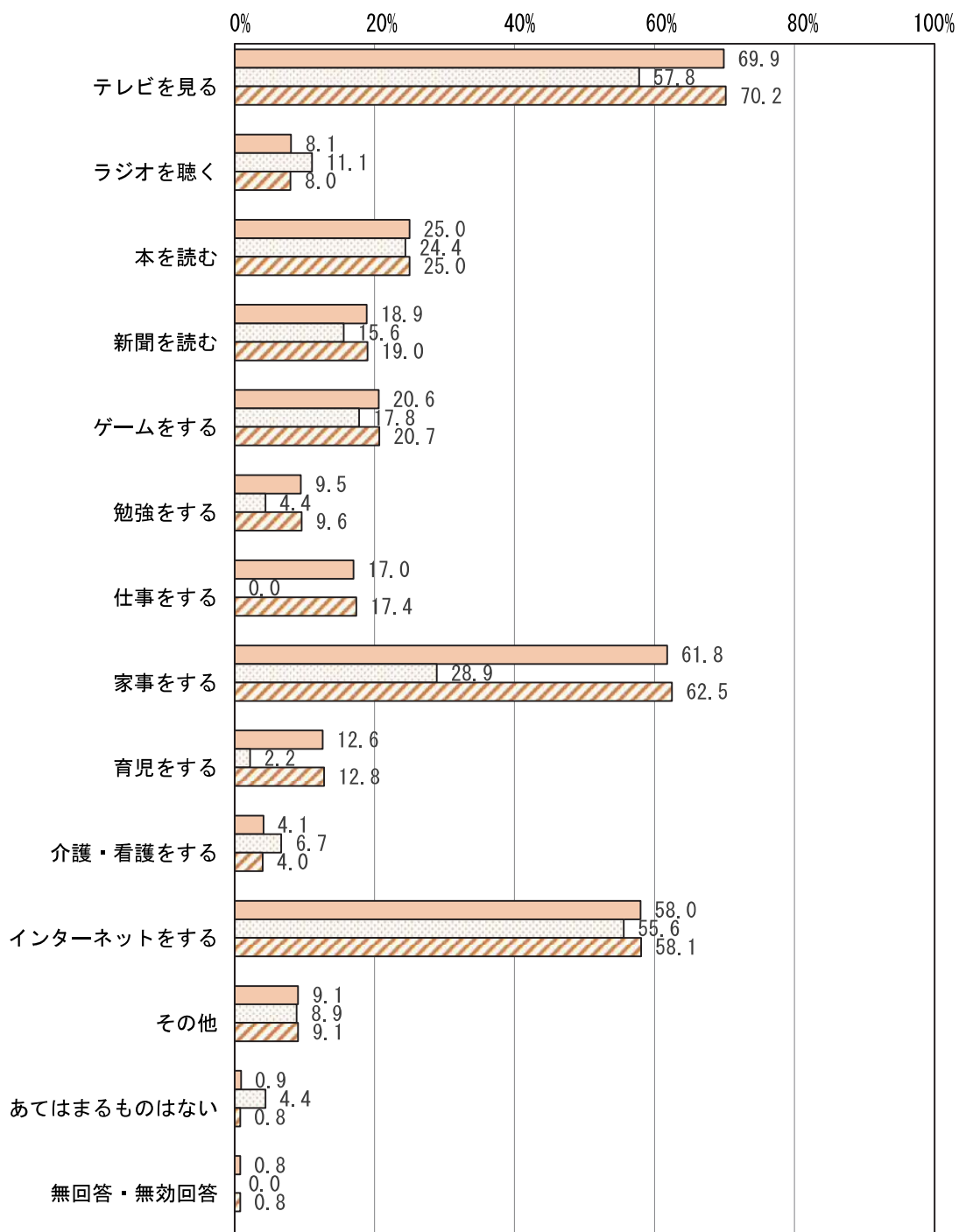
- ・ 40～64 歳全体では、「テレビを見る」が69.9%と最も多く、次いで「家事をする」が61.8%となっている。
- ・ ひきこもり群では、「テレビを見る」が57.8%と最も多く、次いで「インターネットをする」が55.6%となっている。

問14 普段ご自宅（暮らしている場所）にいるときは、どんなことに時間を使っていますか。よくしていることをすべて選んでください。（複数回答）

図表 問14 【15～39歳】



図表 問 1 4 【40～64歳】



全体 (n=2,134)

ひきこもり群 (n=45)

それ以外 (n=2,089)

※その他の主な回答（全年齢）

【ひきこもり群】

・睡眠

【それ以外】

・動植物の世話

・音楽動画等の鑑賞

・SNS、スマホ

・音楽動画等の鑑賞

・運動、散歩

・趣味、手芸、工作

・睡眠

イ 情報を得ているもの

■ 15～39 歳について

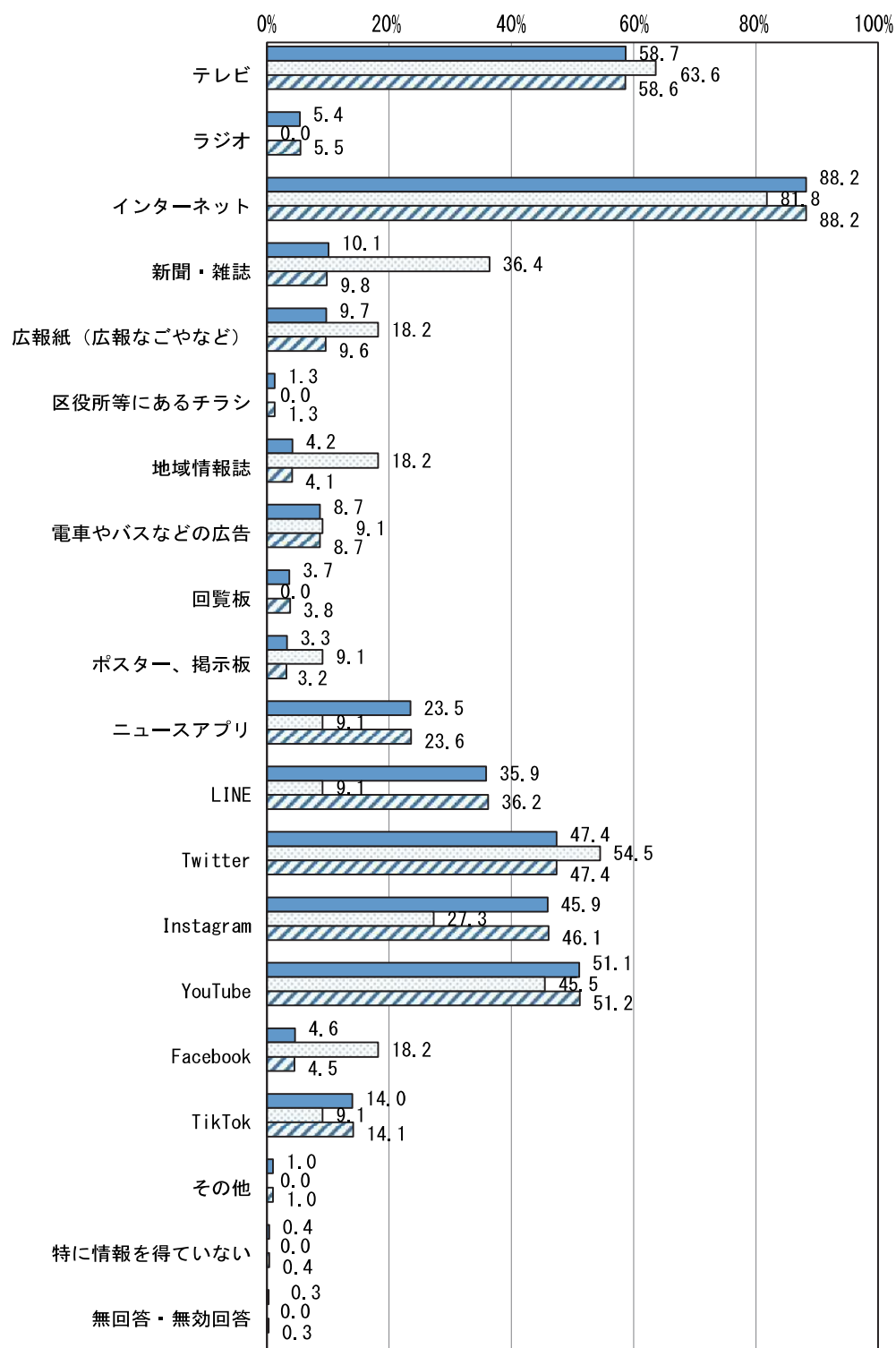
- ・ 15～39 歳全体では、「インターネット」が 88.2%と最も多く、次いで「テレビ」が 58.7%、「YouTube」が 51.1%、「Twitter」が 47.4%、「Instagram」が 45.9%となっている。
- ・ ひきこもり群では、「インターネット」が 81.8%と最も多く、次いで「テレビ」が 63.6%、「Twitter」が 54.5%、「YouTube」が 45.5%となっている。
- ・ ひきこもり群では、それ以外と比較して、「新聞・雑誌」、「地域情報誌」、「広報紙（広報なごやなど）」の割合が高く、「ニュースアプリ」、「LINE」の割合が低い。

■ 40～64 歳について

- ・ 40～64 歳全体では、「インターネット」が 83.1%と最も多く、次いで「テレビ」が 76.4%「新聞・雑誌」が 40.3%となっている。
- ・ ひきこもり群では、「インターネット」が 75.6%と最も多く、次いで「テレビ」が 64.4%、「YouTube」が 40.0%となっている。
- ・ ひきこもり群では、それ以外と比較して、「広報紙（広報なごやなど）」の割合が低い。

問15 ふだん、情報をどのようなものから得ていますか。(複数回答)

図表 問15 【15～39歳】

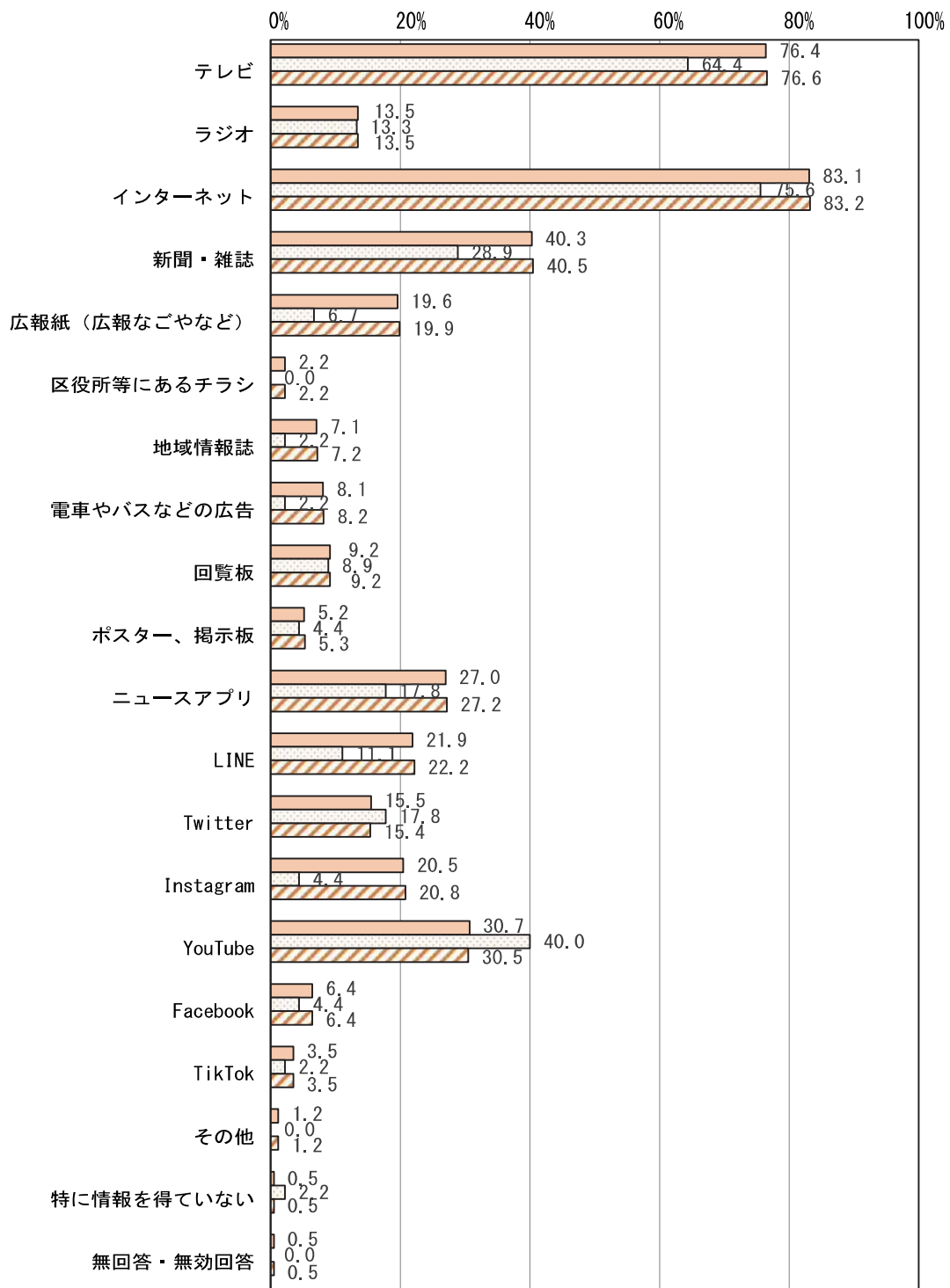


■ 全体 (n=183)

□ ひきこもり群 (n=11)

▨ それ以外 (n=172)

図表 問15 【40～64歳】



全体 (n=2,134)

ひきこもり群 (n=45)

それ以外 (n=2,089)

※その他の主な回答（全年齢）

【ひきこもり群】

・なし

【それ以外】

・家族、友人、知人 ・書籍 ・職場
・書店、図書館 ・口コミ ・セミナー

ウ 知っている本市の相談機関等

■ 15～39 歳について

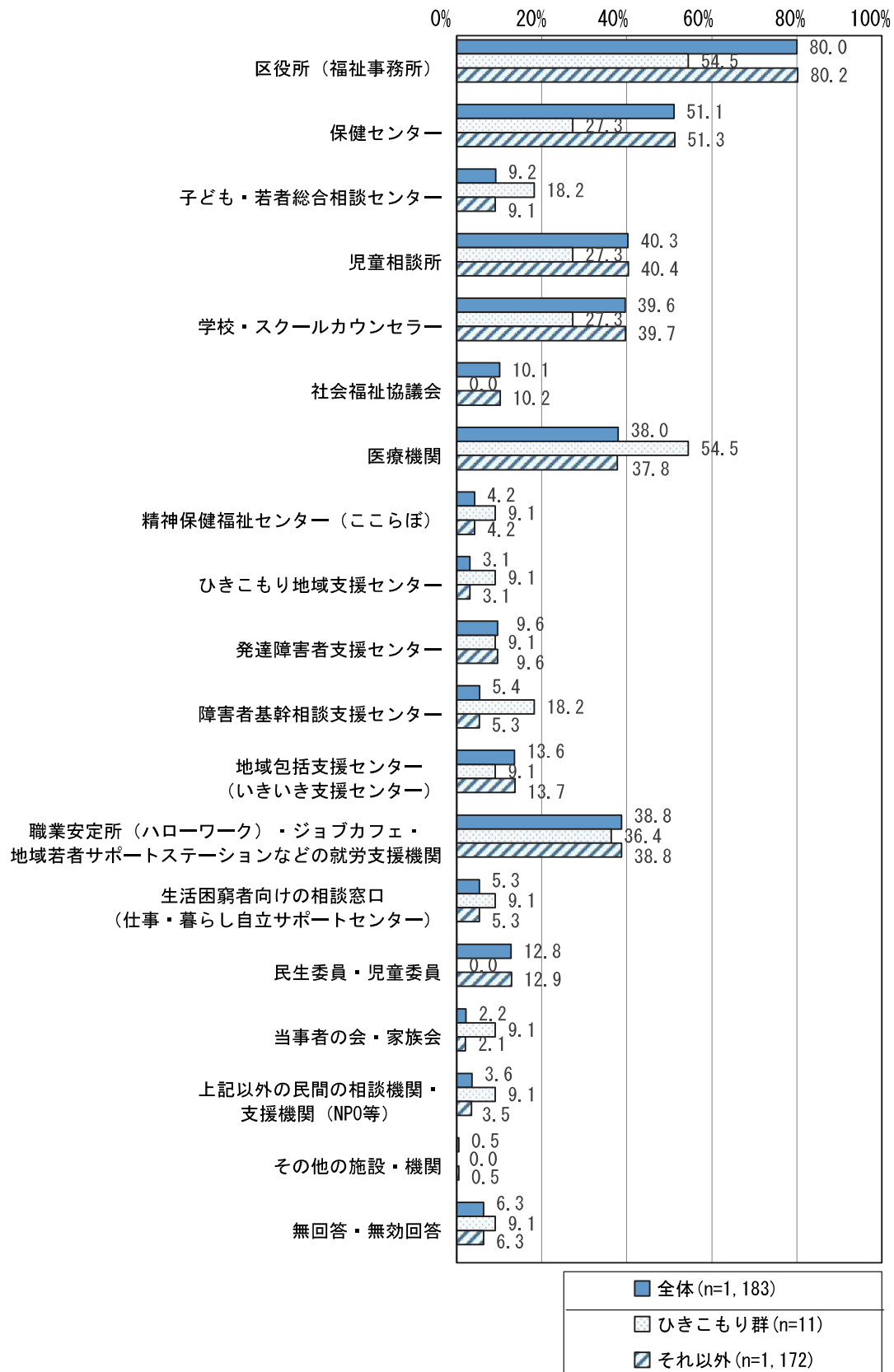
- ・ 15～39 歳全体では、「区役所（福祉事務所）」が 80.0%と最も多く、次いで「保健センター」が 51.1%、「児童相談所」が 40.3%となっている。
- ・ ひきこもり群では、「区役所（福祉事務所）」、「医療機関」が 54.5%と最も多く、次いで「職業安定所（ハローワーク）・ジョブカフェ・地域若者サポートステーションなどの就労支援機関」が 36.4%となっている。

■ 40～64 歳について

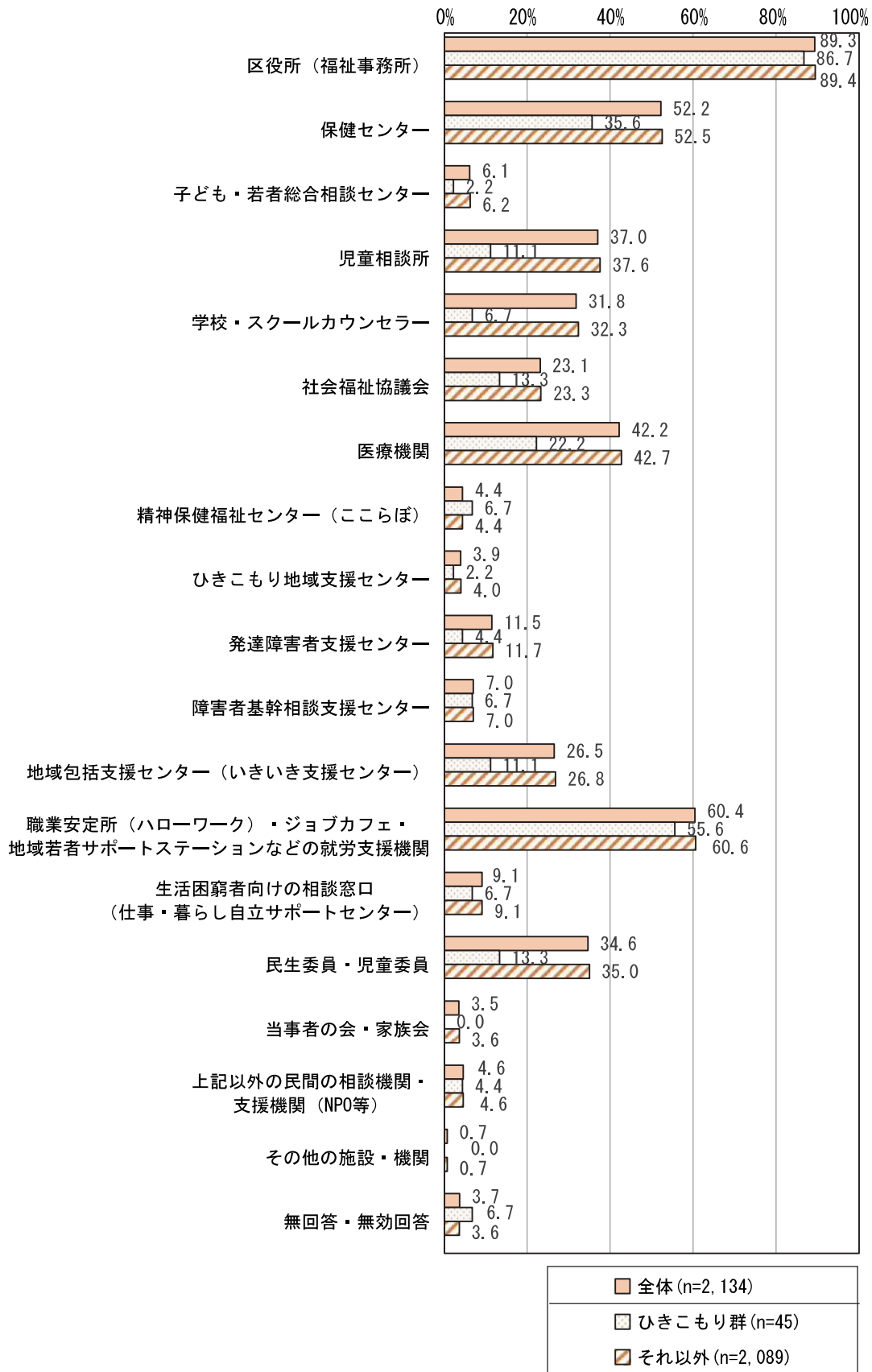
- ・ 40～64 歳全体では、「区役所（福祉事務所）」が 89.3%と最も多く、次いで「職業安定所（ハローワーク）・ジョブカフェ・地域若者サポートステーションなどの就労支援機関」が 60.4%、「保健センター」が 52.2%となっている。
- ・ ひきこもり群では、「区役所（福祉事務所）」が 86.7%と最も多く、次いで「職業安定所（ハローワーク）・ジョブカフェ・地域若者サポートステーションなどの就労支援機関」が 55.6%、「保健センター」が 35.6%となっている。

問16 あなたの知っている本市の相談機関等をすべて選んでください。（複数回答）

図表 問16 【15～39歳】



図表 問16 【40～64歳】



※その他の主な回答（全年齢）

【ひきこもり群】・なし 【それ以外】・なし ・知らない ・地域子育て支援センター

エ 普段の外出頻度

■ 15～39 歳について

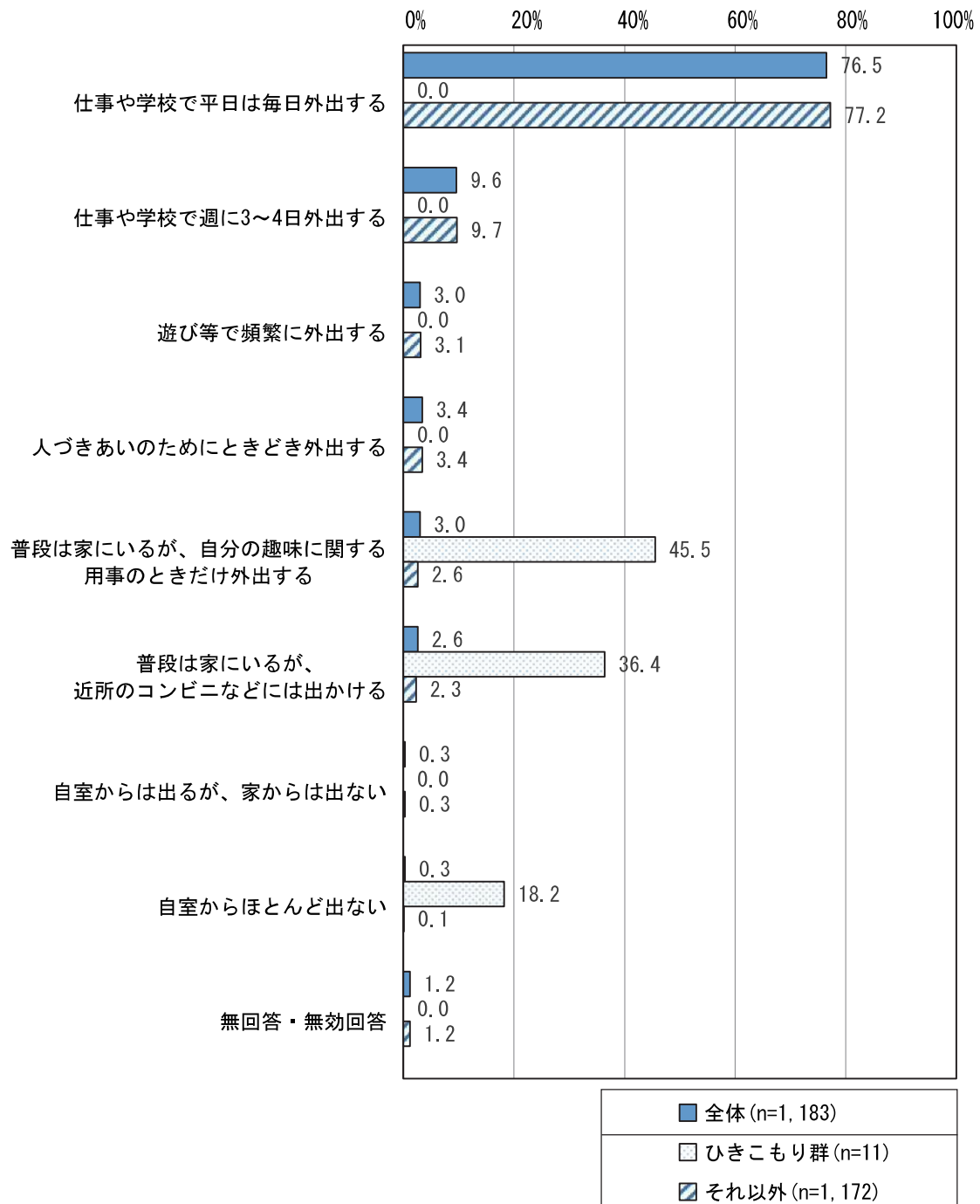
- ・15～39 歳全体では、「仕事や学校で平日は毎日外出する」が 76.5%と最も多くなっている。
- ・ひきこもり群では、「普段は家にいるが、自分の趣味に関する用事の時だけ外出する」が 45.5%と最も多く、次いで「普段は家にいるが、近所のコンビニなどには出かける」が 36.4%となっている。

■ 40～64 歳について

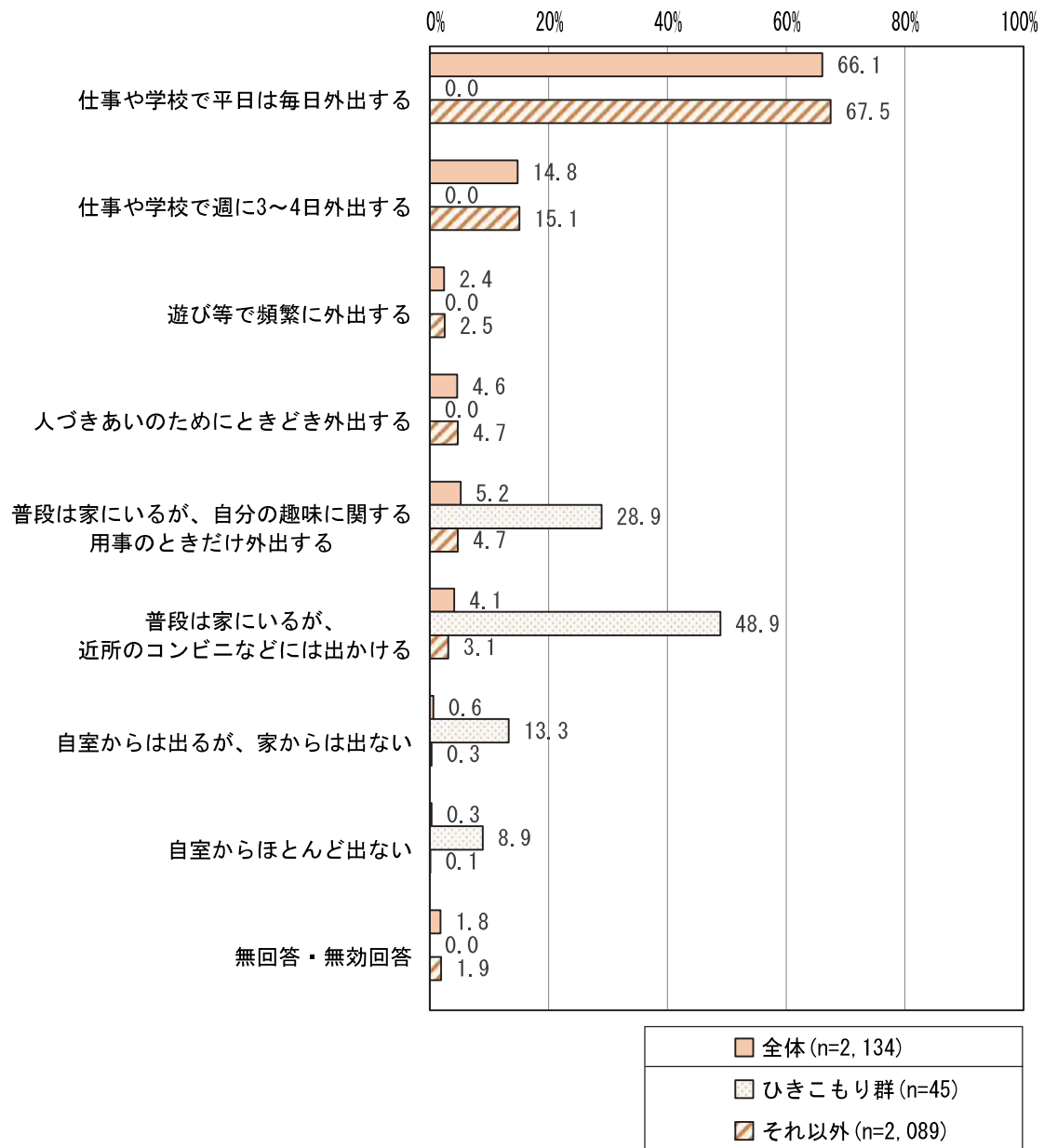
- ・40～64 歳全体では、「仕事や学校で平日は毎日外出する」が 66.1%と最も多くなっている。
- ・ひきこもり群では、「普段は家にいるが、近所のコンビニなどには出かける」が 48.9%と最も多く、次いで「普段は家にいるが自分の趣味に関する用事の時だけ外出する」が 28.9%となっている。
- ・ひきこもり群では、それ以外と比較して、「普段は家にいるが、自分の趣味に関する用事の時だけ外出する」、「普段は家にいるが、近所のコンビニなどには出かける」の割合が高い。

問１７ あなたは普段どのくらい外出しますか。現在のことについてお答えください。
(単一回答)

図表 問１７ 【15～39歳】



図表 問 1 7 【40～64歳】



オ 現在の外出状況になってからの期間

■ 15～39 歳について

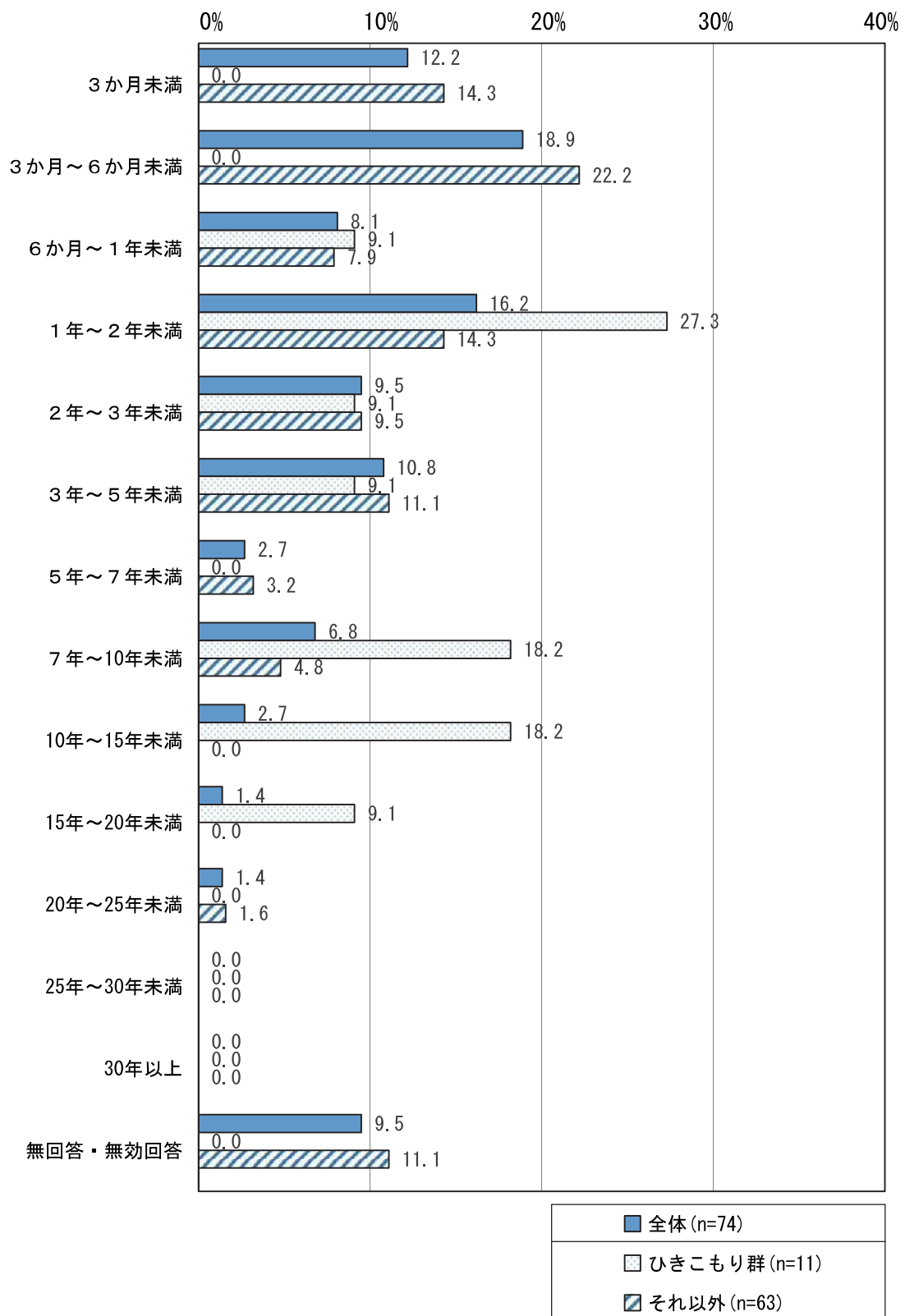
- ・15～39 歳全体では、「3 か月～6 か月未満」が 18.9%と最も多く、次いで「1 年～2 年未満」が 16.2%、「3 か月未満」が 12.2%となっている。
- ・ひきこもり群では、「1 年～2 年未満」が 27.3%と最も多く、次いで「7 年～10 年未満」、「10 年～15 年未満」が 18.2%となっている。

■ 40～64 歳について

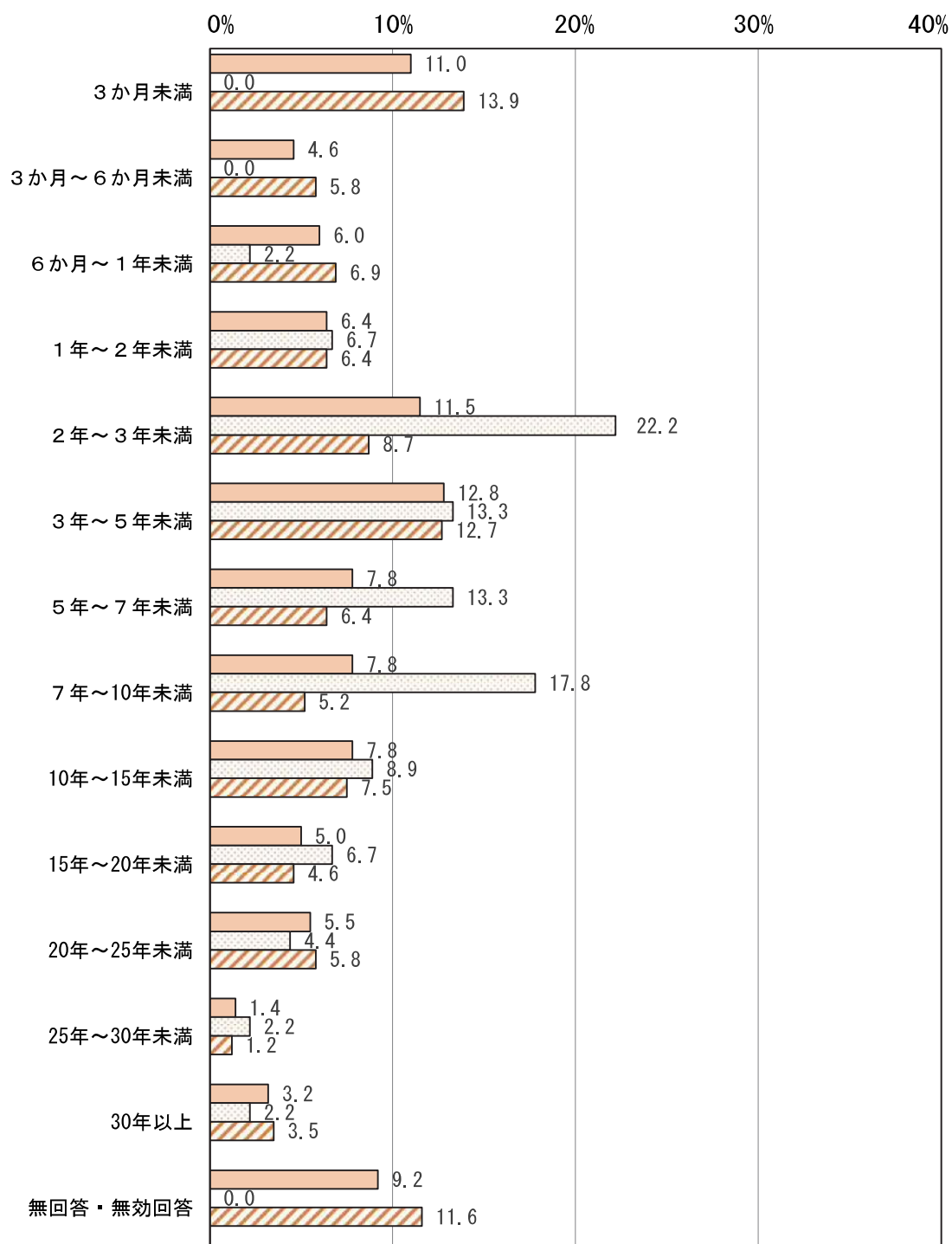
- ・40～64 歳全体では、「3 年～5 年未満」が 12.8%と最も多く、次いで「2 年～3 年未満」が 11.5%となっている。
- ・ひきこもり群では、「2 年～3 年未満」が 22.2%と最も多く、次いで「7 年～10 年未満」が 17.8%となっている。

問18 あなたの外出状況が現在の状態となって、どのくらい経ちますか。（単一回答）

図表 問18 【15～39歳】



図表 問 1 8 【40～64歳】



全体 (n=218)

ひきこもり群 (n=45)

それ以外 (n=173)

カ 現在の外出状況になった年齢

■ 15～39 歳について

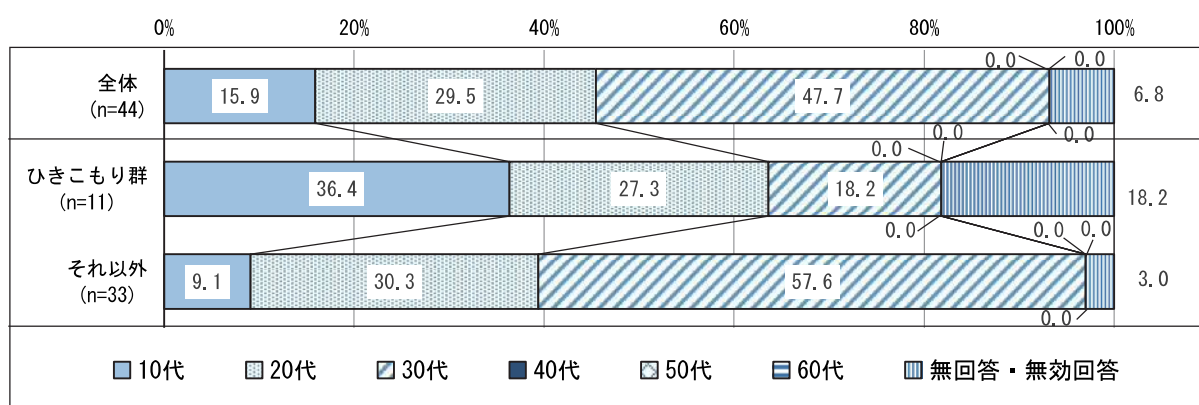
- ・ 15～39 歳全体では、「30 代」が 47.7%と最も多く、次いで「20 代」が 29.5%となっている。
- ・ ひきこもり群では、「10 代」が 36.4%と最も多く、次いで「20 代」が 27.3%となっている。

■ 40～64 歳について

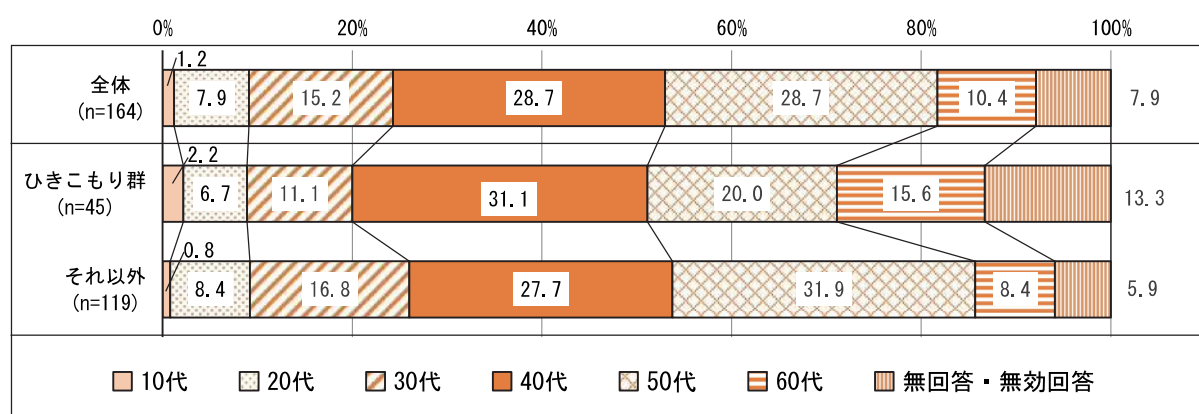
- ・ 40～64 歳全体では、「40 代」、「50 代」が 28.7%と最も多く、次いで「30 代」が 15.2%となっている。
- ・ ひきこもり群では、「40 代」が 31.1%と最も多く、次いで「50 代」が 20.0%となっている。

問 1 9 あなたの外出状況が現在の状態になったのは、何歳の頃ですか。（単一回答）

図表 問 1 9 【15～39歳】



図表 問 1 9 【40～64歳】



キ 家族以外の人との会話の状況

■ 15～39 歳について

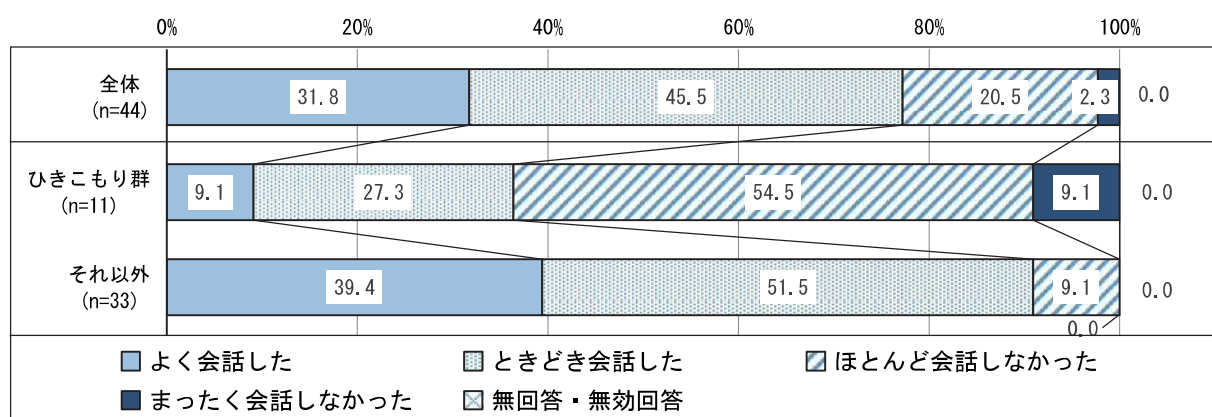
- ・ 15～39 歳全体では、「ときどき会話した」が45.5%と最も多くなっている。
- ・ ひきこもり群では、「ほとんど会話しなかった」が54.5%と最も多くなっている。
- ・ ひきこもり群では、それ以外と比較して、「よく会話した」、「ときどき会話した」の割合が低く、「ほとんど会話しなかった」の割合が高い。

■ 40～64 歳について

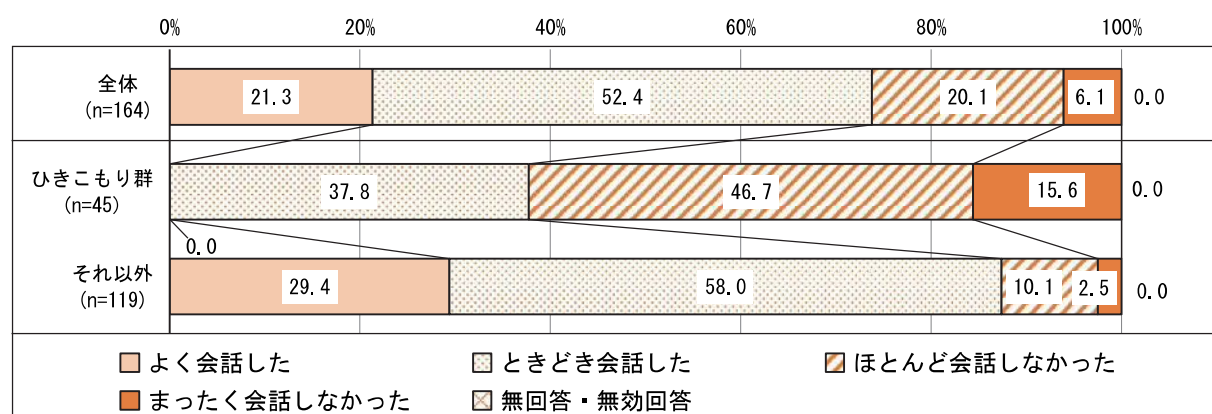
- ・ 40～64 歳全体では、「ときどき会話した」が52.4%と最も多くなっている。
- ・ ひきこもり群では、「ほとんど会話しなかった」が46.7%と最も多くなっている。
- ・ ひきこもり群では、それ以外と比較して、「ときどき会話した」の割合が低く、「ほとんど会話しなかった」の割合が高い。

問20 最近6か月間に、家族以外の人と会話しましたか。（単一回答）

図表 問20 【15～39歳】



図表 問20 【40～64歳】



ク 現在の外出状況になった理由

■ 15～39 歳について

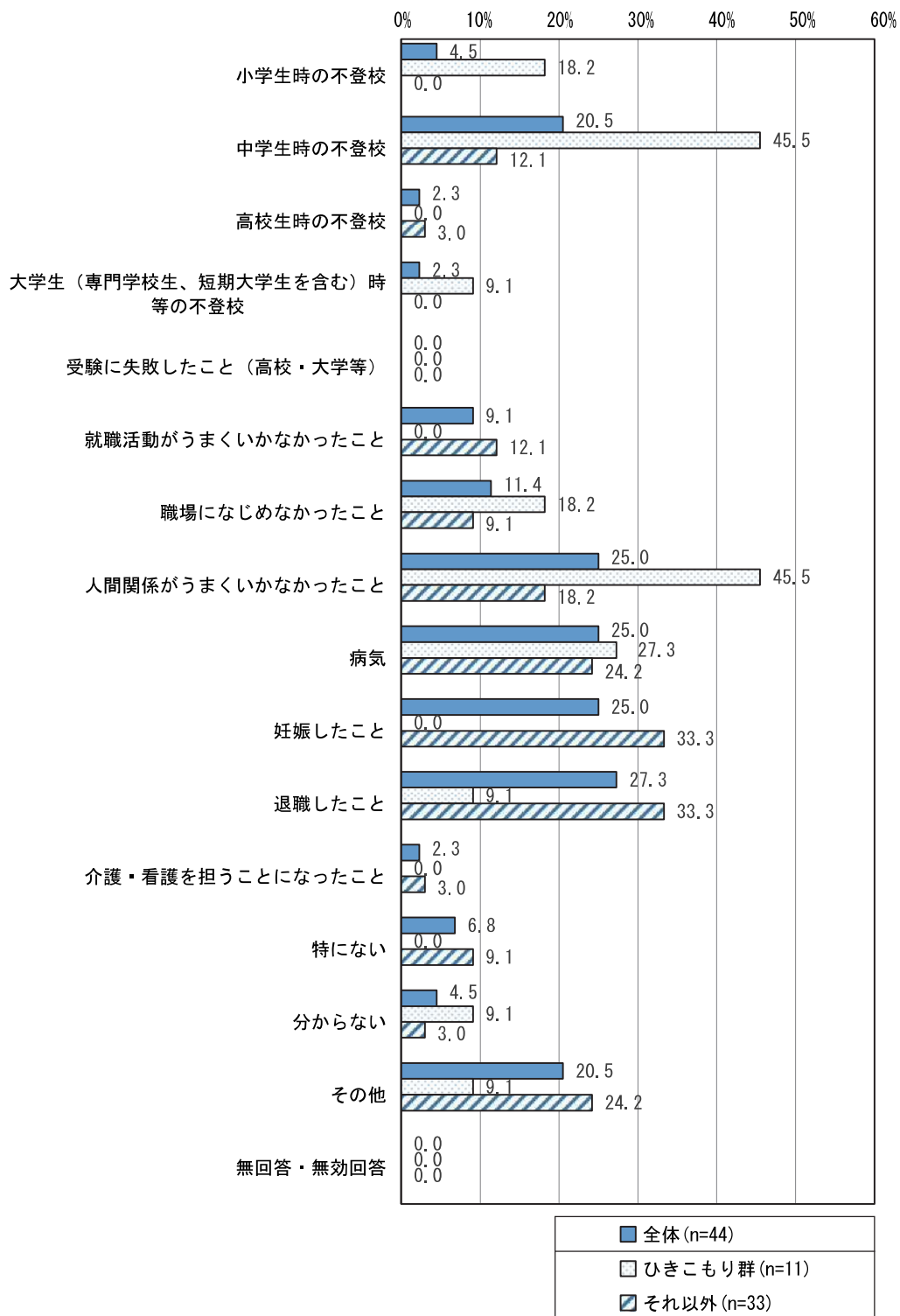
- ・ 15～39 歳全体では、「退職したこと」が 27.3%と最も多く、次いで「人間関係がうまくいかなかったこと」、「病気」、「妊娠したこと」が 25.0%となっている。
- ・ ひきこもり群では、「中学生時の不登校」、「人間関係がうまくいかなかったこと」が 45.5%と最も多く、次いで「病気」が 27.3%となっている。
- ・ ひきこもり群では、それ以外と比較して、「中学生時の不登校」、「人間関係がうまくいかなかったこと」の割合が高い。

■ 40～64 歳について

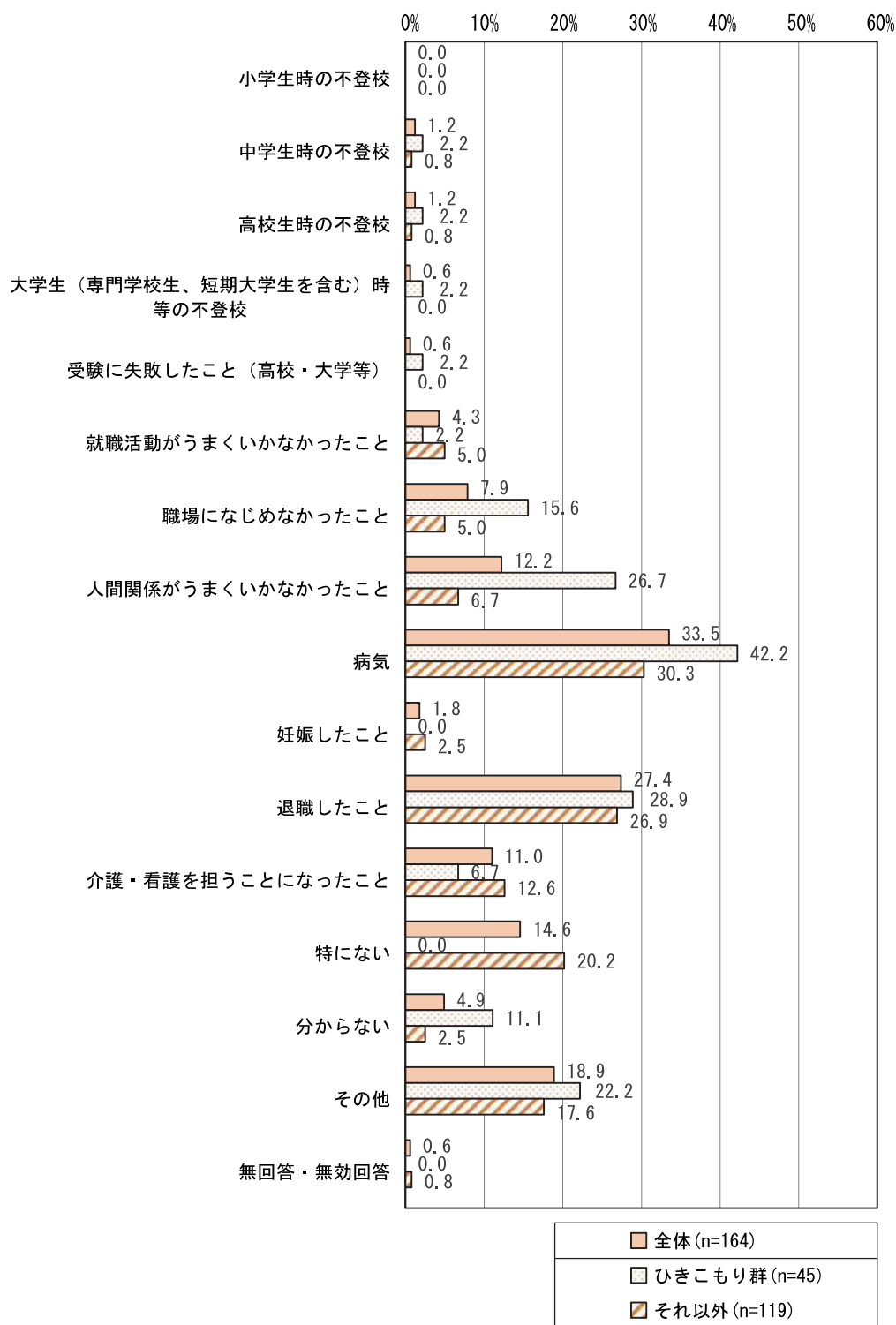
- ・ 40～64 歳全体では、「病気」が 33.5%と最も多く、次いで「退職したこと」が 27.4%となっている。
- ・ ひきこもり群では、「病気」が 42.2%と最も多く、次いで「退職したこと」が 28.9%、「人間関係がうまくいかなかったこと」が 26.7%となっている。
- ・ ひきこもり群では、それ以外と比較して、「人間関係がうまくいかなかったこと」、「職場になじめなかったこと」の割合が高い。

問2 1 あなたの外出状況が現在の状態になった主な理由は何ですか。（複数回答）

図表 問2 1 【15～39歳】



図表 問 2 1 【40～64歳】



※その他の主な回答（全年齢）

【ひきこもり群】

- ・心身の不調
- ・親の介護
- ・コロナの外出制限
- ・人と関わりたくない、見られたくない
- ・家業が廃業した

【それ以外】

- ・コロナの外出制限、在宅ワーク
- ・結婚による生活状況の変化(出産、育児等)
- ・親の入院、介護

ケ 現在の状態について、関係機関に相談したいか

■ 15～39 歳について

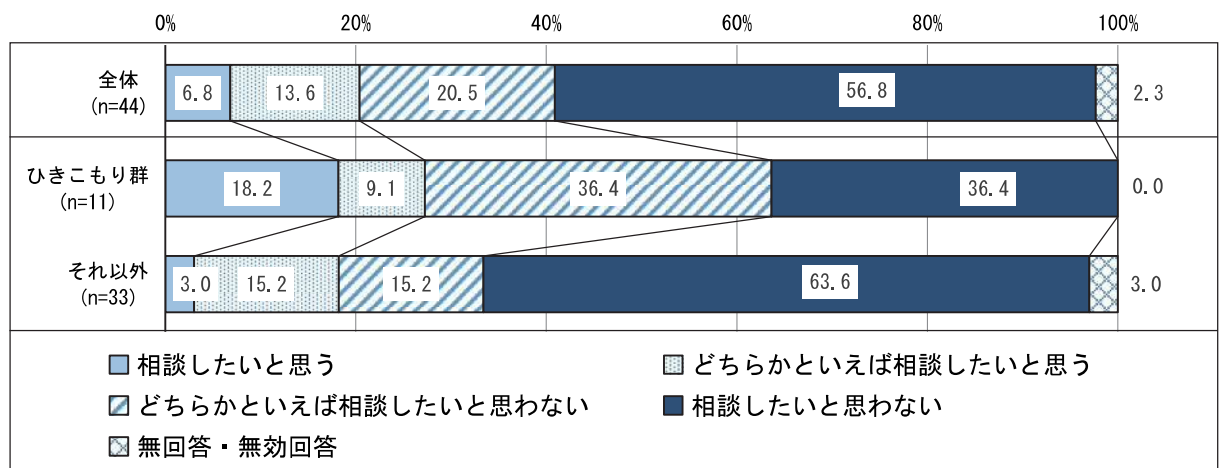
- ・15～39 歳全体では、「相談したいと思わない」が 56.8%と最も多く、次いで「どちらかといえば相談したいと思わない」が 20.5%となっている。
- ・ひきこもり群では、「どちらかといえば相談したいと思わない」、「相談したいと思わない」が 36.4%と最も多くなっている。

■ 40～64 歳について

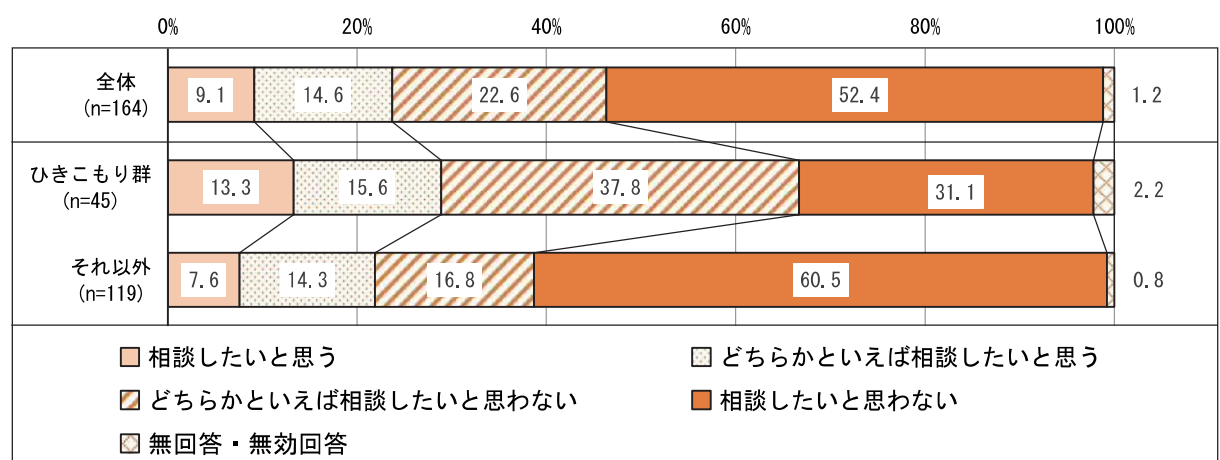
- ・40～64 歳全体では、「相談したいと思わない」が 52.4%と最も多く、次いで「どちらかといえば相談したいと思わない」が 22.6%となっている。
- ・ひきこもり群では、「どちらかといえば相談したいと思わない」が 37.8%と最も多く、次いで「相談したいと思わない」が 31.1%となっている。

問 2 2 現在の状態について、関係機関に相談したいと思いますか。（単一回答）

図表 問 2 2 【15～39歳】



図表 問 2 2 【40～64歳】



コ どのようなところなら相談したいか

■ 15～39 歳について

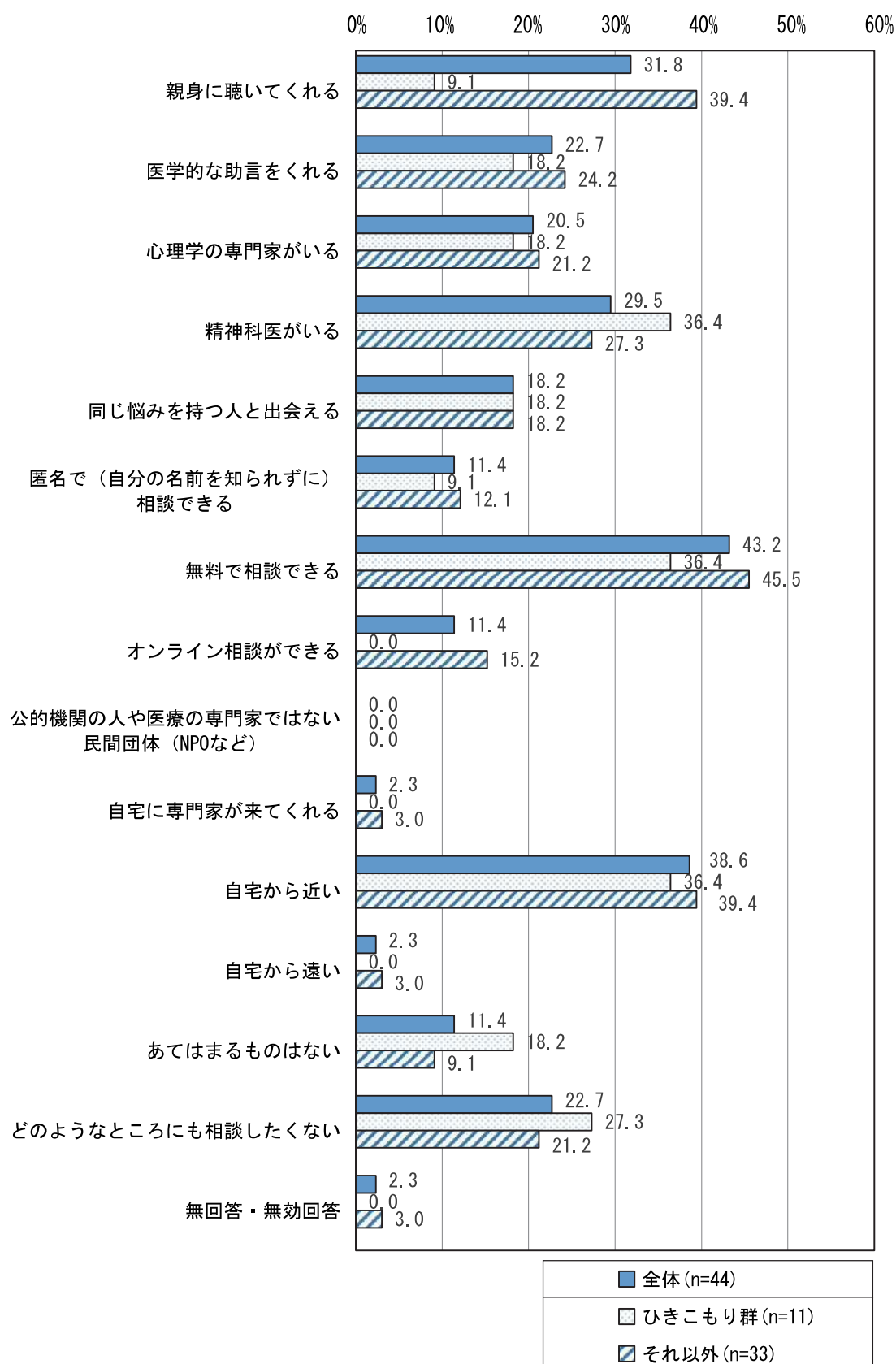
- ・ 15～39 歳全体では、「無料で相談できる」が 43.2%と最も多く、次いで「自宅から近い」が 38.6%、「親身に聴いてくれる」が 31.8%、「精神科医がいる」が 29.5%となっている。
- ・ ひきこもり群では、「精神科医がいる」、「無料で相談できる」、「自宅から近い」が 36.4%と最も多く、次いで「どのようなところにも相談したくない」が 27.3%となっている。

■ 40～64 歳について

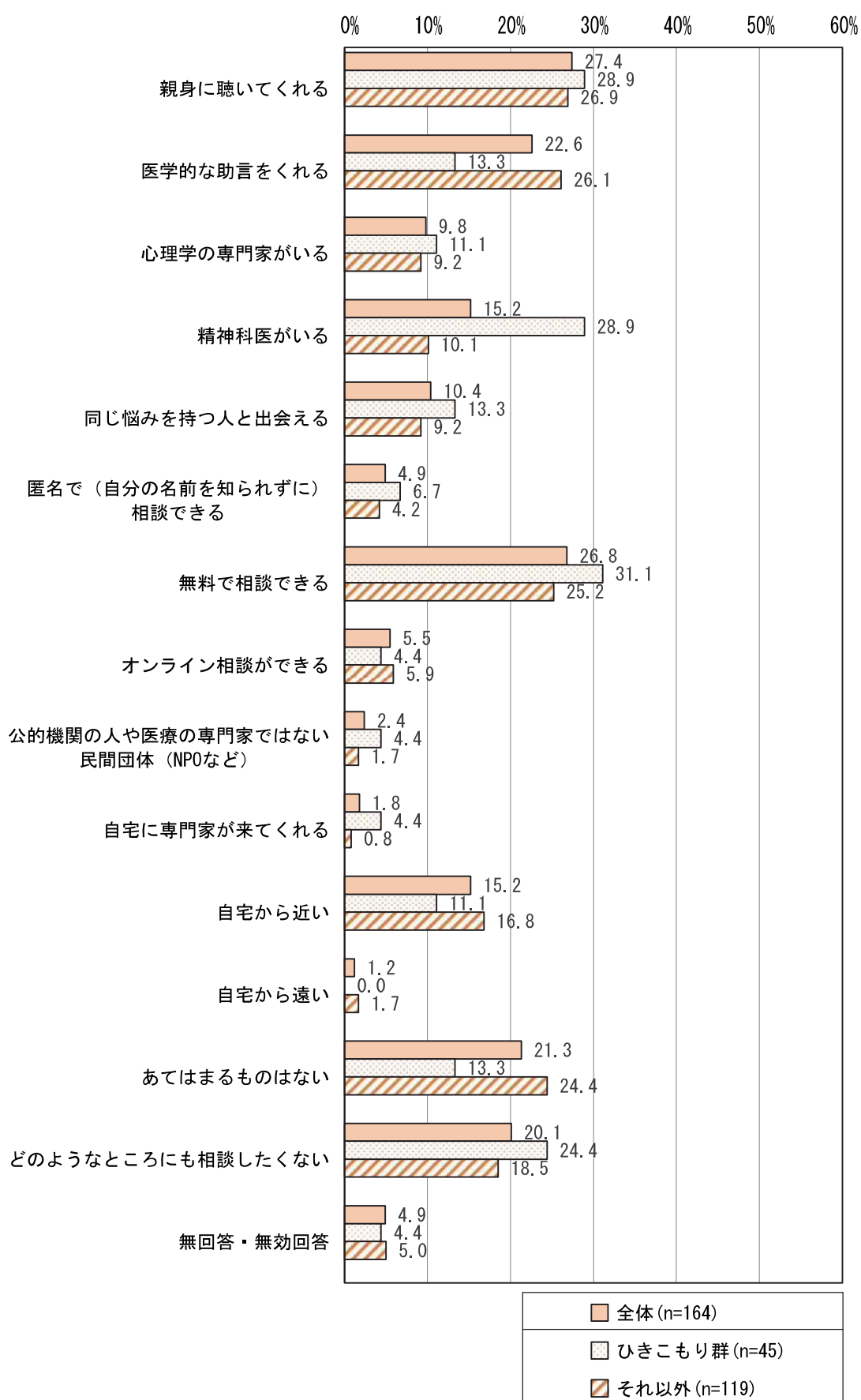
- ・ 40～64 歳全体では、「親身に聴いてくれる」が 27.4%と最も多く、次いで「無料で相談できる」が 26.8%。次いで「医学的な助言をくれる」が 22.6%、「あてはまるものはない」が 21.3%、「どのような所にも相談したくない」が 20.1%となっている。
- ・ ひきこもり群では、「無料で相談できる」が 31.1%と最も多く、次いで「親身に聴いてくれる」、「精神科医がいる」が 28.9%、「どのようなところにも相談したくない」が 24.4%となっている。

問23 現在の状態について、相談するとすれば、どのようなところに相談したいと思いますか。（複数回答）

図表 問23 【15～39歳】



図表 問 2 3 【40～64歳】



サ 相談したくないと思う理由

■ 15～39 歳について

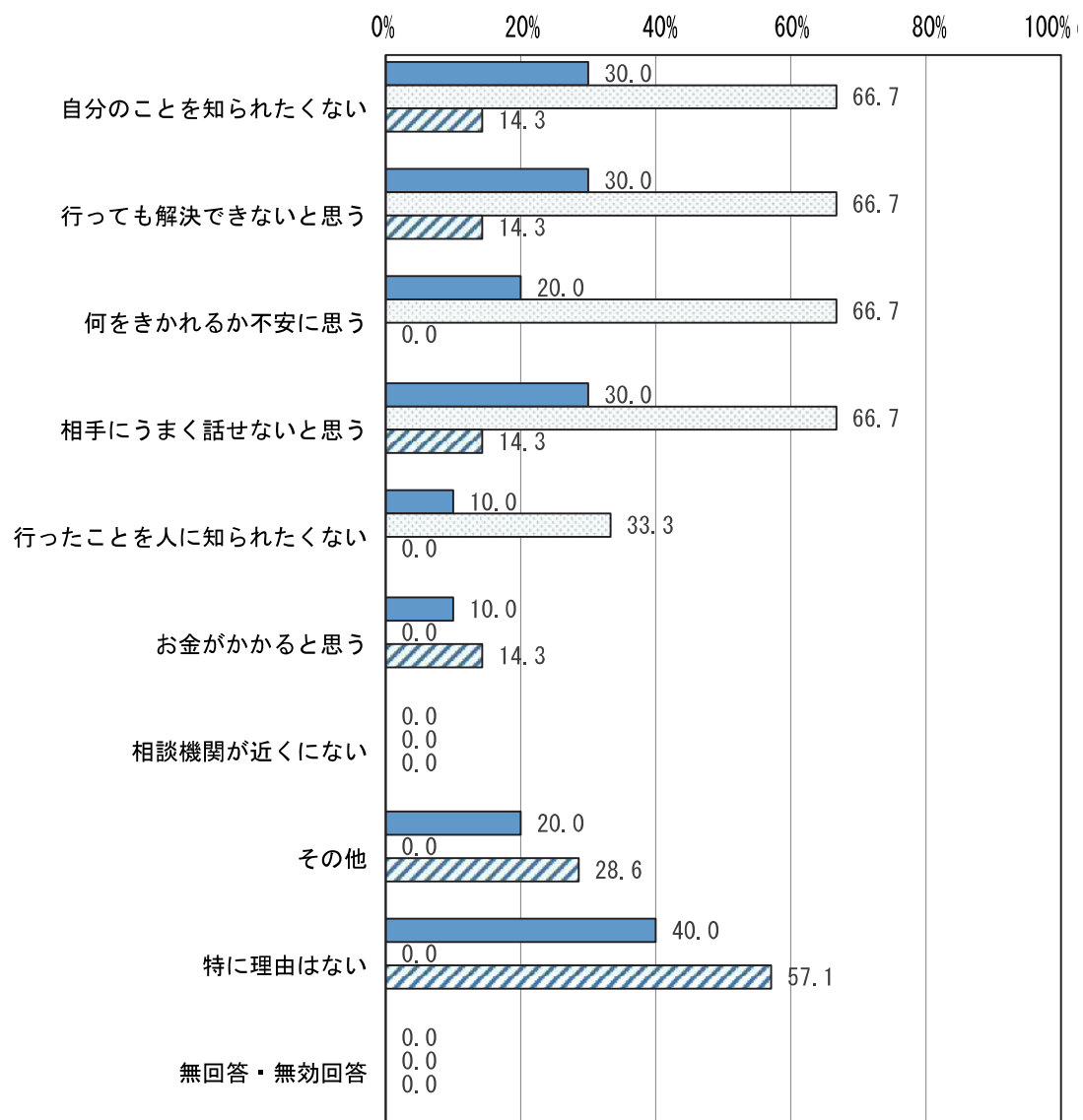
- ・ 15～39 歳全体では、「特に理由はない」が 40.0%と最も多く、次いで「自分のことを知られたくない」、「行っても解決できないと思う」、「相手にうまく話せないと思う」が 30.0%となっている。
- ・ ひきこもり群では、「自分のことを知られたくない」、「行っても解決できないと思う」、「何をきかれるか不安に思う」、「相手にうまく話せないと思う」が 66.7%と最も多く、次いで「行ったことを人に知られたくない」が 33.3%となっている。

■ 40～64 歳について

- ・ 40～64 歳全体では、「特に理由はない」が 48.5%と最も多く、次いで「行っても解決できないと思う」が 27.3%となっている。
- ・ ひきこもり群では、「行っても解決できないと思う」が 45.5%と最も多く、次いで「特に理由はない」が 27.3%となっている。

問24 相談したくないと思う理由は何ですか。（複数回答）

図表 問24 【15～39歳】

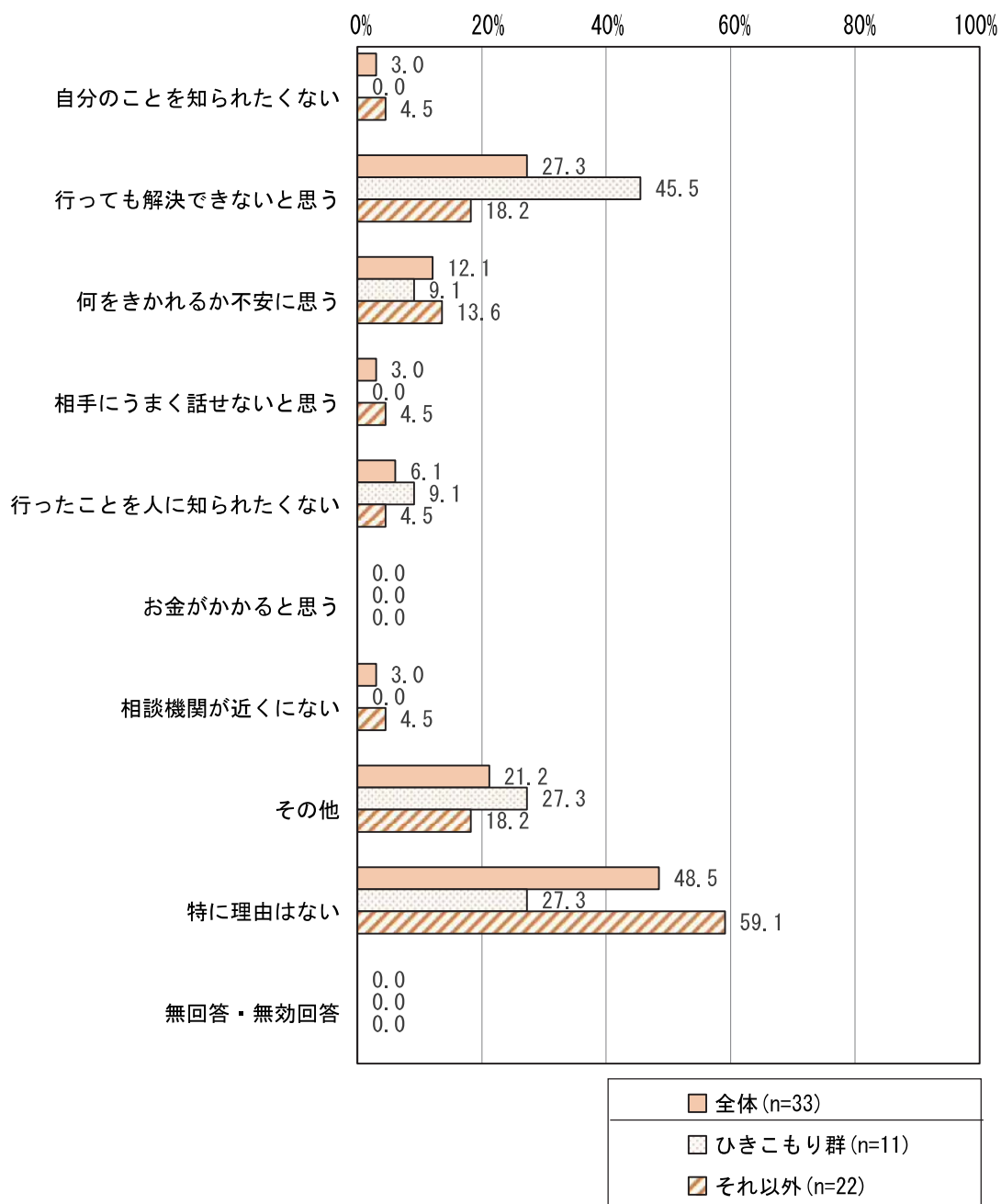


■ 全体 (n=10)

■ ひきこもり群 (n=3)

■ それ以外 (n=7)

図表 問24 【40～64歳】



※その他の主な回答（全年齢）

【ひきこもり群】

- ・自分の体のことなので
- ・もう相談している
- ・悩みとして受け止めていない

【それ以外】

- ・自分で解決することだから
- ・特に困っていないから
- ・世話になりたくない
- ・人間が嫌い

- ・体調が良くない
- ・外に出たくない
- ・在宅勤務であるため

シ 関係機関に相談した経験

■ 15～39 歳について

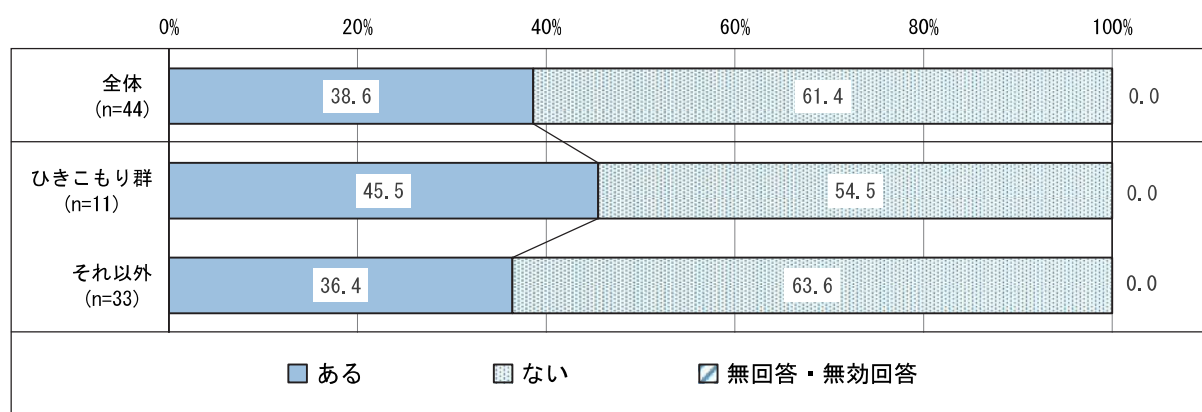
- ・ 15～39 歳全体では、「ない」が 61.4%、「ある」が 38.6%となっている。
- ・ ひきこもり群では、「ない」が 54.5%、「ある」が 45.5%となっている。

■ 40～64 歳について

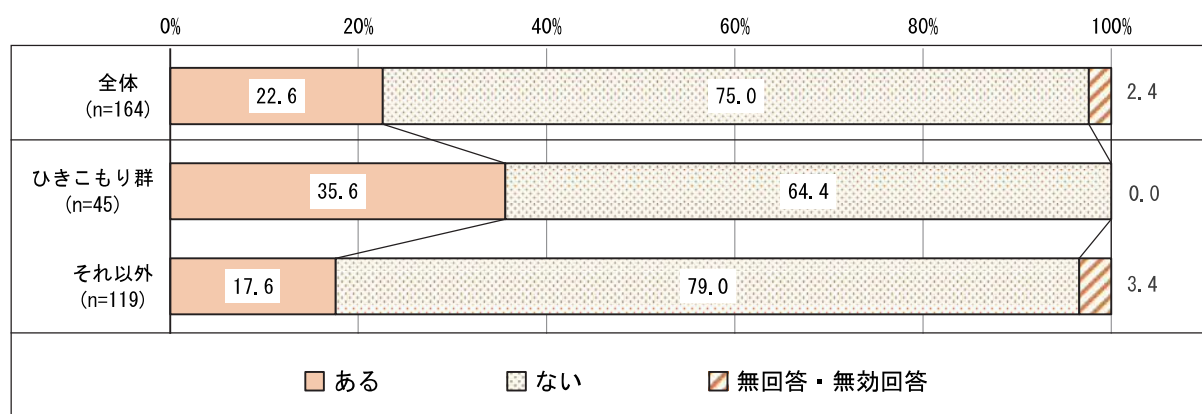
- ・ 40～64 歳全体では、「ない」が 75.0%、「ある」が 22.6%となっている。
- ・ ひきこもり群では、「ない」が 64.4%、「ある」が 35.6%となっている。

問 2 5 現在の状態について、関係機関に相談したことはありますか。（単一回答）

図表 問 2 5 【15～39歳】



図表 問 2 5 【40～64歳】



ス 相談したことのある相談機関等

■ 15～39 歳について

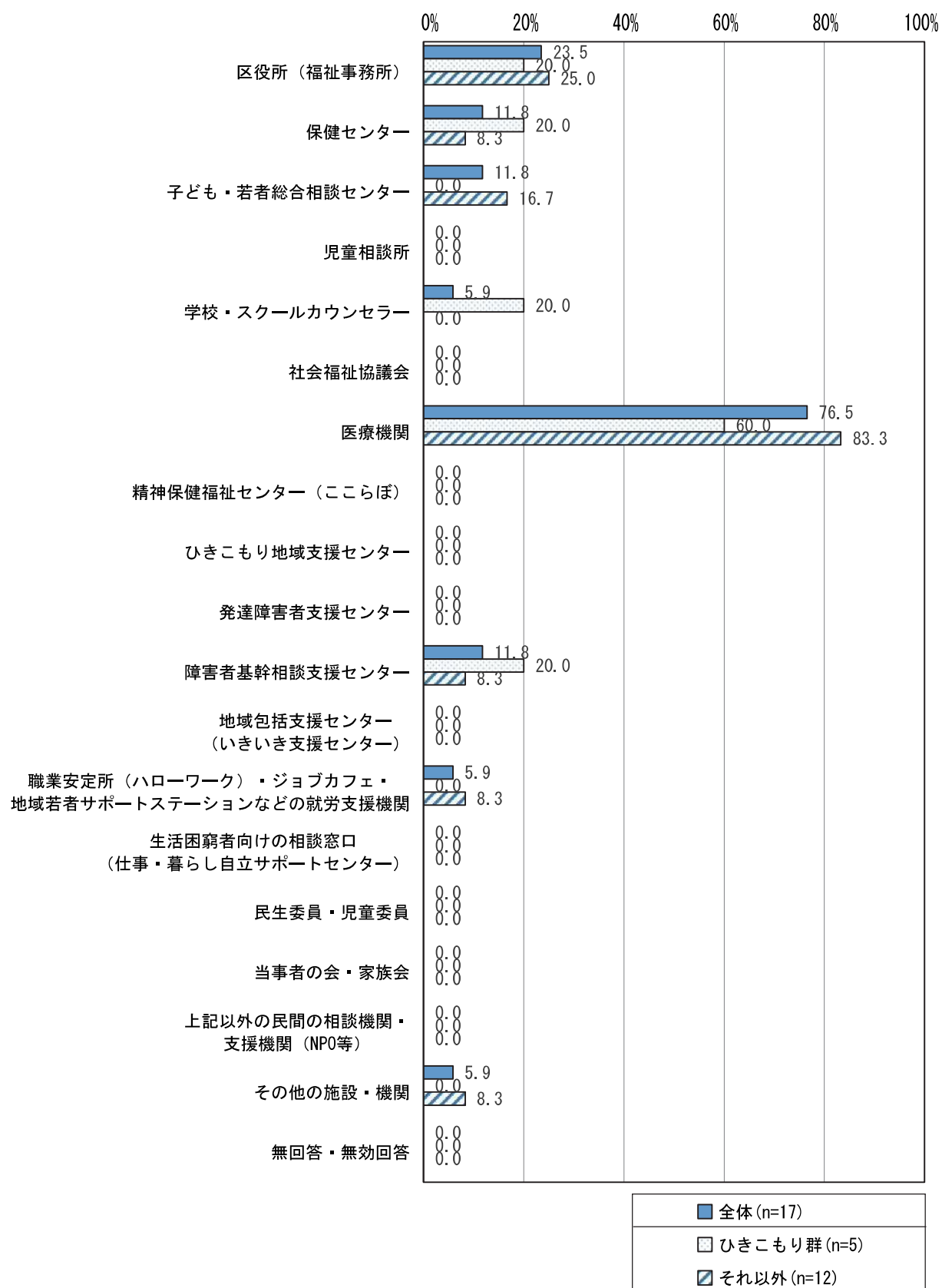
- ・ 15～39 歳全体では、「医療機関」が 76.5%と最も多く、次いで「区役所（福祉事務所）」が 23.5%となっている。
- ・ ひきこもり群では、「医療機関」が 60.0%と最も多く、次いで「区役所（福祉事務所）」、「保健センター」、「学校・スクールカウンセラー」、「障害者基幹相談支援センター」が 20.0%となっている。
- ・ ひきこもり群では、それ以外と比較して、「学校・スクールカウンセラー」の割合が高い。

■ 40～64 歳について

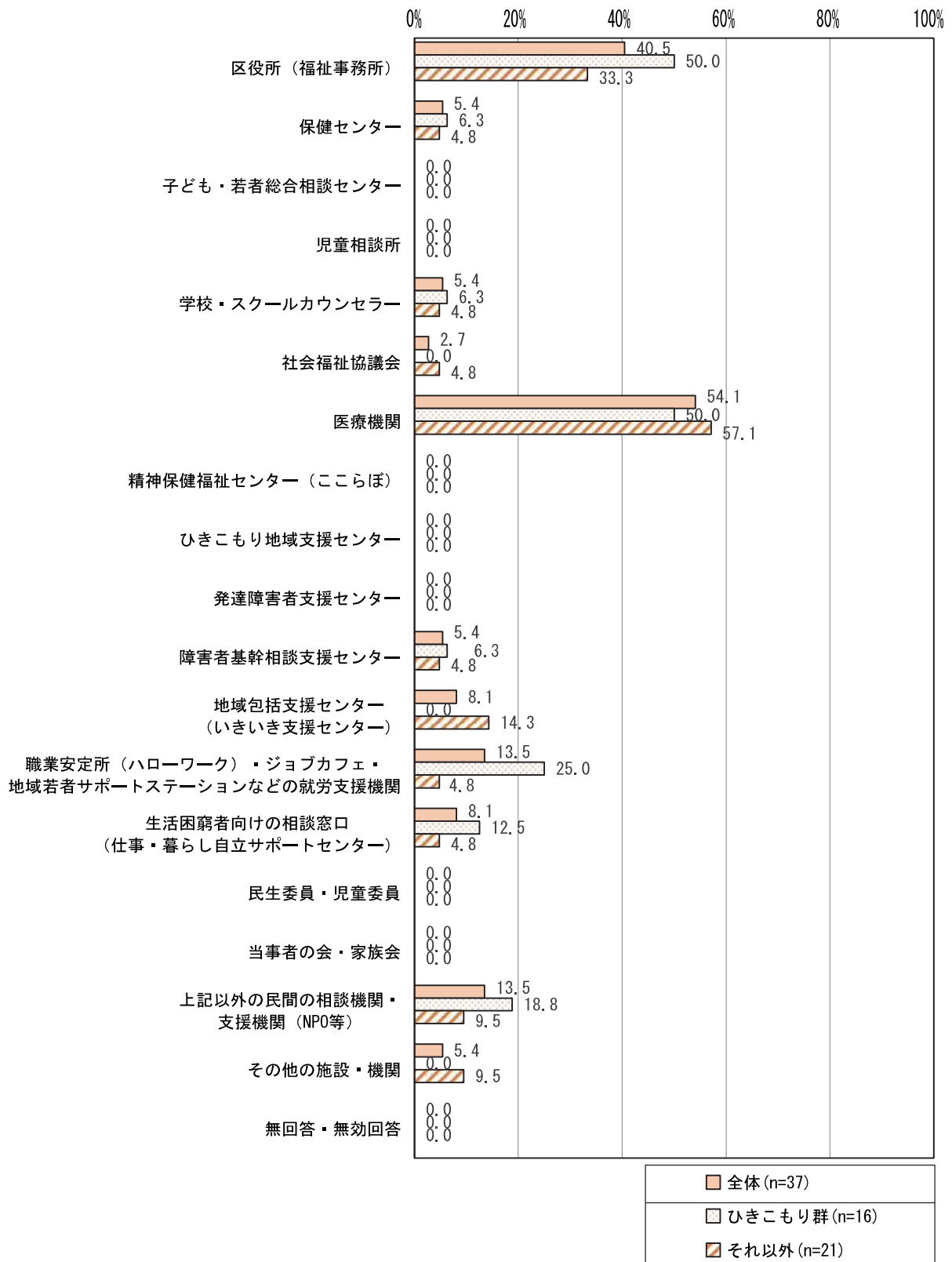
- ・ 40～64 歳全体では、「医療機関」が 54.1%と最も多く、次いで「区役所（福祉事務所）」が 40.5%となっている。
- ・ ひきこもり群では、「区役所（福祉事務所）」、「医療機関」が 50.0%と最も多く、次いで「職業安定所（ハローワーク）・ジョブカフェ・地域若者サポートステーションなどの就労支援機関」が 25.0%となっている。
- ・ ひきこもり群では、それ以外と比較して、「職業安定所（ハローワーク）ジョブカフェ・地域若者サポートステーションなどの就労支援機関」の割合が高い。

問26 どのような相談機関等に相談しましたか。相談したことがある相談機関等をすべて選んでください。（複数回答）

図表 問26 【15～39歳】



図表 問 2 6 【40～64歳】



※その他の主な回答（全年齢）

【ひきこもり群】

・なし

【それ以外】

・弁護士会

・守山荘

セ 相談した結果について（自由記述）

問27 相談機関に相談した結果について、どのようにお考えですか。

- ・相談してよかった。
 - ・気持ちが楽になった。
 - ・適切な助言をもらって助かった。
 - ・各種の障害者支援サービスを受ける事ができで満足している。
 - ・物事がうまく運ぶようになった。
 - ・とても親切だった。
 - ・専門家の意見や指導で、自分の等身大の社会参加の仕方を再認識でき有意義だった。
 - ・同じような悩みを持った人々が週1回集まって、交流するのが楽しかった。緊張もしたが貴重な経験だった。
 - ・不安や一人で抱え込んでいる悩みを話せて良かった。
 - ・投薬による治療や精神療法で状態が改善した。
-
- ・あまり行きたいと思うところがなかった。
 - ・自閉症について周知が不足していると感じた（案内、パンフレットなどを知らなかった）
 - ・対応されなかった。
 - ・自分でも分かっていることしか返ってこない。
 - ・本当に弱者や被害者の力にはなってくれない。
 - ・治療の手段が最終的になかった。現状を受け入れるしかなかった。今の状況でできることを行っていくしか方法はないと思っている。

ソ 不安要素についてあてはまること

■ 15～39 歳について

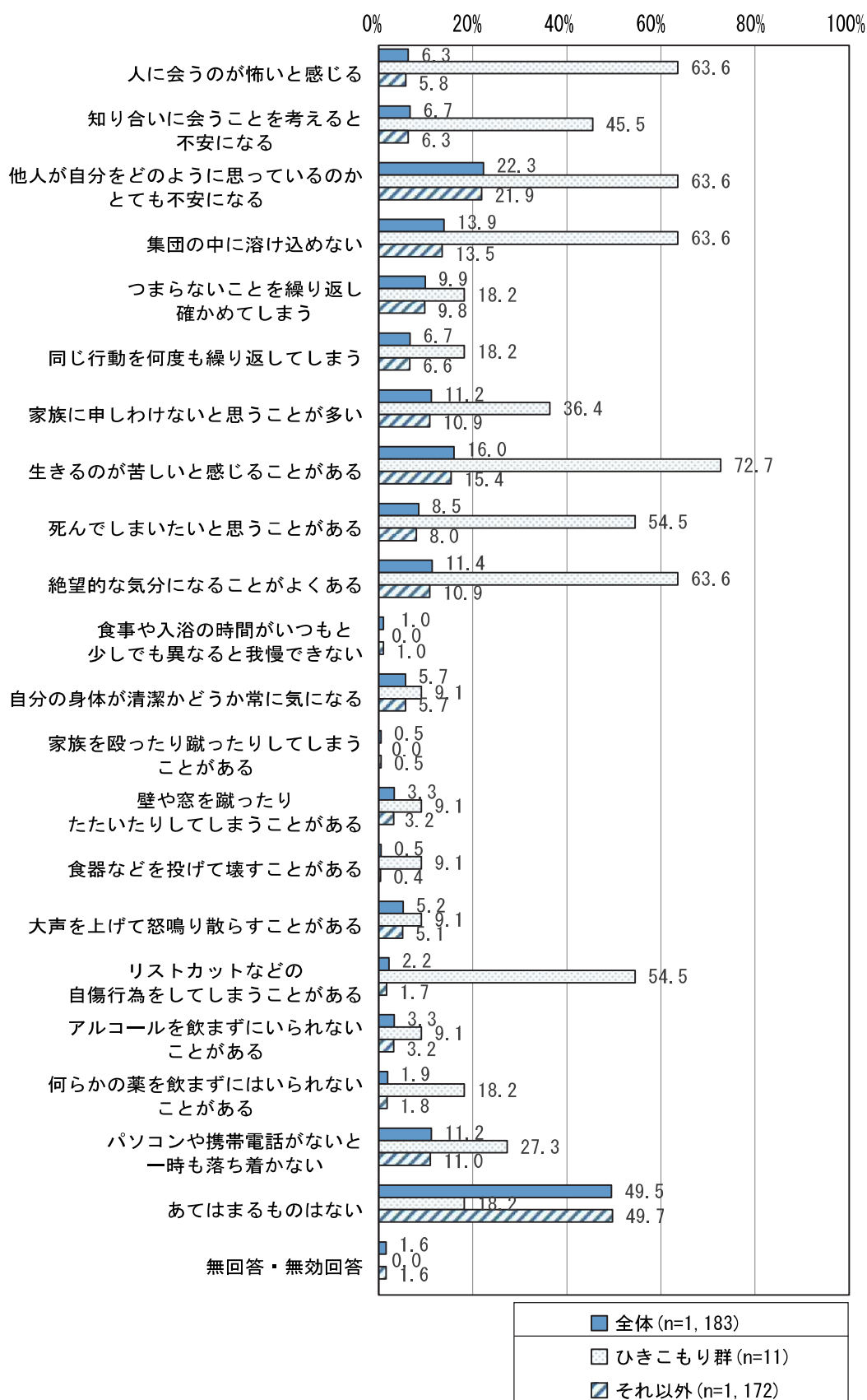
- ・ 15～39 歳全体では、「あてはまるものはない」が 49.5%と最も多く、次いで「他人が自分をどのように思っているのかとても不安になる」が 22.3%となっている。
- ・ ひきこもり群では、「生きるのが苦しいと覚るこゝがある」が 72.7%と最も多く、次いで「人に会ふのが怖いと覚る」、「他人が自分をどのように思っているのかとても不安になる」、「集団の中に溶け込めない」、「絶望的な気分になるこゝがよくある」が 63.6%、「死んでしまいたいと思うこゝがある」、リストカットなどの自傷行為をしてしまうこゝがある」が 54.5%となっている。

■ 40～64 歳について

- ・ 40～64 歳全体では、「あてはまるものはない」が 58.5%と最も多い。
- ・ ひきこもり群では、「集団の中に溶け込めない」、「生きるのが苦しいと覚るこゝがある」が 44.4%と最も多く、次いで「他人が自分をどのように思っているのかとても不安になる」、「絶望的な気分になるこゝがよくある」28.9%、「人に会ふのが怖いと覚る」、「死んでしまいたいと思うこゝがある」が 24.4%となっている。

問28 次に挙げられたことの中で、あなた自身にあてはまるものすべてに○をつけてください。（複数回答）

図表 問28 【15～39歳】



図表 問 2 8 【40～64歳】



全体 (n=2,134)

ひきこもり群 (n=45)

それ以外 (n=2,089)

タ これまでの経験

■ 15～39 歳について

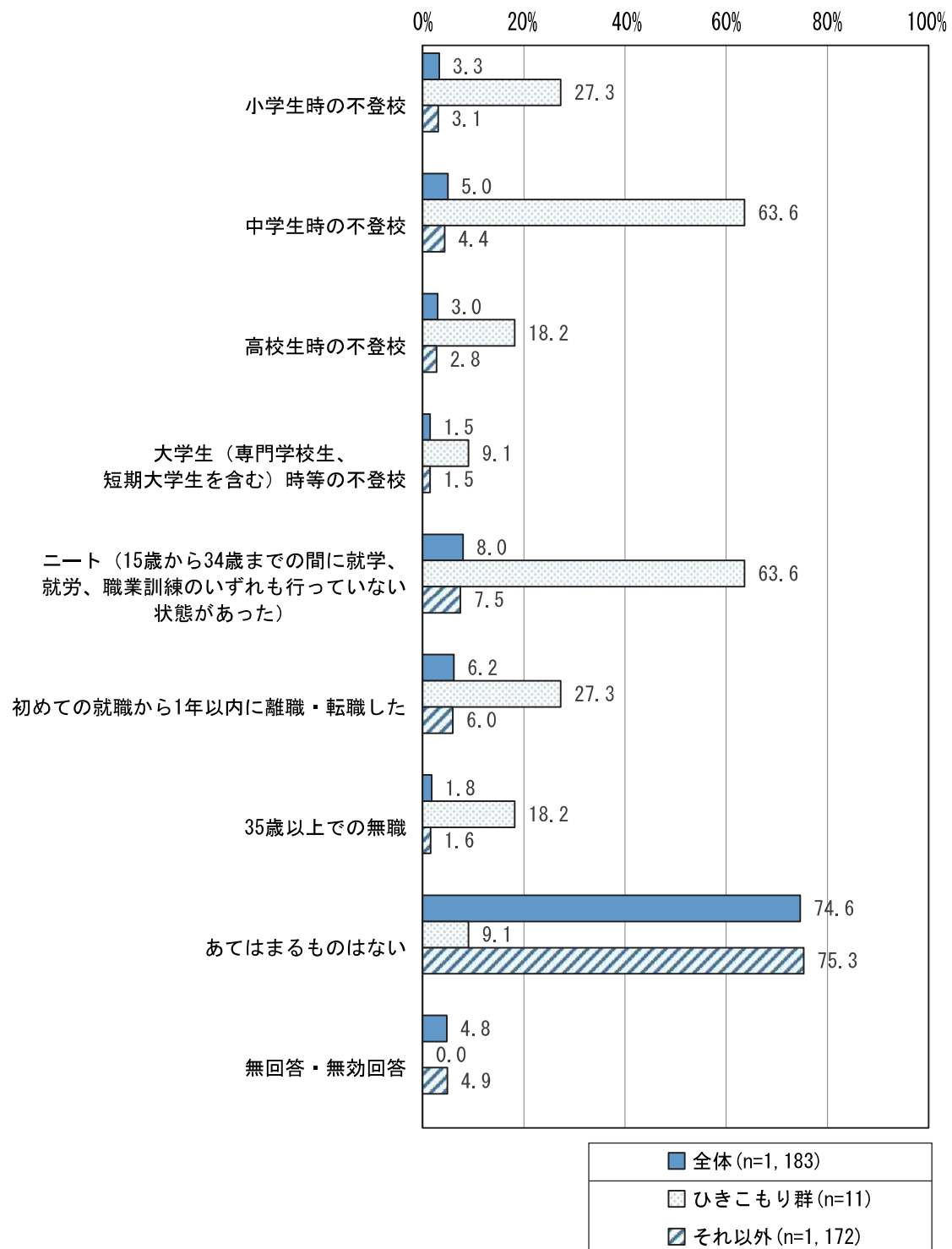
- ・ 15～39 歳全体では、「あてはまるものはない」が 74.6%と最も多くなっている。
- ・ ひきこもり群では、「中学生時の不登校」、「ニート（15 歳から 34 歳までの間に就学、就労、職業訓練のいずれも行っていない状態があった）」が 63.6%と最も多く、次いで「小学生時の不登校」、「初めての就職から 1 年以内に離職・転職した」が 27.3%となっている。

■ 40～64 歳について

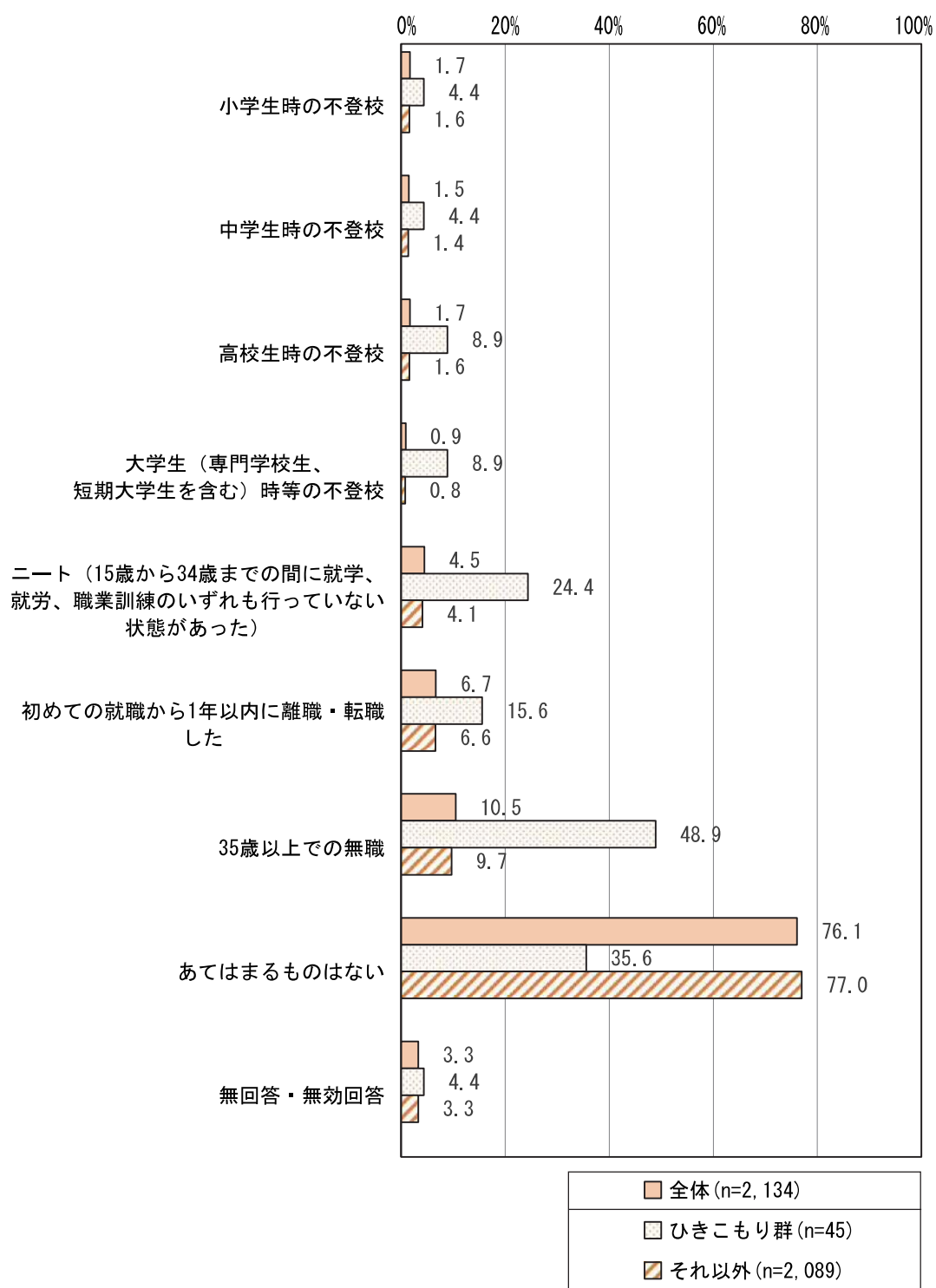
- ・ 40～64 歳全体では、「あてはまるものはない」が 76.1%と最も多く、次いで「35 歳以上での無職」が 10.5%となっている。
- ・ ひきこもり群では、「35 歳以上での無職」が 48.9%と最も多く、次いで「あてはまるものはない」が 35.6%となっている。

問29 これまでに、以下のような経験したことがありますか。（複数回答）

図表 問29 【15～39歳】



図表 問29 【40～64歳】



チ 過去の外出頻度

■ 15～39 歳について

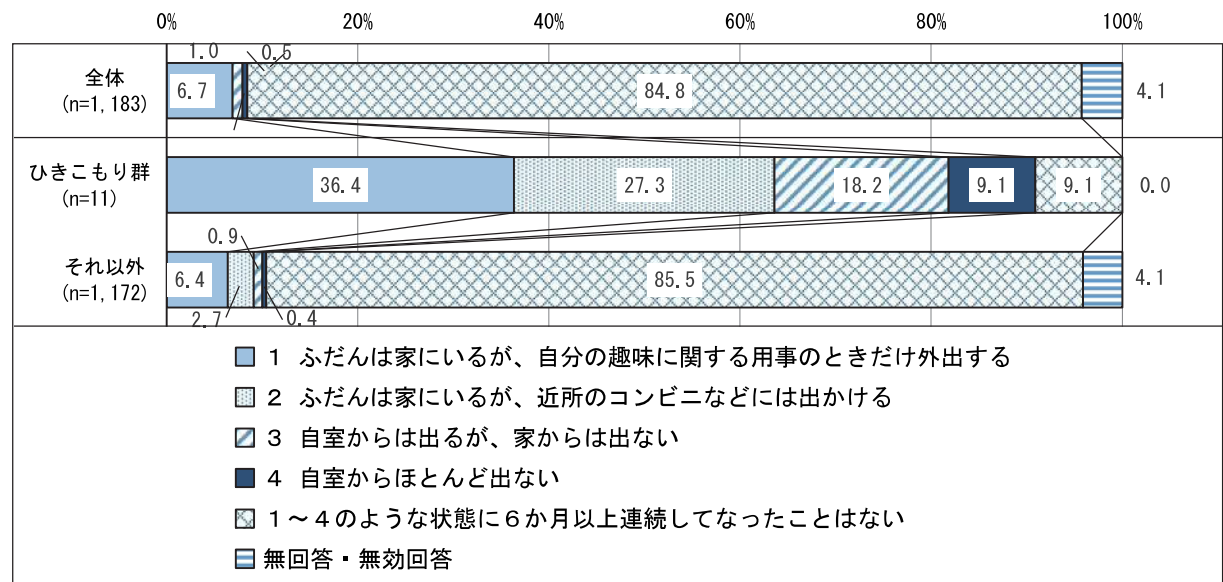
- ・ 15～39 歳全体では、「1～4 のような状態に 6 か月以上連続してなったことはない」が 84.8%と最も多くなっている。
- ・ ひきこもり群では、「ふだんは家にいるが、自分の趣味に関する用事の時だけ外出する」が 36.4%と最も多く、次いで「ふだんは家にいるが、近所のコンビニなどには出かける」が 27.3%となっている。

■ 40～64 歳について

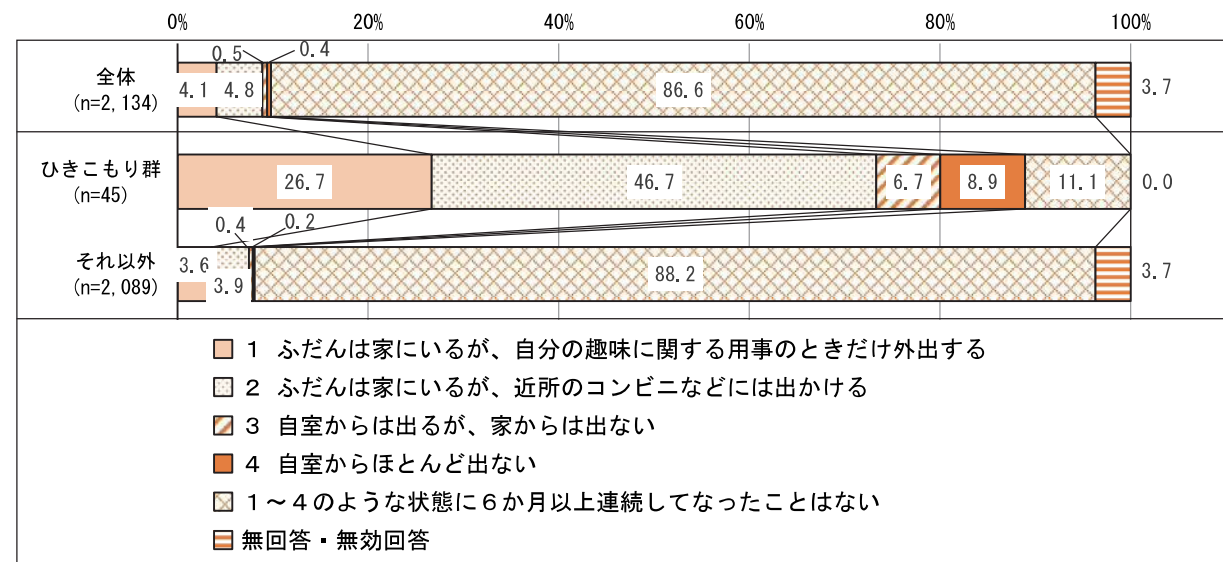
- ・ 40～64 歳全体では、「1～4 のような状態に 6 か月以上連続してなったことはない」が 86.6%と最も多くなっている。
- ・ ひきこもり群では、「ふだんは家にいるが、近所のコンビニなどには出かける」が 46.7%と最も多く、次いで「ふだんは家にいるが、自分の趣味に関する用事の時だけ外出する」が 26.7%となっている。

問30 あなたは過去に6カ月以上連続して、以下のような状態になったことはありますか。（単一回答）

図表 問30 【15～39歳】



図表 問30 【40～64歳】



ツ その外出状況になったきっかけ

■ 15～39 歳について

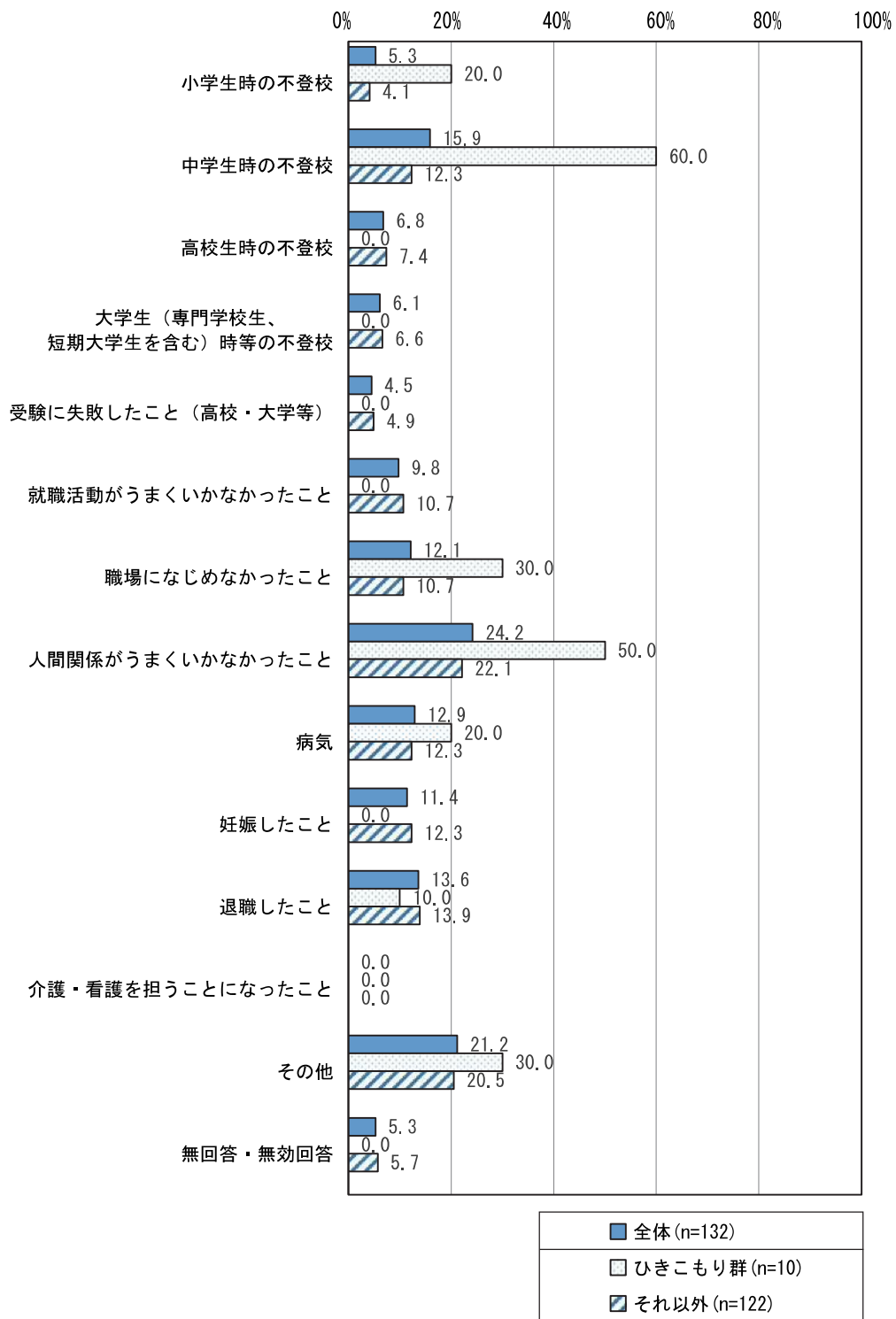
- ・ 15～39 歳全体では、「人間関係がうまくいかなかったこと」が 24.2%と最も多く、次いで「中学生時の不登校」が 15.9%となっている。
- ・ ひきこもり群では、「中学生時の不登校」が 60.0%と最も多く、次いで「人間関係がうまくいかなかったこと」が 50.0%となっている。
- ・ ひきこもり群では、それ以外と比較して、「中学生時の不登校」、「職場になじめなかったこと」、「人間関係がうまくいかなかったこと」の割合が高い。

■ 40～64 歳について

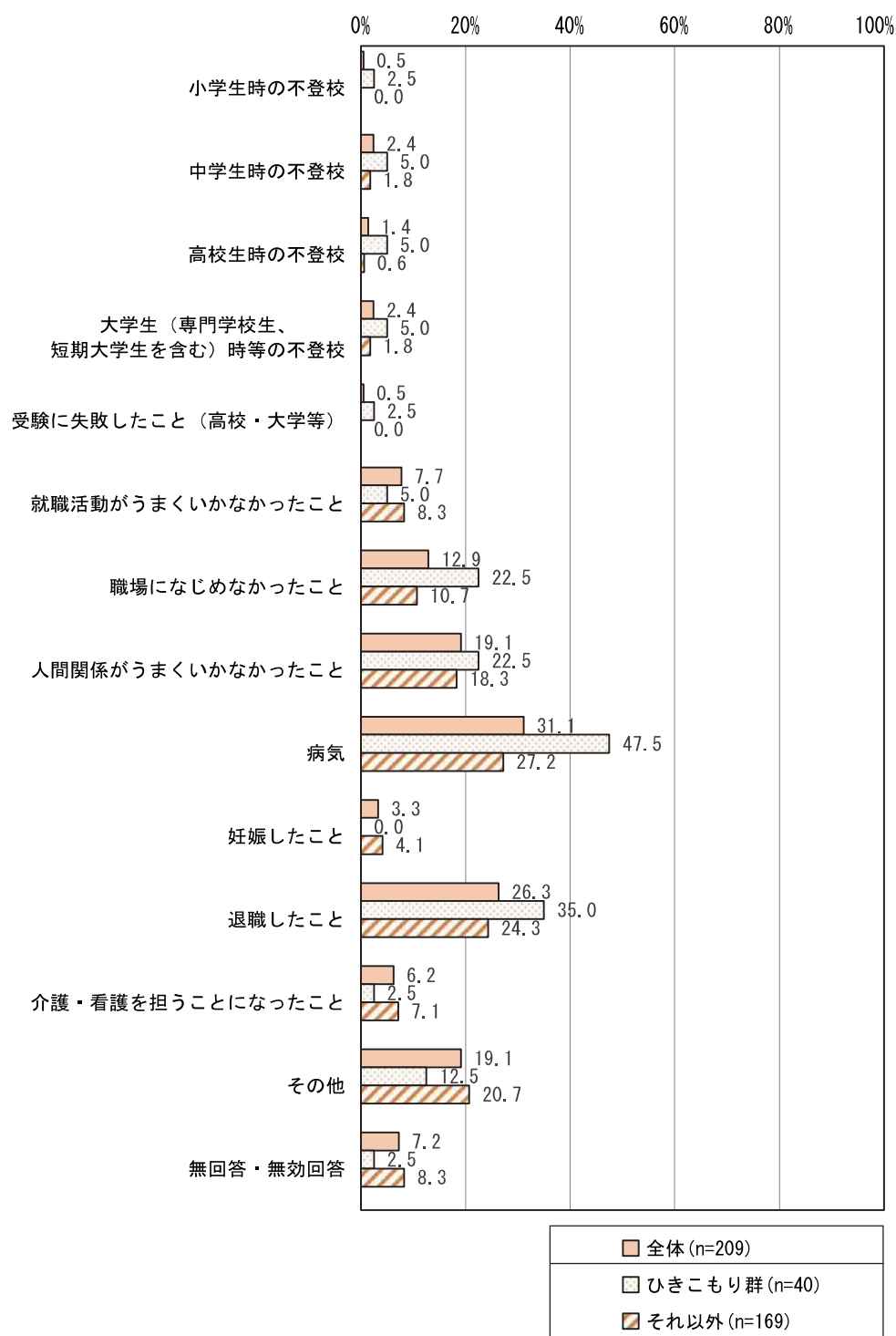
- ・ 40～64 歳全体では、「病気」が 31.1%と最も多く、次いで「退職したこと」が 26.3%、「人間関係がうまくいかなかったこと」が 19.1%となっている。
- ・ ひきこもり群では、「病気」が 47.5%と最も多く、次いで「退職したこと」が 35.0%、「職場になじめなかったこと」、「人間関係がうまくいかなかったこと」が 22.5%となっている。

問3 1 その状態になったきっかけは何でしたか。（複数回答）

図表 問3 1 【15～39歳】



図表 問3 1 【40～64歳】



※その他の主な回答（全年齢）

【ひきこもり群】

- ・家族の世話がある
- ・体力的につらい
- ・うつ
- ・人と関わりたくない、見られたくない
- ・働きたくない
- ・死別、離別による

【それ以外】

- ・コロナの外出制限、在宅ワーク
- ・特に理由はない
- ・結婚による生活状況の変化(出産、育児)
- ・体力的につらい

テ その外出状況が改善したきっかけや役立ったこと

■ 15～39 歳について

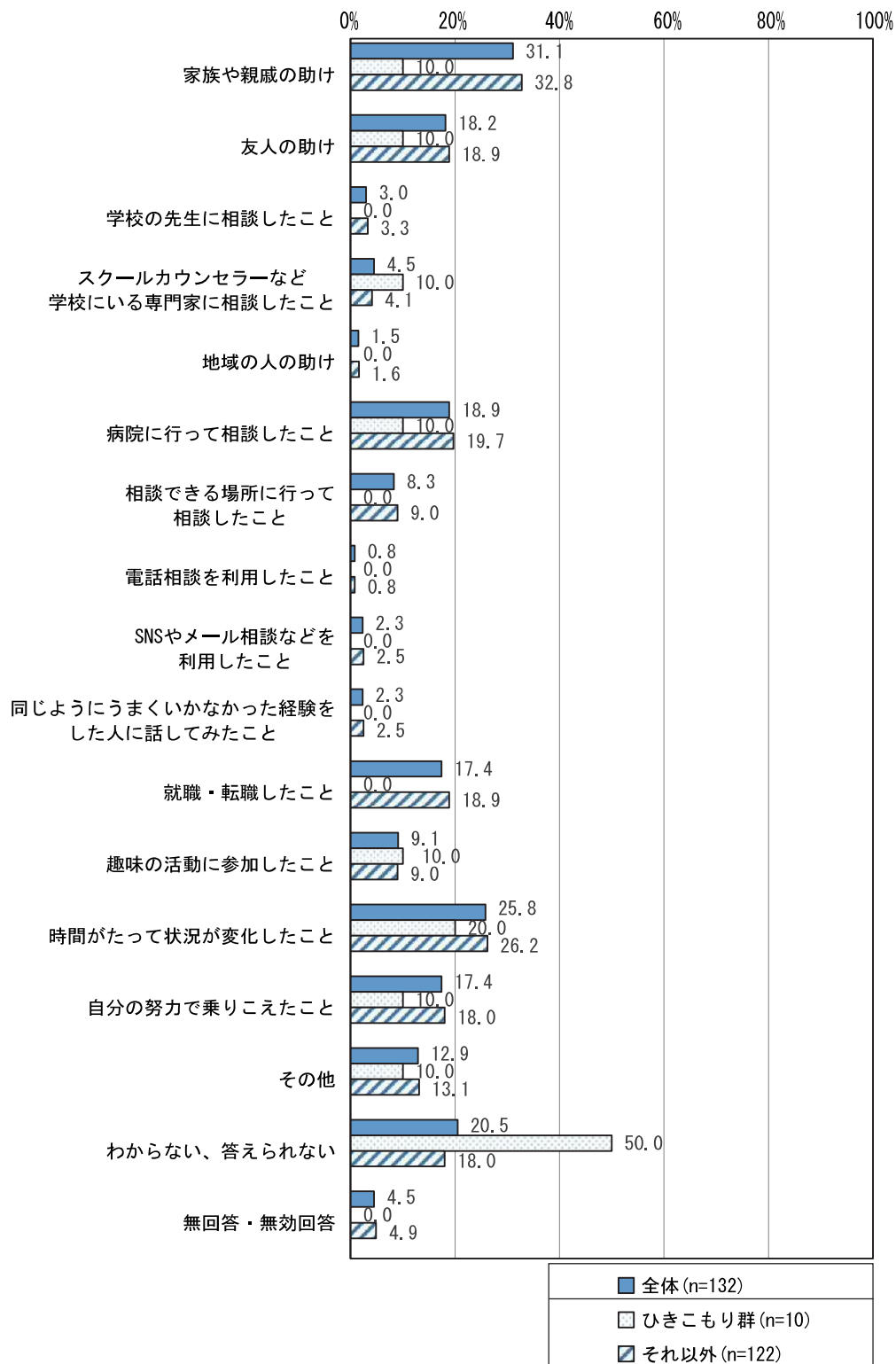
- ・ 15～39 歳全体では、「家族や親戚の助け」が 31.1%と最も多く、次いで「時間がたって状況が変化したこと」が 25.8%、「わからない、答えられない」が 20.5%となっている。
- ・ ひきこもり群では、「わからない、答えられない」が 50.0%と最も多く、次いで「時間がたって状況が変化したこと」が 20.0%となっている。

■ 40～64 歳について

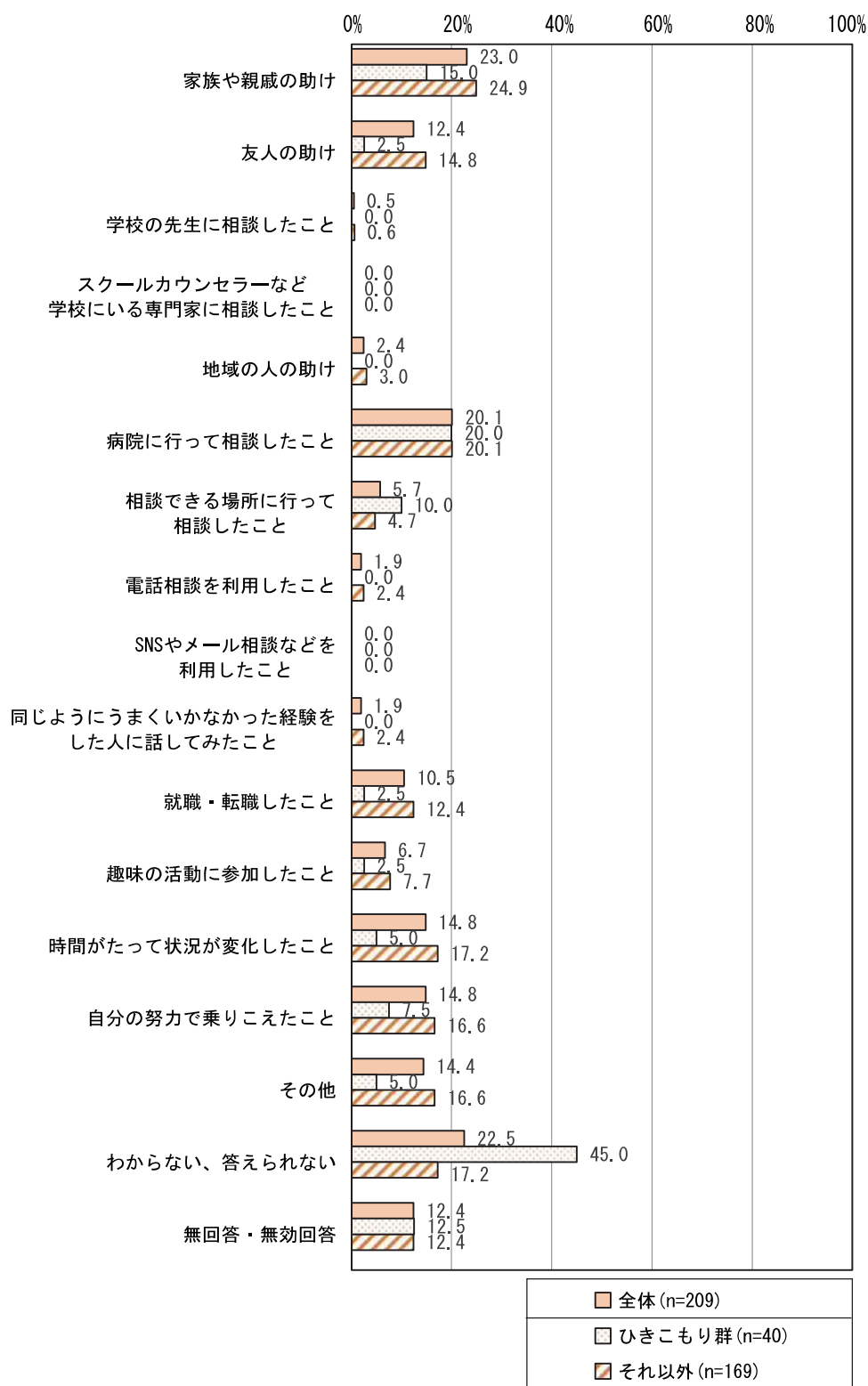
- ・ 40～64 歳全体では、「家族や親戚の助け」が 23.0%と最も多く、次いで「わからない、答えられない」が 22.5%、「病院に行って相談したこと」が 20.1%となっている。
- ・ ひきこもり群では、「わからない、答えられない」が 45.0%と最も多く、次いで「病院に行って相談したこと」が 20.0%、「家族や親戚の助け」が 15.0%となっている。

問3 2 その状態が改善したきっかけや改善に役立ったことは何だと思いますか。
(複数回答)

図表 問3 2 【15～39歳】



図表 問32 【40～64歳】



※その他の主な回答（全年齢）

【ひきこもり群】

- ・改善していない
- ・時間経過

【それ以外】

- ・改善していない
- ・改善する必要がないと考えている
- ・コロナの改善、在宅ワークの解除等
- ・転居
- ・相談機関
- ・互助会への参加

(4) 周囲とのかかわり方について

ア 人とのつきあいがないと感じる

■ 15～39 歳について

- ・ 15～39 歳全体では、「決してない」が 36.4%と最も多く、次いで「ほとんどない」が 29.7%となっている。
- ・ ひきこもり群では、「時々ある」、「常にある」が 45.5%と最も多くなっている。

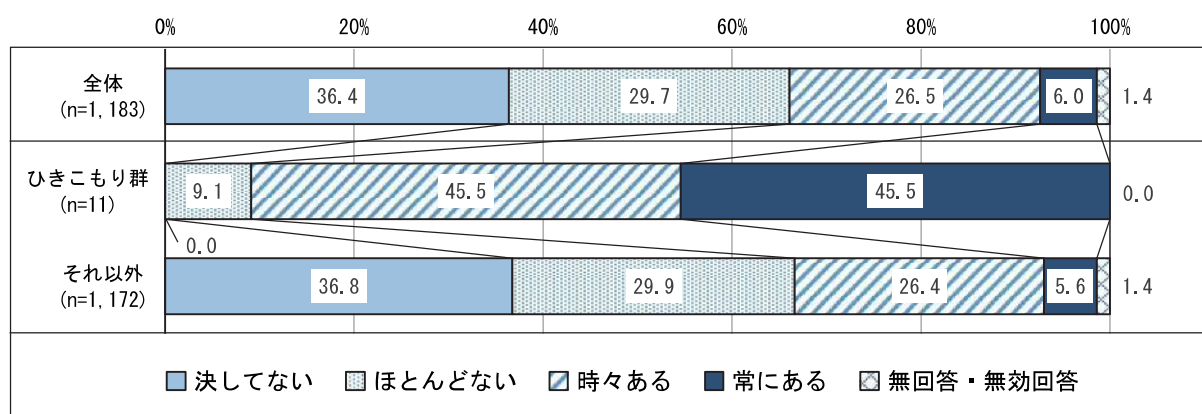
■ 40～64 歳について

- ・ 40～64 歳全体では、「ほとんどない」が 34.7%と最も多く、次いで「決してない」が 30.7%となっている。
- ・ ひきこもり群では、「常にある」が 51.1%と最も多く、次いで「時々ある」が 35.6%となっている。

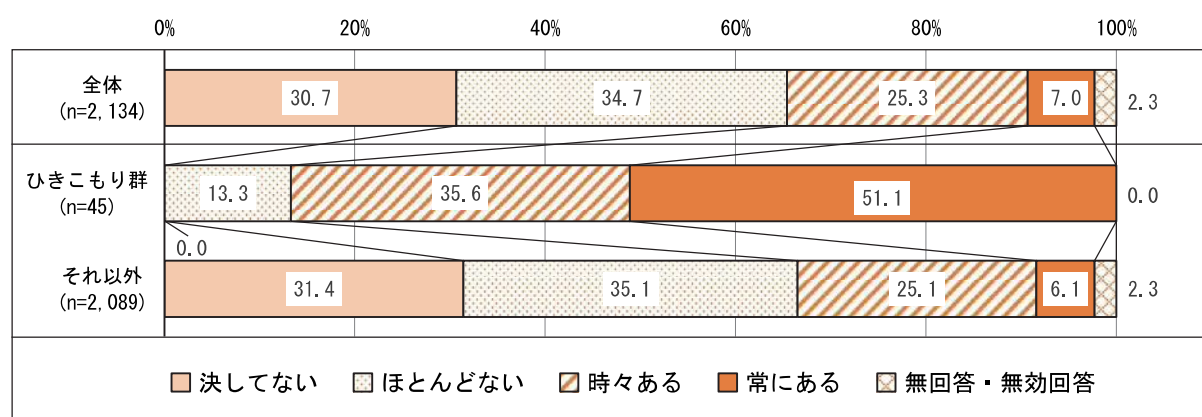
問 3 3 あなた自身について、次のことがどれくらいあてはまりますか。

問 3 3-① 自分には人とのつきあいがないと感じることもある（単一回答）

図表 問 3 3-① 【15～39 歳】



図表 問 3 3-① 【40～64 歳】



イ 取り残されていると感じる

■ 15～39 歳について

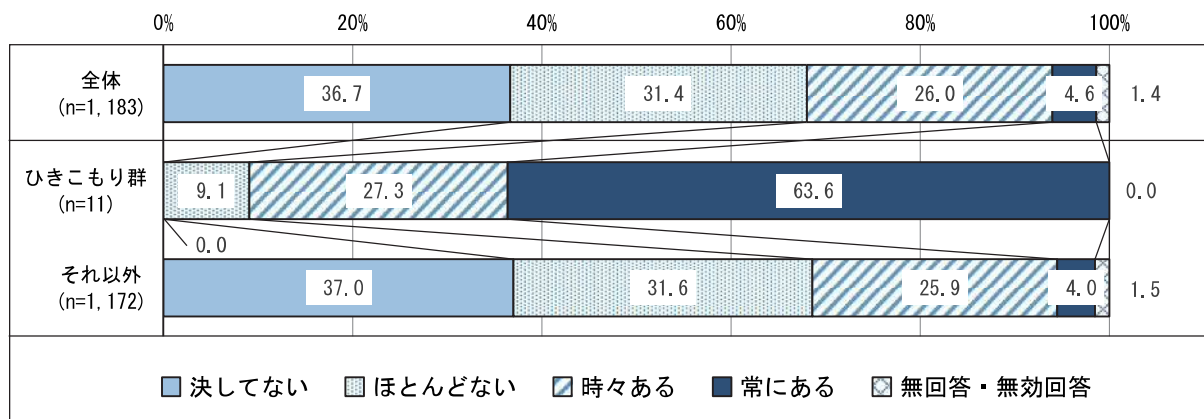
- ・ 15～39 歳全体では、「決してない」が 36.7%と最も多く、次いで「ほとんどない」が 31.4%となっている。
- ・ ひきこもり群では、「常にある」が 63.6%と最も多く、次いで「時々ある」が 27.3%となっている。

■ 40～64 歳について

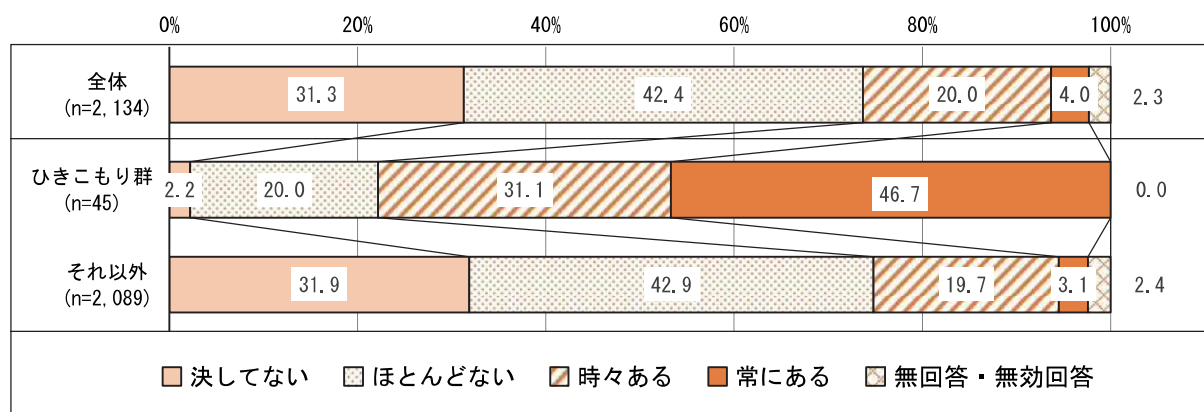
- ・ 40～64 歳全体では、「ほとんどない」が 42.4%と最も多く、次いで「決してない」が 31.3%となっている。
- ・ ひきこもり群では、「常にある」が 46.7%と最も多く、次いで「時々ある」が 31.1%となっている。

問33-② 自分は取り残されていると感じることがある（単一回答）

図表 問33-② 【15～39歳】



図表 問33-② 【40～64歳】



ウ 孤立していると感じる

■ 15～39 歳について

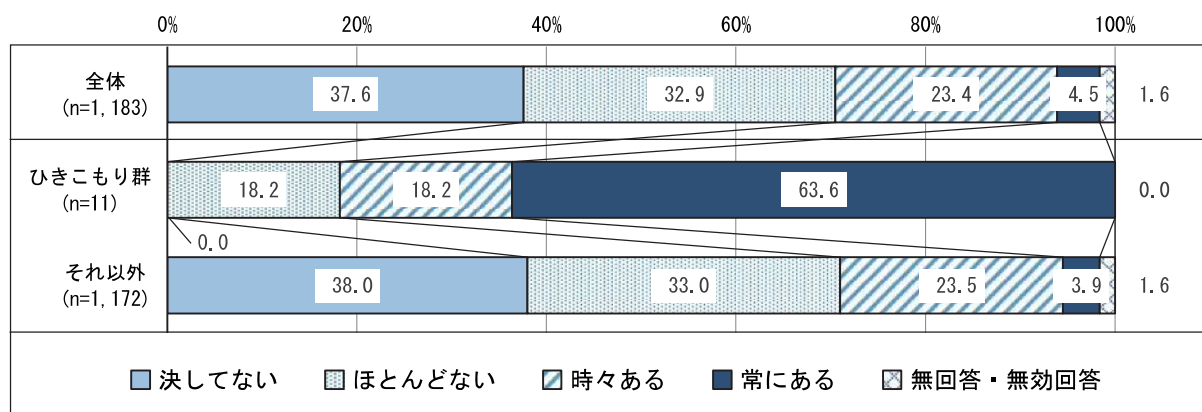
- ・ 15～39 歳全体では、「決してない」が 37.6%と最も多く、次いで「ほとんどない」が 32.9%となっている。
- ・ ひきこもり群では、「常にある」が 63.6%と最も多く、次いで「時々ある」、「ほとんどない」が 18.2%となっている。

■ 40～64 歳について

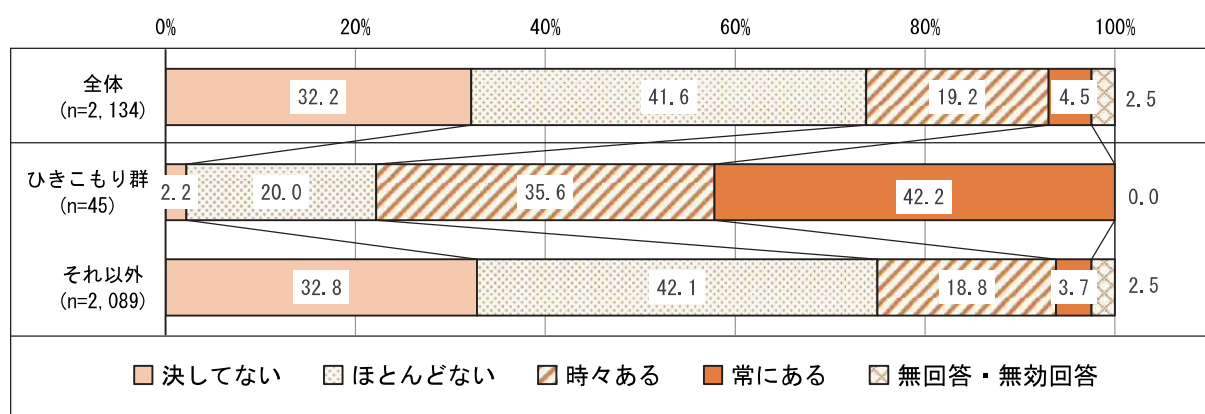
- ・ 40～64 歳全体では、「ほとんどない」が 41.6%と最も多く、次いで「決してない」が 32.2%となっている。
- ・ ひきこもり群では、「常にある」が 42.2%と最も多く、次いで「時々ある」が 35.6%となっている。

問 3 3-③ 自分は他の人たちから孤立していると感じることがある（単一回答）

図表 問 3 3-③ 【15～39歳】



図表 問 3 3-③ 【40～64歳】



エ 孤独であると感じる

■ 15～39 歳について

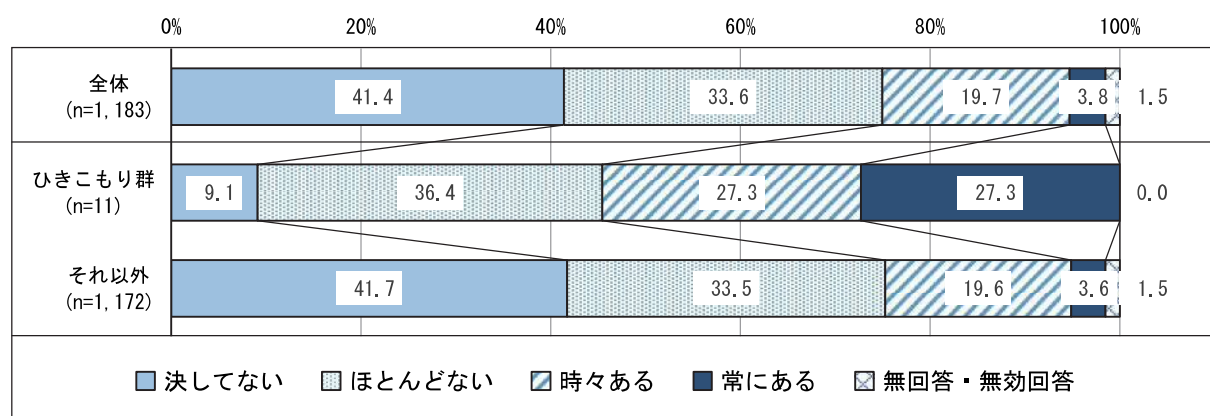
- ・ 15～39 歳全体では、「決してない」が41.4%と最も多く、次いで「ほとんどない」が33.6%となっている。
- ・ ひきこもり群では、「ほとんどない」が36.4%と最も多く、次いで「常にある」、「時々ある」が27.3%となっている。

■ 40～64 歳について

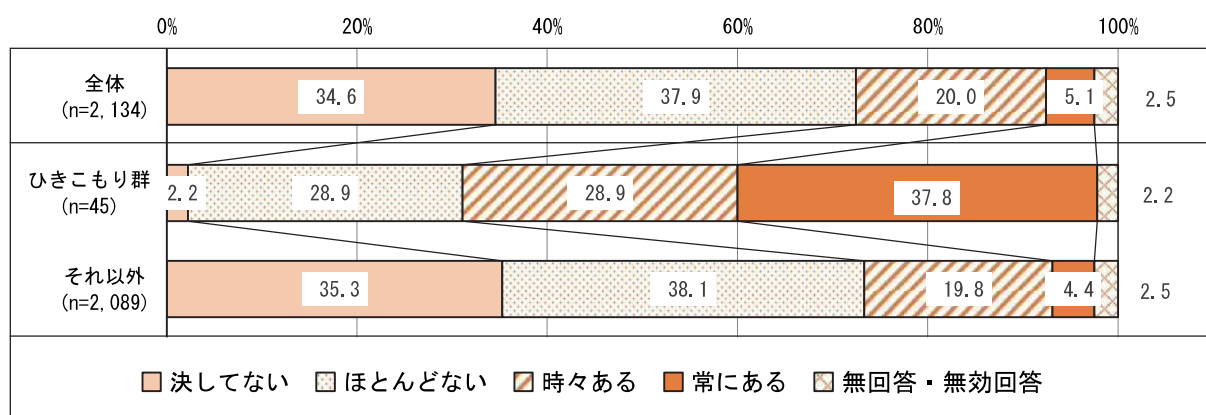
- ・ 40～64 歳全体では、「ほとんどない」が37.9%と最も多く、次いで「決してない」が34.6%となっている。
- ・ ひきこもり群では、「常にある」が37.8%と最も多く、次いで「時々ある」、「ほとんどない」が28.9%となっている。

問33-④ 孤独であると感じることがある（単一回答）

図表 問33-④ 【15～39歳】



図表 問33-④ 【40～64歳】



オ 家族とのかかわり方の満足度

■ 15～39 歳について

- ・ 15～39 歳全体では、「満足している」が 46.6%と最も多く、次いで「まあ満足している」が 36.4%となっている。
- ・ ひきこもり群では、「まあ満足している」が 63.6%と最も多く、次いで「どちらともいえない」、「不満である」が 18.2%となっている。

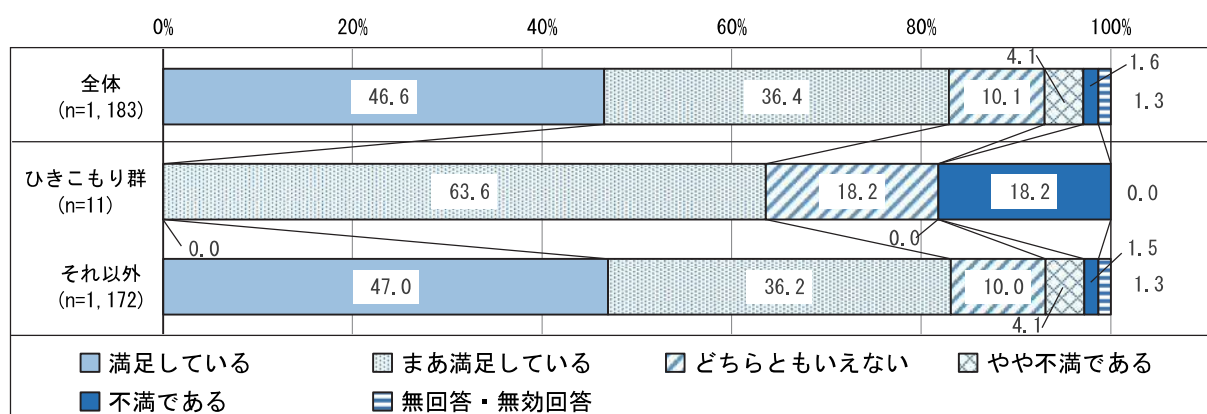
■ 40～64 歳について

- ・ 40～64 歳全体では、「満足している」が 37.3%と最も多く、次いで「まあ満足している」が 37.2%となっている。
- ・ ひきこもり群では、「どちらともいえない」が 35.6%と最も多く、次いで「満足している」が 24.4%となっている。

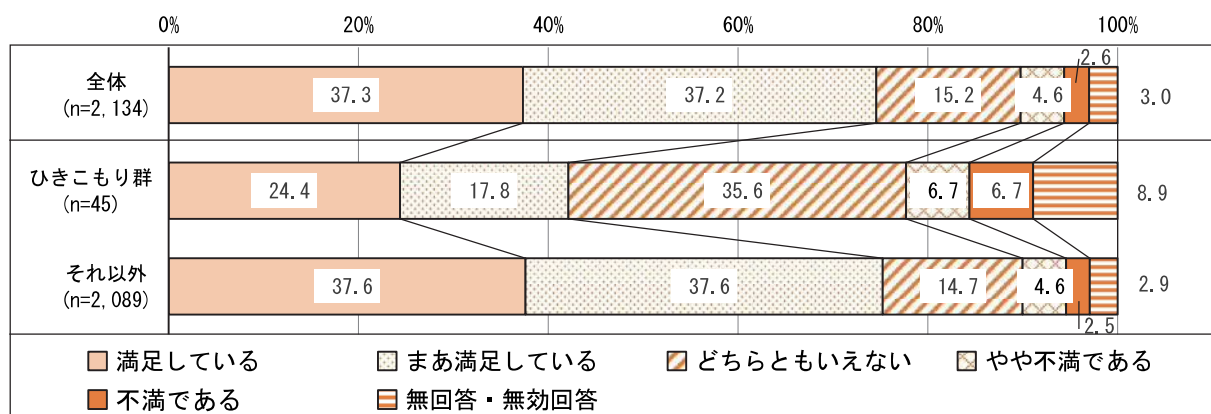
問 3 4 あなたは現在、家族や家族以外の人、社会とのかかわり方にどのくらい満足していますか。

問 3 4-① 家族とのかかわり方（単一回答）

図表 問 3 4-① 【15～39歳】



図表 問 3 4-① 【40～64歳】



カ 家族以外の人とのかかわり方の満足度

■ 15～39 歳について

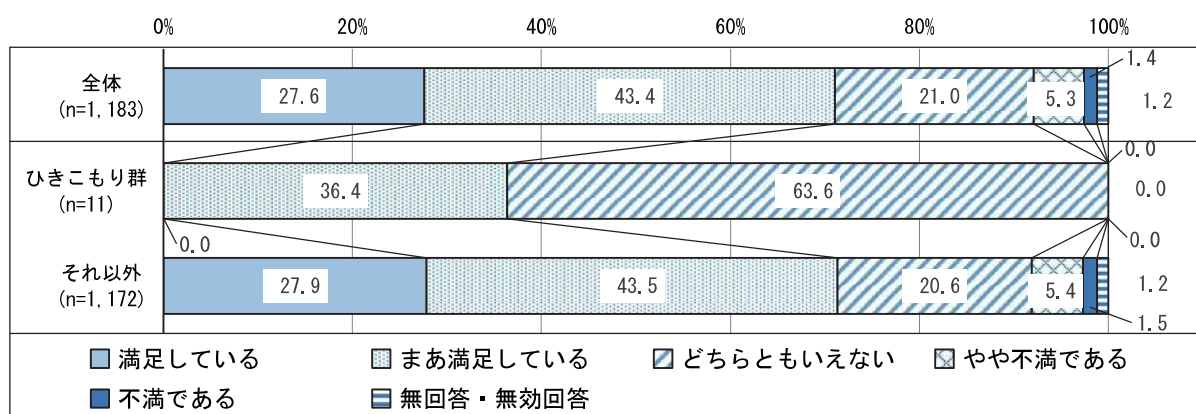
- ・ 15～39 歳全体では、「まあ満足している」が 43.4%と最も多く、次いで「満足している」が 27.6%となっている。
- ・ ひきこもり群では、「どちらともいえない」が 63.6%と最も多く、次いで「まあ満足している」が 36.4%となっている。

■ 40～64 歳について

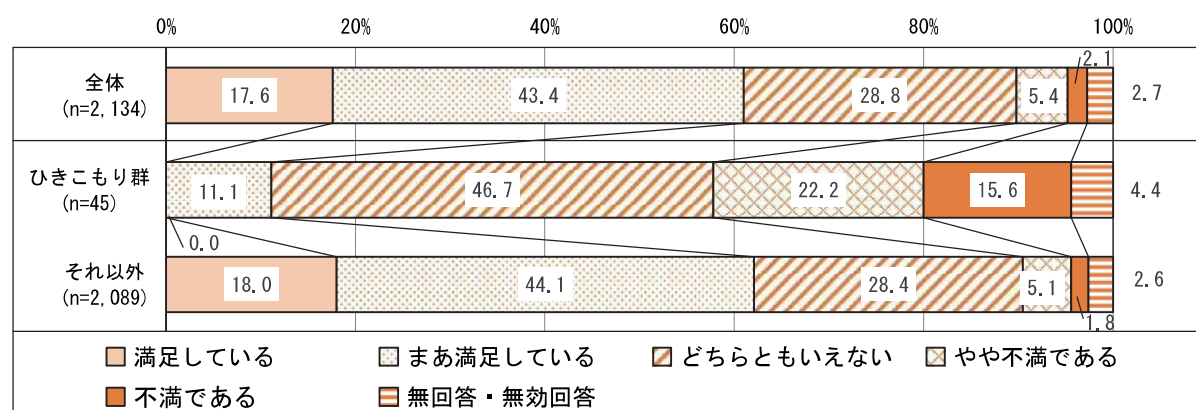
- ・ 40～64 歳全体では、「まあ満足している」が 43.4%と最も多く、次いで「どちらともいえない」が 28.8%となっている。
- ・ ひきこもり群では、「どちらともいえない」が 46.7%と最も多く、次いで「やや不満である」が 22.2%となっている。

問34-② 家族以外の人とのかかわり方（単一回答）

図表 問34-② 【15～39歳】



図表 問34-② 【40～64歳】



キ 社会とのかかわり方の満足度

■ 15～39 歳について

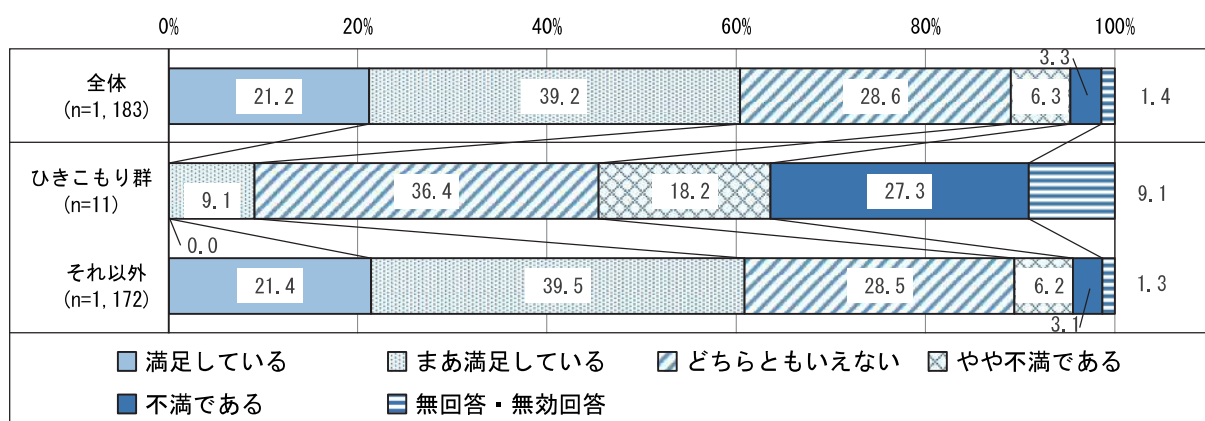
- ・ 15～39 歳全体では、「まあ満足している」が 39.2%と最も多く、次いで「どちらともいえない」が 28.6%となっている。
- ・ ひきこもり群では、「どちらともいえない」が 36.4%と最も多く、次いで「不満である」が 27.3%となっている。

■ 40～64 歳について

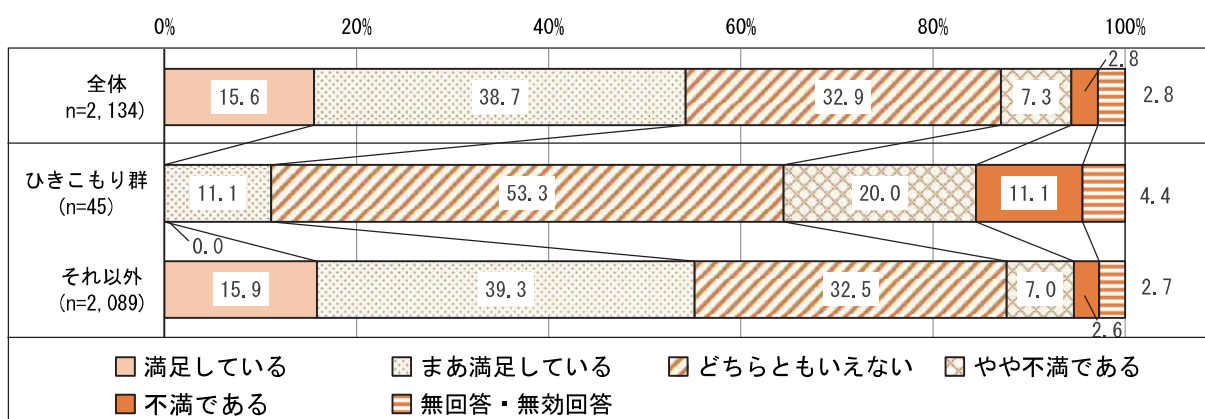
- ・ 40～64 歳全体では、「まあ満足している」が 38.7%と最も多く、次いで「どちらともいえない」が 32.9%となっている。
- ・ ひきこもり群では、「どちらともいえない」が 53.3%と最も多く、次いで「やや不満である」が 20.0%となっている。

問34-③ 社会とのかかわり方（単一回答）

図表 問34-③ 【15～39歳】



図表 問34-③ 【40～64歳】



ク 同居者とのコミュニケーション頻度

■ 15～39 歳について

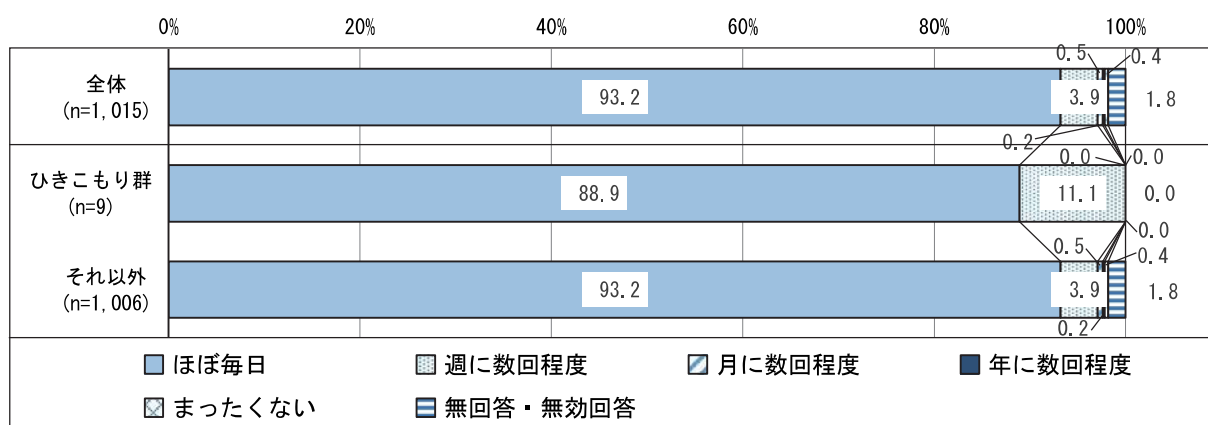
- ・ 15～39 歳全体では、「ほぼ毎日」が 93.2%となっている。
- ・ ひきこもり群では、「ほぼ毎日」が 88.9%と最も多く、次いで「週に数回程度」が 11.1%となっている。

■ 40～64 歳について

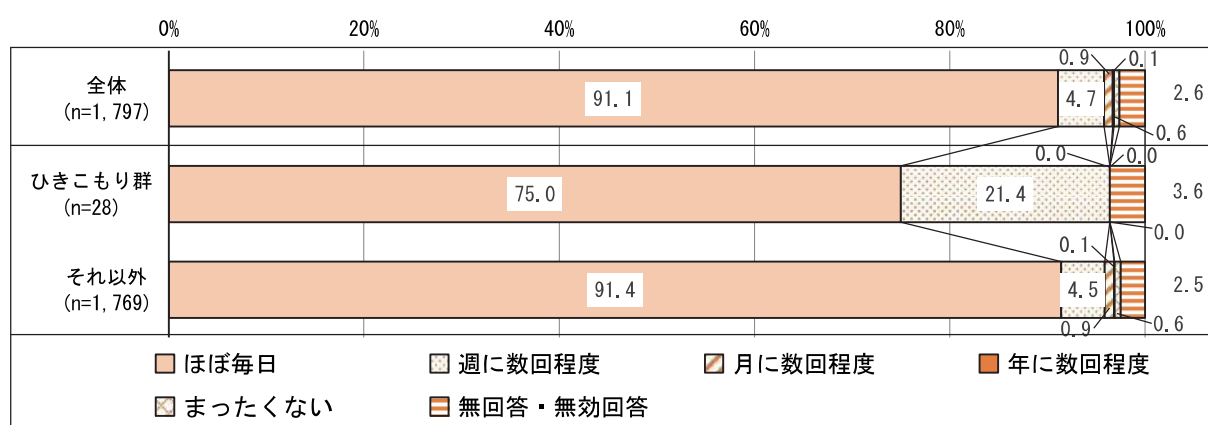
- ・ 40～64 歳全体では、「ほぼ毎日」が 91.1%となっている。
- ・ ひきこもり群では、「ほぼ毎日」が 75.0%と最も多く、次いで「週に数回程度」が 21.4%となっている。

問35 同居している人とのコミュニケーション頻度についてお答えください。
(単一回答)

図表 問35 【15～39歳】



図表 問35 【40～64歳】



ケ 同居者とのコミュニケーション内容

■ 15～39 歳について

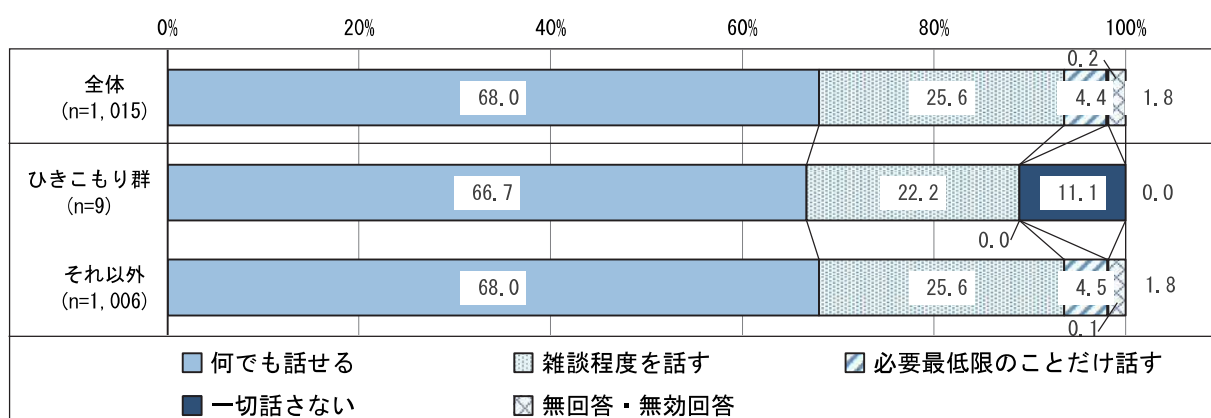
- ・ 15～39 歳全体では、「何でも話せる」が 68.0%と最も多く、次いで「雑談程度を話す」が 25.6%となっている。
- ・ ひきこもり群では、「何でも話せる」が 66.7%と最も多く、次いで「雑談程度を話す」が 22.2%となっている。

■ 40～64 歳について

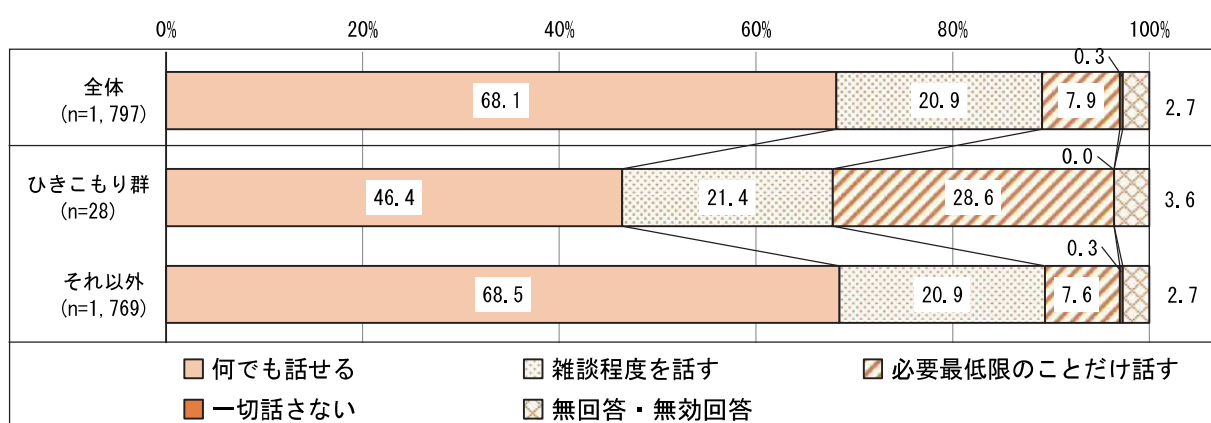
- ・ 40～64 歳全体では、「何でも話せる」が 68.1%と最も多く、次いで「雑談程度を話す」が 20.9%となっている。
- ・ ひきこもり群では、「何でも話せる」が 46.4%と最も多く、次いで「必要最低限のことだけ話す」が 28.6%となっている。

問36 同居している人とのコミュニケーションの内容についてお答えください。（単一回答）

図表 問36 【15～39歳】



図表 問36 【40～64歳】



コ 同居していない人と直接会って話す頻度

■ 15～39 歳について

- ・ 15～39 歳全体では、「ほぼ毎日」が 44.5%と最も多く、次いで「週に数回程度」が 20.8%となっている。
- ・ ひきこもり群では、「月に数回程度」が 36.4%と最も多く、次いで「年に数回程度」、「まったくない」が 27.3%となっている。

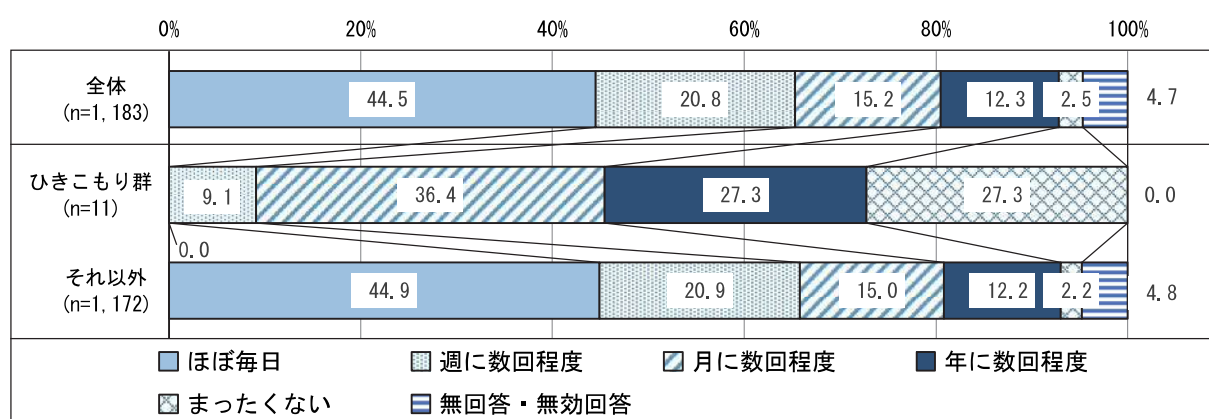
■ 40～64 歳について

- ・ 40～64 歳全体では、「ほぼ毎日」が 30.0%と最も多く、次いで「月に数回程度」が 20.8%となっている。
- ・ ひきこもり群では、「年に数回程度」が 40.0%と最も多く、次いで「月に数回程度」が 20.0%となっている。

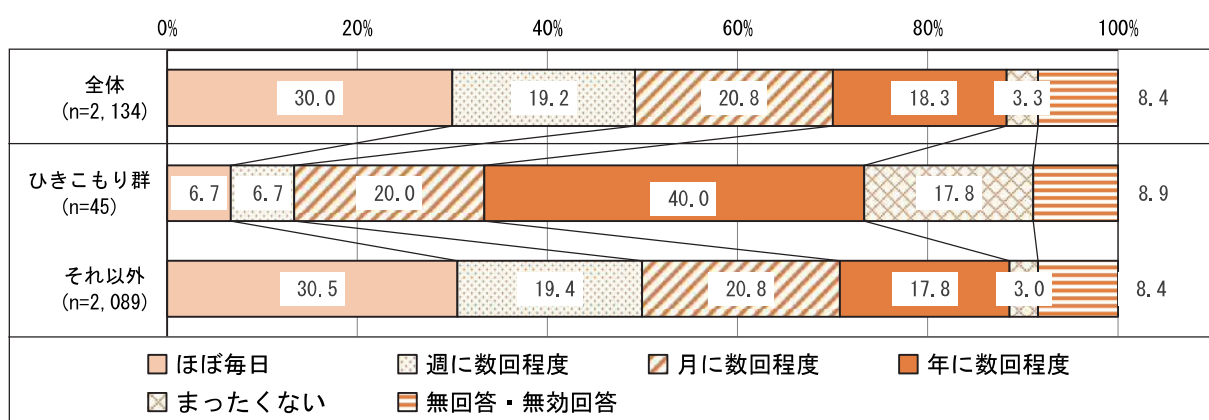
問 3 7 同居していない人とのコミュニケーションについてそれぞれお答えください。

問 3 7-① 直接会って話す（単一回答）

図表 問 3 7-① 【15～39歳】



図表 問 3 7-① 【40～64歳】



サ 同居していない人と電話で話す頻度

■ 15～39 歳について

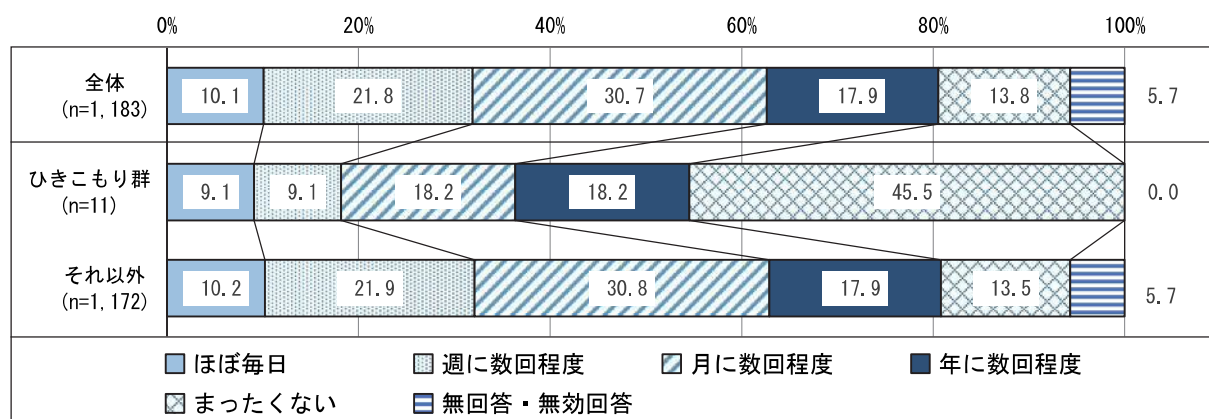
- ・15～39 歳全体では、「月に数回程度」が 30.7%と最も多く、次いで「週に数回程度」が 21.8%、「年に数回程度」が 17.9%となっている。
- ・ひきこもり群では、「まったくない」が 45.5%と最も多く、次いで「月に数回程度」、「年に数回程度」が 18.2%となっている。

■ 40～64 歳について

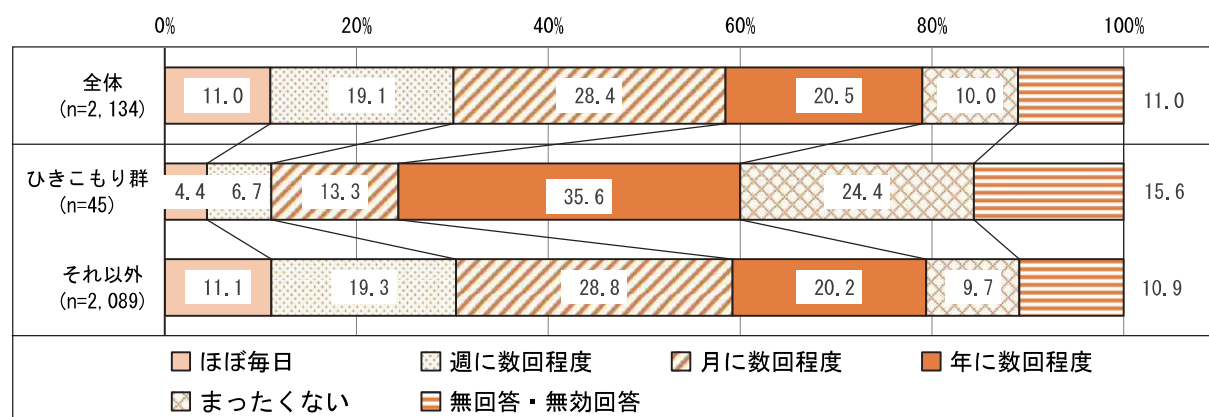
- ・40～64 歳全体では、「月に数回程度」が 28.4%と最も多く、次いで「年に数回程度」が 20.5%、「週に数回程度」が 19.1%となっている。
- ・ひきこもり群では、「年に数回程度」が 35.6%と最も多く、次いで「まったくない」が 24.4%となっている。

問37-② 電話（ビデオ通話含む）（単一回答）

図表 問37-② 【15～39歳】



図表 問37-② 【40～64歳】



シ 同居していない人とSNS等をする頻度

■ 15～39 歳について

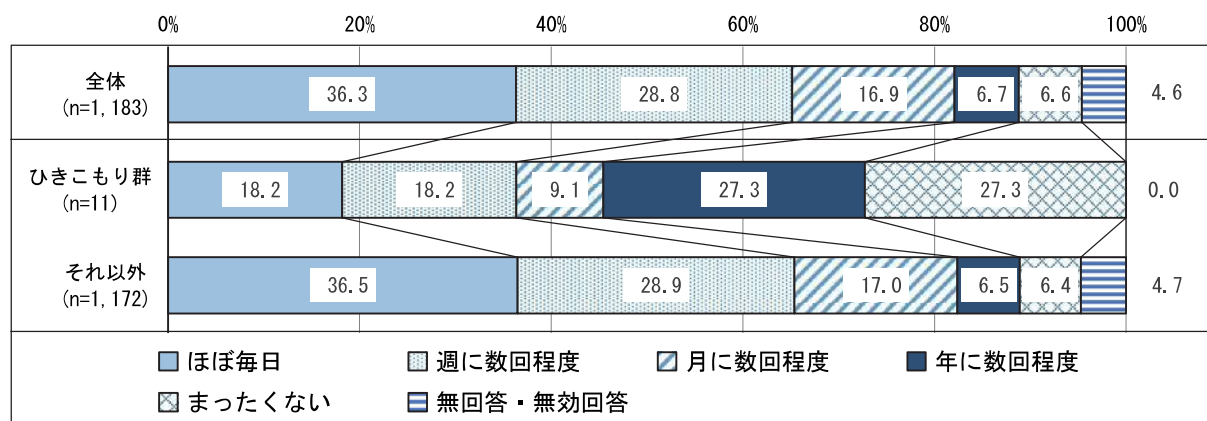
- ・ 15～39 歳全体では、「ほぼ毎日」が 36.3%と最も多く、次いで「週に数回程度」が 28.8%となっている。
- ・ ひきこもり群では、「年に数回程度」、「まったくない」が 27.3%と最も多く、次いで「ほぼ毎日」、「週に数回程度」が 18.2%となっている。

■ 40～64 歳について

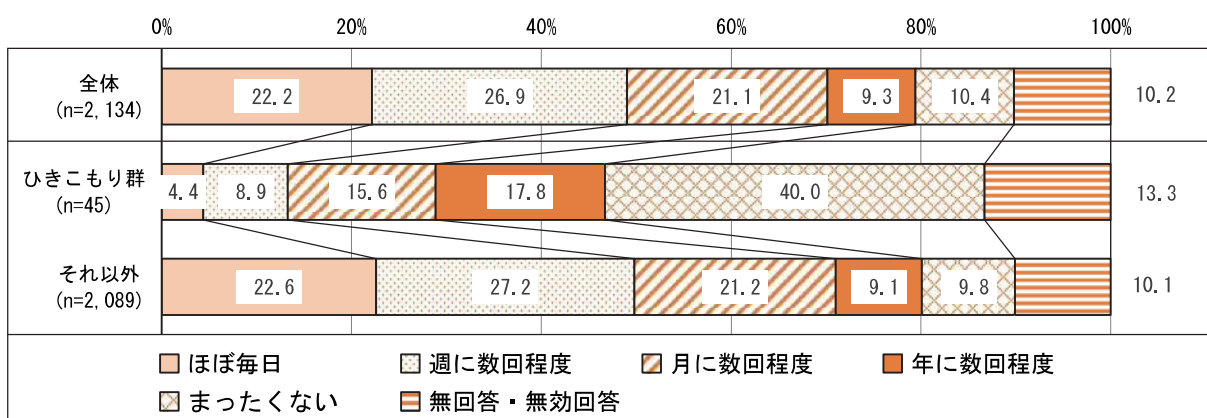
- ・ 40～64 歳全体では、「週に数回程度」が 26.9%と最も多く、次いで「ほぼ毎日」が 22.2%、「月に数回程度」が 21.1%となっている。
- ・ ひきこもり群では、「まったくない」が 40.0%と最も多く、次いで「年に数回程度」が 17.8%となっている。

問37-③ SNS（LINEによるチャットなど）・電子メール・オンラインゲーム (単一回答)

図表 問37-③ 【15～39歳】



図表 問37-③ 【40～64歳】



ス 悩み事を誰かに相談したいか

■ 15～39 歳について

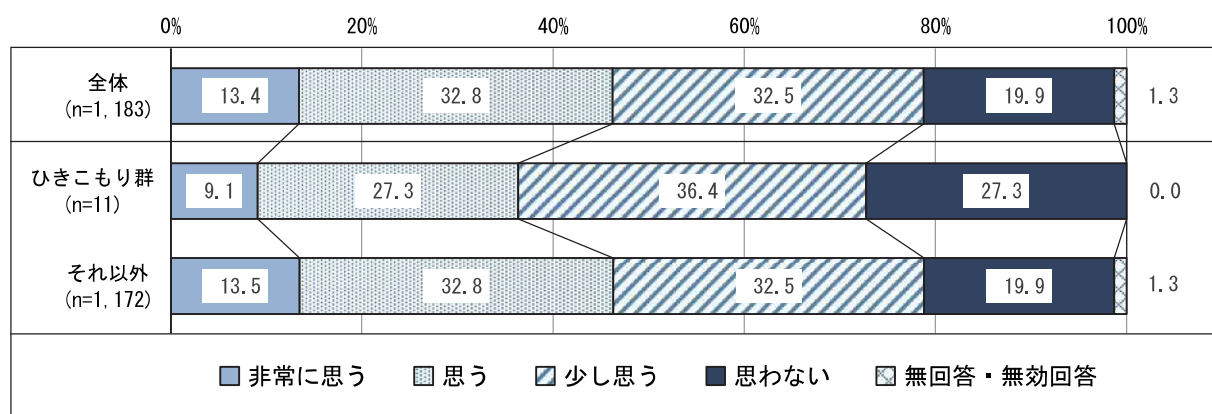
- ・15～39 歳全体では、「思う」が 32.8%と最も多く、次いで「少し思う」が 32.5%となっている。
- ・ひきこもり群では、「少し思う」が 36.4%と最も多く、次いで「思う」、「思わない」が 27.3%となっている。

■ 40～64 歳について

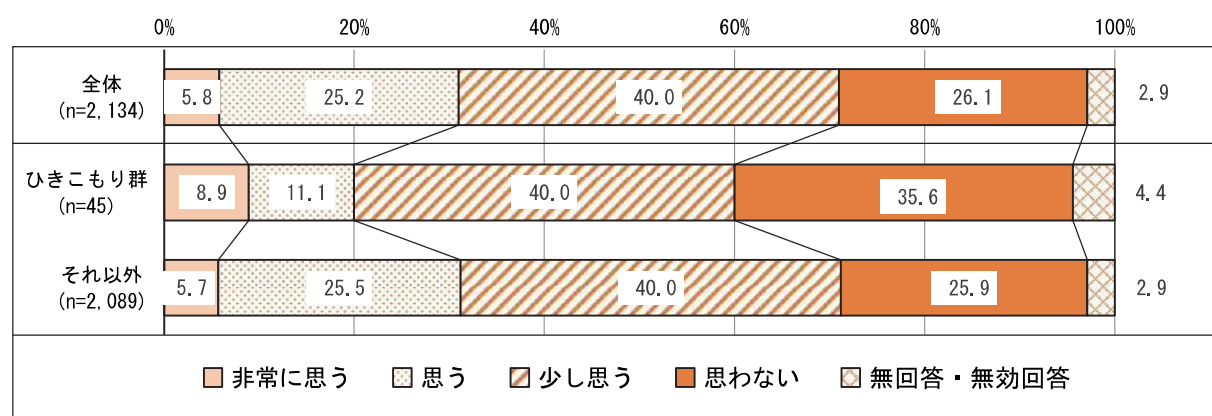
- ・40～64 歳全体では、「少し思う」が 40.0%と最も多く、次いで「思わない」が 26.1%となっている。
- ・ひきこもり群では、「少し思う」が 40.0%と最も多く、次いで「思わない」が 35.6%となっている。

問 3 8 あなたはふだん悩み事を誰かに相談したいと思いますか。（単一回答）

図表 問 3 8 【15～39歳】



図表 問 3 8 【40～64歳】



セ 悩み事を相談する相手

■ 15～39 歳について

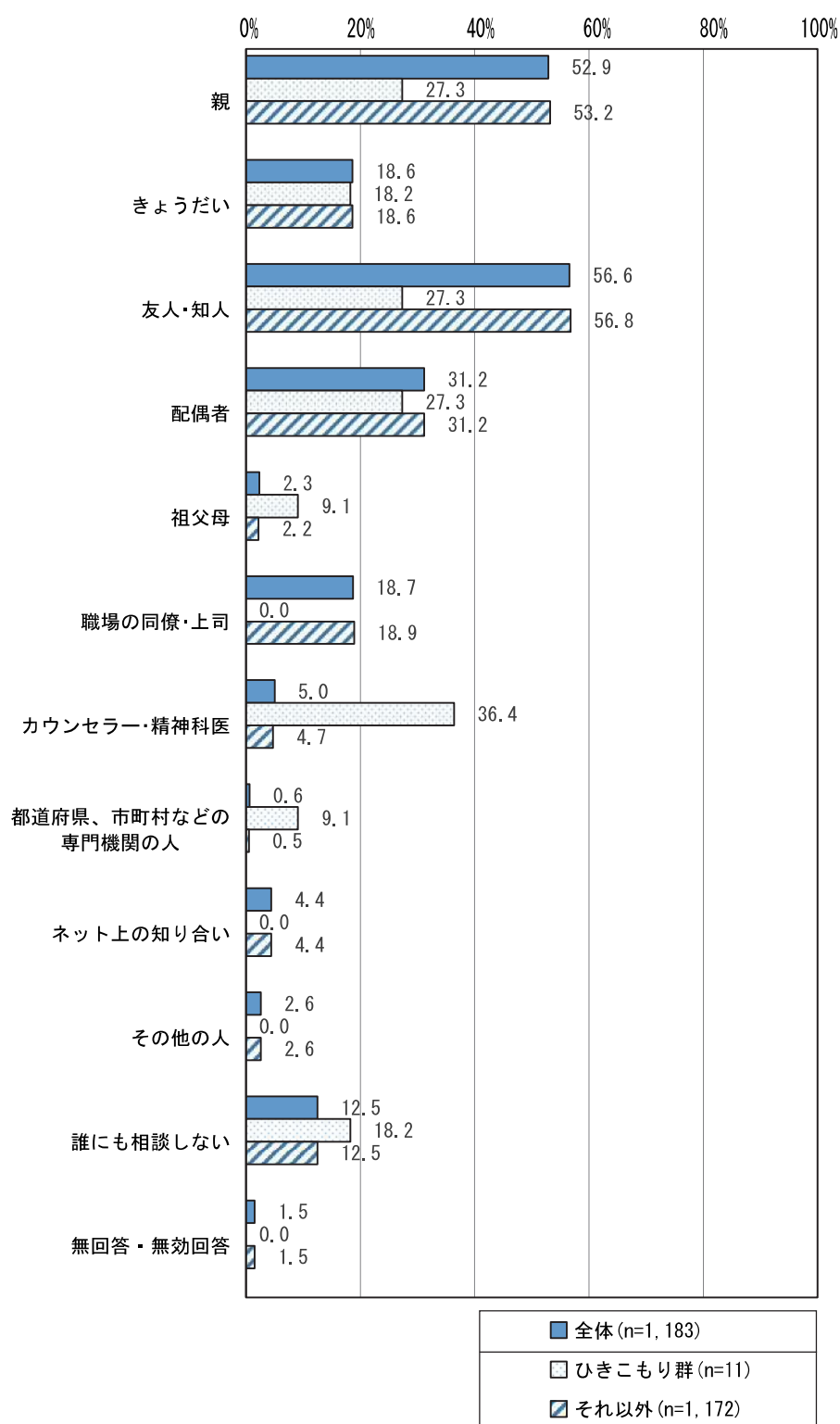
- ・15～39 歳全体では、「友人・知人」が 56.6%と最も多く、次いで「親」が 52.9%となっている。
- ・ひきこもり群では、「カウンセラー・精神科医」が 36.4%と最も多く、次いで「親」、「友人・知人」、「配偶者」が 27.3%となっている。また、それ以外と比較して、「カウンセラー・精神科医」の割合が高い。

■ 40～64 歳について

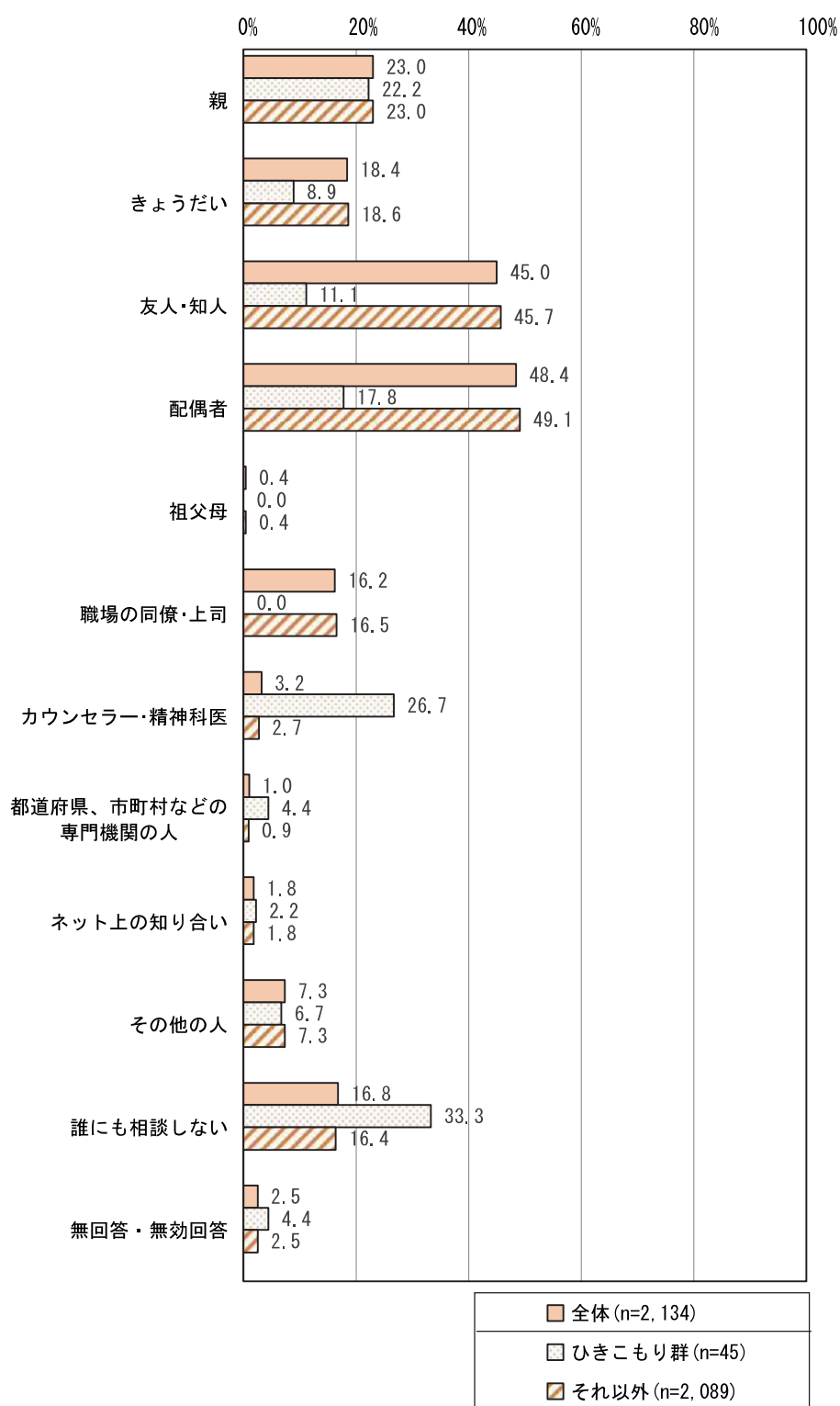
- ・40～64 歳全体では、「配偶者」が 48.4%と最も多く、次いで「友人・知人」が 45.0%となっている。
- ・ひきこもり群では、「誰にも相談しない」が 33.3%と最も多く、次いで「カウンセラー・精神科医」が 26.7%となっている。また、それ以外と比較して、「カウンセラー・精神科医」の割合が高い。

問39 あなたはふだん悩み事を誰に相談しますか。（複数回答）

図表 問39 【15～39歳】



図表 問39 【40～64歳】



※その他の主な回答（全年齢）

【ひきこもり群】

・医療機関

【それ以外】

・子 ・親族 ・相談機関等の相談員 ・パートナー、同居人
 ・医療機関 ・学校の先生 ・解決事例を探す
 ・職場の上司や同僚

(5) その他

ア 外出できない方への支援で必要だと思うもの

■ 15～39 歳について

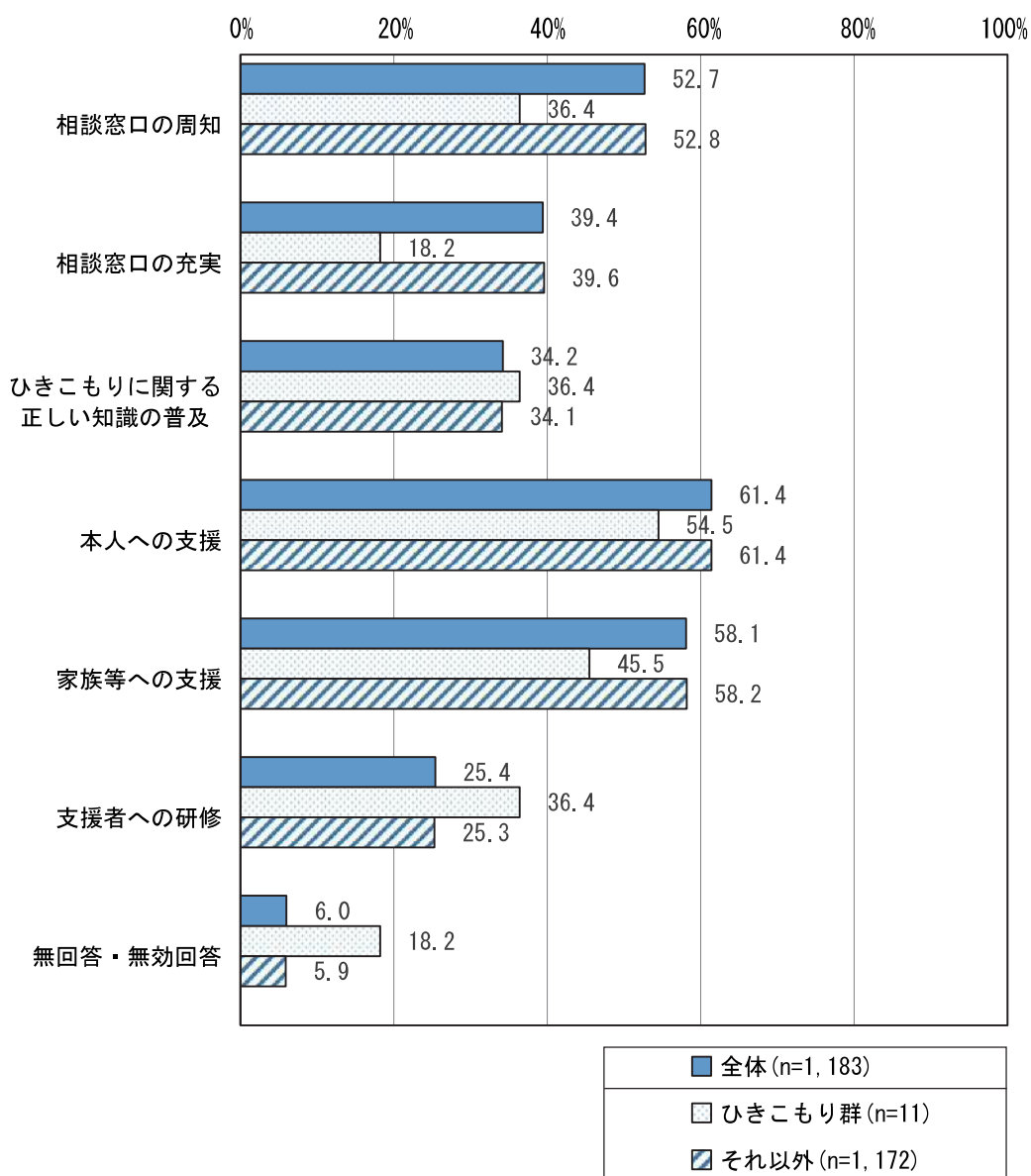
- ・ 15～39 歳全体では、「本人への支援」が 61.4%と最も多く、次いで「家族等への支援」が 58.1%、「相談窓口の周知」が 52.7%となっている。
- ・ ひきこもり群では、「本人への支援」が 54.5%と最も多く、次いで「家族等への支援」が 45.5%となっている。

■ 40～64 歳について

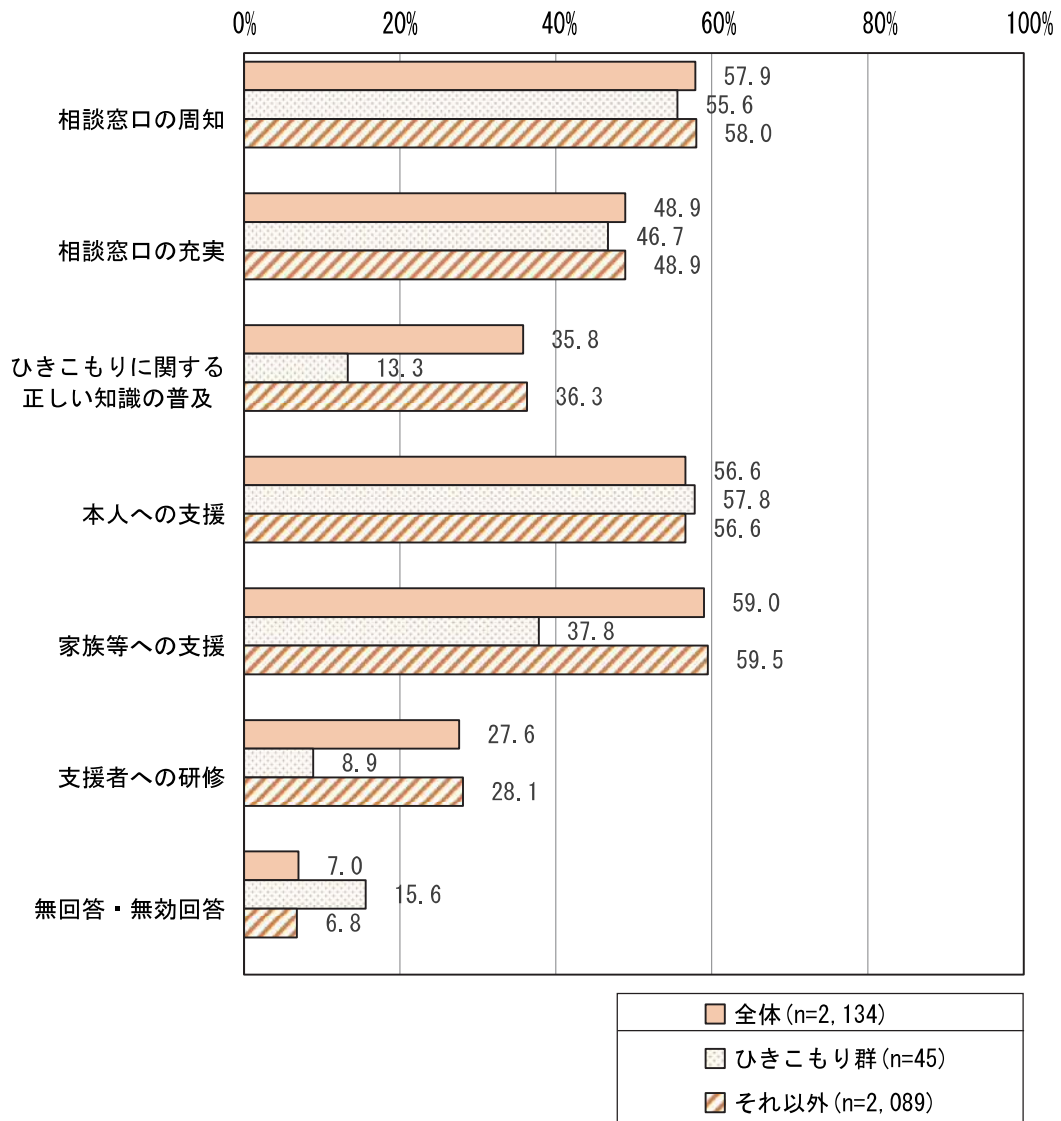
- ・ 40～64 歳全体では、「家族等への支援」が 59.0%と最も多く、次いで「相談窓口の周知」が 57.9%、「本人への支援」が 56.6%となっている。
- ・ ひきこもり群では、「本人への支援」が 57.8%と最も多く、次いで「相談窓口の周知」が 55.6%となっている。

問40 名古屋市では、身体の病気以外の理由でふだん外出ができない方たちへの支援のあり方を検討しています。こうした支援について、必要だと思うものに○をつけてください。（複数回答）

図表 問40 【15～39歳】



図表 問40 【40～64歳】



イ 必要な支援について（自由記述）

問41 その他必要な支援等について、ご意見等あればご自由にお書きください。

【ひきこもり関係】

- ・ ひきこもりに関して「甘えている」や「根性がないから」などの間違った知識を持っているため、メディアやインターネットなどで正しい知識を普及していく必要があると思う。
- ・ 地域単位で活用できる社会資源の情報がほしい。
- ・ 外出したくないと思っていた時でも、SNS はよく見ていたので、SNS で気軽に相談できると良いと思う。
- ・ 困りごととして捉えきれていない場合もあるので、支援を求めている状況であることを積極的に周知してほしい。
- ・ 課題に応じて様々な支援があると思うが、支援内容が具体的に周知されていないと、支援を求められる場合にあっては関係ないと思ってしまうため、各相談窓口における支援内容を分かりやすく周知してほしい。
- ・ 本人には本人の支援、家族には家族の支援が必要であると思う。
- ・ 氷河期世代への支援。40代以上のひきこもり支援・社会へのつながる場所を提供してほしい。
- ・ ひきこもりの本人や家族への支援の充実と、周りの一般の人がその家族に対してどう接したらいいのか正しい知識が知りたい。
- ・ 世の中の考え方にある「ひきこもりは悪」という認識から改善するべき。ひきこもりについては、「様々な思いや事情のもと、そういう人も居る」と、正しく理解してもらうことに働きかけてほしい。
- ・ ひきこもりといっても、インターネットの活用により、社会とのつながりを持てればよいと思う。家でできる仕事があって、ネット通販なども活用できていればよいのではないかなと思う。ひきこもりでもいいのではないかなという社会でいいと思う。しかし、家族も含め周囲の人達を支える人材育成等の支援は大切と思う。
- ・ ひきこもりを苦痛に感じる人や、楽しくひきこもっている人など様々で、適度な距離感で支援する必要がある。
- ・ 外出頻度だけで、支援が必要なひきこもりかどうか判断してはいけないと思う。家にいる方が快適という人はいるので、ひきこもっていても社会との接点ができるような仕組み作りも今後大切なのではないかなと思う。
- ・ むりに外に出るようにするのではなく、家に居ながら社会に参加していくことが出来る場を作り、他の人と対話する機会を増やすことが大切であると思う。
- ・ 外出できない本人だけでなく、家族ひとりひとりの困りごと、不安などにもしっかり対応してほしい。結果的に、本人への支援につながると思う。
- ・ 窓口相談を実施している機関が多いが、訪問相談、LINE 相談など相談手法が増えたらいいと思う。

- ・地域で暮らしていけるためには周辺地域の住民への理解受容を促すような取り組みも欠かせないと思う。
- ・最初は直接会ったり話したりすることに抵抗があると思われるので、インターネットで支援に繋がれるとよい。
- ・外出できないことの何が問題なのかを理解し、支援のゴールを明確に定めて支援してほしい。
- ・ひきこもり当事者の集いの場を作ってほしい。
- ・困ったときにすぐに相談できるような体制を整備してほしい。
- ・本人が成人しても尚外出不可の場合は、親に対する将来の不安を取り除く方法を周知してほしい。
- ・ひきこもりの人に家の中でできる仕事（内職）を紹介する。
- ・定年を過ぎ、働かなくなって、外出しない、ひきこもる、という事も多いと思います。小学校の様に、近くにあって毎日出掛けられる場所。例えば、その施設の中に、無料もしくは低料金で勉強ができたり、1時間単位で仕事をして（働いて）週単位とか月単位とかで、おこづかい的なものがもらえたりお悩み相談もできたり、といった暇な時に掛けられる所があったらいいと思う。
- ・困ったときにどこに相談したらいいか明白にわかるように周知してほしい。
- ・実効的な支援を行うには、いきなりでもその人の自宅へ訪問する。部屋からつれ出してもらえ。くらいのことをしないと支援に繋がっていかないと思う。
- ・メンタル面で体調不良になった時、駆け込み相談できる場所があるとうれしい。また、あればマップがあるとうれしい。
- ・疾患で退職した方、外出困難な方は、身体的に話すこと自体が困難なこともあるので、メールや SNS などでコミュニケーションが取れると良いと思う。顔が見えない支援だからこそ嬉しいときもある。
- ・ひきこもりになる前の予防的な活動や周知が必要。
- ・親の収入に依存できてしまうなど甘えられる環境にあり、親が居なくなったら動き出すといったケースも多いと思うので、親が居ない環境を作ってしまう経済的にも、生活的にも自立を促すような対応の形もあると思う。
- ・周りからの能動的な働きかけでは本人にとって苦痛に繋がる可能性がある。本人が楽しんでいること、興味に寄り添い、一緒に楽しむような見守り方が必要であると考えます。
- ・ひきこもりの方に必要なのは成功体験だと思う。成功体験を積める取り組みがあるといい。

【教育関係】

- ・外出できない理由は様々ですが、学校で話せない「場面緘黙症」の子どもについて、この症状がどういうものか、学校で説明周知してもらえるとありがたい。他の生徒たちに病気の症状を理解してもらえれば、関わり方も違ってくと思う。
- ・学校のカウンセラーは予約が多くて取れない。

- ・フリースクールの充実、利用についての資金支援をしてほしい。（名古屋市の適応教室は送り迎えが必要なため、シングル家庭の我が家ではむりでした。かなり経済的負担が大きいため、本当は週5で通わせてあげたいけど週2までで諦めてもらっています。鎌倉市のように、半額まで公費で負担などしてもらえるととても助かるし、子どもが外に出る機会が増えてとてもいいな、と思う。）
- ・精神的に苦しんでいる人が無理に学校へ行かなくてもいいように、公立学校でもオンラインで授業を受けて単位が取得できるようになるといいと思う。
- ・不登校児童が過ごせる空間が学校内にあると安心できる。（さくらルームのようなもの）

【子育て関係】

- ・子どもが学校に行けなくなった時の学校以外の気軽に学べる場所がほしい。
- ・子どもに対する手当の充実。無償で子どもを預けられる所、母も時には息抜きをしたい。そういうところがあるとストレス発散にもなり、虐待等が減っていくと思う。
- ・児童虐待、ネグレクトは子どもがかわいそうで切なくなる。こういった子どもを救える体制や法を整備してほしい。
- ・子育て支援について、新生児期、民生委員や保健師の訪問だけでなく同時期に出産した人と会えるような共感してもらえる場の提供があるといいと思う。
- ・託児は料金が高いためらう。幼児～小学生までの親御さん向けの支援サービスが、もっとあればと思う。
- ・職場復帰をしたくて保育園の申込みをしたが、全ての保育園で落ちてしまい職場復帰できなかったなど家庭に留まることになった。仕事をしないと保育園に入れない一方、保育園が決まらないと仕事が出来ないので困ってしまう。

【就労関係】

- ・障害者の働ける場を提供してほしい。
- ・ハローワーク以外に就労支援の制度を充実、周知してほしい。
- ・心療内科へ通院している方でも働かなければ生活できないケースが多いため、医療機関とハローワークの連携は必要だと思う。
- ・就労支援について、自主的に動く元気がなく、家族からも言い出しづらいため、案内を届けてくれると助かる。
- ・必ずしも外出しなくともできる仕事もあると思うので、そういった仕事の情報を収集し、オンライン等で職業トレーニングなどをすると効果的であると思う。
- ・短い時間、安い賃金でも良いので「できる仕事」を紹介し、収入を得られる経験を与えることができるとうい。
- ・発達障がいのある大学生の子を、アルバイトなどを通じて、社会とのつながりを持たせたいと思うが、受け入れてくれる場所が見つけれなかった。

【その他】

- ・ 支援を必要とする人に情報がしっかりいきわたるよう、相談窓口の周知を徹底してほしい。また、支援の必要な人や家族が、調べればすぐに手続きの方法がわかるように、わかりやすい一覧表に必要書類等がまとめてもらえると手続きがまとめてできるのでありがたい。
- ・ 支援機関が色々ある事をほとんど知らなかった。困った時「こんな時はどうする。どこが相談の窓口」といった一覧があれば便利だと思う。
- ・ 支援の内容より、誰もが精神的な病気等の正しい知識を持つことが必要だと思う。
- ・ 相談に行くには仕事を休む必要があり、相談のハードルが高いと思う。
- ・ SNS との適切な付き合い方を子どもの頃から教えられるとよい。親世代は小学生の時 SNS がなく適切な付き合い方を教える方法を知らない。